

消 防 年 報

令和 5 年版



徳 島 市 消 防 局

は じ め に

この年報は、本市の消防行政についてひろく紹介し、各方面の理解と認識を一層深めていただくために作成したものです。

なお、本書において、「年」とあるのは暦年（１月１日から１２月３１日）を表し、「年度」とあるのは、会計年度（４月１日から翌年３月３１日）を表しています。

令和５年４月１日

徳 島 市 消 防 局

目 次

総 務	9	消防相互応援協定等	50
1 消防の沿革	1	10 耐震性貯水槽設置状況	51
2 徳島市の位置	16		
3 主たる総務行事	17	通 信	
4 消防の組織	18	1 主たる通信行事	52
5 消防機関の配置図	19	2 消防緊急情報システム	53
6 消防庁舎の現況	20	3 通信指令系統図	54
7 消防局及び署の事務分掌	21	4 通信施設状況	55
8 現有消防力		5 無線機配置状況	56
(1) 常備	26	6 通信・指令状況	63
(2) 非常備	27	7 同報無線設備	64
9 市予算と消防予算	28		
10 人口・世帯数に対する消防費・		予 防	
火災損害額	28	1 主たる予防行事	66
11 過去5年間の決算額と構成の推移	29	2 用途別防火対象物及び事業所数	67
12 消防職員1人当たりに対する		3 中高層防火対象物用途別棟数	68
人口・世帯数	30	4 防火管理実施状況	
13 消防職員配置状況		(1) 甲種防火対象物	69
(1) 消防職員の定数と実員累年比較	30	(2) 乙種防火対象物	70
(2) 局・署における配置状況	31	5 各種届出等処理状況	71
14 消防職員年齢別状況	32	6 用途別建築同意状況	72
15 消防職員勤続年数状況	33	7 種類別建築同意状況	73
16 消防職員特殊技能資格取得状況	34	8 月別建築同意処理状況	74
17 消防職員研修実施状況		9 防火対象物立入検査状況	75
(1) 学校等における研修実施状況		10 住宅防火訪問・住宅防火診断実施件数	76
(2) 消防局における研修実施状況		11 防災指導等月別実施状況	76
.....	35	12 主な講習会等実施状況	77
(3) 出向研修実施状況	36	13 防火クラブ等結成状況	78
18 消防職員公務災害取扱状況	36	14 危険物施設数（完成検査済証交付施設）.....	80
19 特殊勤務手当状況	37	15 危険物施設許可等状況	80
		16 液体危険物タンクの完成検査前検査	
警 防		実施状況	80
1 主たる警防行事	38	17 危険物事務処理（届出等）状況	81
2 消防ポンプ等配置台数	39	18 違反処理状況等	81
3 消防ポンプ等種別表	40	19 危険物施設等の立入検査実施状況	81
4 消防水利状況	42	20 危険物事務手数料徴収状況	82
5 主な消防器材の配置状況	45	21 容量及び類別屋外タンク貯蔵所	
6 消防分団の資機材配備状況	48	（完成検査済証交付施設）	82
7 開発行為の同意状況	49	22 危険物事業所数	82
8 泡消火原液等の備蓄状況	49	23 危険物保安監督者を必要とする施設数	82

目次

24	危険物施設等の事故発生状況	83	13	診療科目別搬送人員	109
25	地区別危険物施設状況	84	14	医療機関別・管内管外搬送人員の状況	110
26	倍数及び類別危険物施設状況	86	15	事故種別軽症者割合の推移	110
27	市民防災指導員活動状況	88	16	事故種別傷病程度別搬送人員の状況	110
28	自主防災組織活動状況	88	17	年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況	111
			18	病院選定理由区分	112
			19	高速自動車道における出動件数 及び搬送人員	112
			20	事故種別応急処置等実施状況	113
			21	傷病程度別応急処置等実施状況	114
			22	心肺機能停止傷病者の救命効果の推移	115
			23	応急手当普及啓発活動状況	116
			24	普通救命講習受講者数と心肺停止傷病者 への応急手当実施率の推移	117
			25	四国県庁所在都市の救急活動状況	118
			26	徳島市内の救急告示医療機関	119
			<救助統計>		
			1	事故種別救助活動状況	120
			2	地区別出動状況	121
			3	曜日別出動件数	122
			4	過去5年間の救助状況	122
			5	救助隊員訓練実施状況	122
火災統計					
1	火災総括表	89			
2	原因と主な発火源・経過・着火物	90			
3	月別火災発生状況	91			
4	時間別火災発生状況	92			
5	建物用途別火災状況	93			
6	住宅火災出火箇所別状況	93			
7	火災種別1件当たりの損害額	94			
8	建物構造別焼損状況	94			
9	建物用途別出火件数	95			
10	住宅火災の出火原因	95			
11	住宅火災における住宅用火災警報器等 の設置状況	95			
12	地域別出火件数と損害額	96			
13	10年間の出火件数・焼損面積・ 損害額・死傷者の推移	97			
救急救助統計					
<救急統計>					
1	事故種別救急出動件数及び搬送人員	98			
2	出動件数及び搬送人員の推移	99			
3	人口1万人当たりの出動件数及び 搬送人員の推移	100			
4	年齢区分別搬送人員の推移	101			
5	事故種別出動件数構成比の推移	102			
6	事故種別年齢区分別搬送人員	103			
7	事故種別曜日別出動件数・搬送人員	104			
8	事故種別月別出動件数・搬送人員	104			
9	覚知時刻別事故種別出動件数・搬送人員	105			
10	現場到着所要時間及び医療機関への 収容所要時間	106			
11	地区別出動件数・搬送人員	108			
12	傷病程度別搬送人員	109			
消防団					
1	消防団の沿革	123			
2	主たる消防団行事	129			
3	消防団員の階級別定員及び実員	130			
4	消防団員の報酬・費用弁償・交付金	131			
5	消防団員年齢・階級状況	132			
6	消防団員勤続年数・階級状況	133			
7	消防団員出動状況	134			
8	消防団員の訓練研修状況	135			
9	消防団員公務災害状況	136			

総

務

1 消 防 の 沿 革

1 旧 藩 時 代

- 天明年間蜂須賀家において火の見番なるものを設け、徳川幕府の制度に習い江戸より鳶職（家屋建築の手伝いをするもの、本県では屋方師と称す。）を数人徳島に連れ帰って市内屋方師50人を徴募して消防組を組織する。
- 御本丸（現徳島中央公園）に駄付と称するを置く、後にこれを本鳶と称す。
- その後間もなく、渭東の屋方師70人を徴募し、西の丸（現内町小学校）に駄付なる消防を、さらに西富田方面に屋方師約70人を徴募し、東御殿（現徳島県庁）に組織する。
（注）頭には刀佩を許され、これらの鳶職には平常において人の紛議に関与し、仲裁の労を取りあたかも、現在の行政警察の一部を行いその隆盛なるものあり。
- 元禄年間において江戸に竜吐水を発見せられたるをもって藩はその職人を招き徳島において製作せしめ、これを本丸、西の丸、東御殿の各鳶に配置し、火災に際し提手桶をもって竜吐水に投入し、消火に従事せしめた。
（注）以上の各消防は火の見番において指導監督をなしたるをもって徳川幕府における武士火消に相当する。
- 次いで佐古西部に屋方師40人をもって蛇の目組、佐古東部に同じく、は組と称する消防組を組織し、主として佐古方面の防火に従事する。更に助任方面において屋方師約30人をもって、て組と称する消防組を組織して主として助任方面の防火に従事する。（注）これらは各自任意に組織したるをもって徳川幕府の町火消に相当する。

2 明治維新以後

- 明治維新以後旧来の各駄付は自然に藩を離るるを止むなきに至り、これら消防は各自にその組織を維持し、依然消防に従事する。明治6年福島方面に27人をもって市松組、二軒屋方面に約30人をもって丸金組、寺町方面に27人をもってい組と称する消防組を同時に組織する。上の各組に対し名東郡役場より2人宛の竜吐水を配布して使用した。
- 明治8年佐古1丁目市川利喜蔵氏総組員として、次の十番組を統一する。

内 町（本 鳶）	一番組	寺 町（い 組）	二番組
渭 東（本 鳶）	三番組	助 任（て 組）	四番組
新 町（本 鳶）	五番組	富 田（東御殿駄付）	六番組
佐 古（蛇の目）	七番組	佐 古（は 組）	八番組
福 島（市松組）	九番組	二軒屋（丸金組）	十番組

各組は毎年初め出初式を挙行し梯子乗り、その他演技を競いポンプの放水競技もした。
- 明治12年フランス式腕用ポンプ1台を購入して大いに氣勢をあげた。
- 明治13年出火消防規則が設けられ、出火の災害を予防し、鎮火活動を敏捷ならしめるため（方眼）を設け、第一方眼の東は福島橋以西、西は滝見橋以东、南は富田橋以北、北は助任橋以南とし、第二方眼の東は安宅天文台以西、西は佐古以东、南は横土手以北、北は助任江西寺以南とし、第三方眼は県庁（現在市役所所在地）を距ること概ね一丁以西の地を方眼とし消防の任務に服する。

3 消防組時代

- 明治27年勅令消防組規則が公布せられ、市は、県知事に申請して番組を部名に改め十部制の公設消防組とした。同年東京市市原製作所よりドイツ型腕用ポンプ10台を購入して各部に配置する。
- 大正3年、市は大阪市鈴木製作所より36馬力ガソリンポンプ1台を購入し、機械消防の端を開き、これを第一部に配置する。
- 大正12年自動車ポンプ1台及びガソリンポンプ2台を鈴木製作所より購入し、自動車ポンプは第一部に、ガソリンポンプは第六部と第七部に配属する。自動車ポンプ購入とともに運転手1人を常備員として第一部に勤務せしむ。
- 大正13年第四部に大正15年第五部に、昭和元年第二部、第三部及び第八部にそれぞれ地元有志によりガソリンポンプ1台宛寄付あり。
- 大正15年4月津田町、斉田町、沖洲村の三町村を市に合併編入により四部増加、十四部制となる。
- 昭和3年4月多年懸案となっていた常備消防を設置し、幹部2人消防手4人を隔日交代にて常勤とした。昭和8年常備消防に自動車ポンプ1台増車し、計2台となったが人員少なきため、消火作業十分ならず、翌々年常備員を12人に増員した。
- 昭和10年第十部にガソリンポンプ1台地元有志の寄付あり。
- 昭和12年防空法の公布施行により新たに防護団を結成市長を防護団長として市内12記別分団を置き、民防空の陣を敷いた。
- 一方消防組は昭和13年八万、加茂名、加茂の3消防組の合併編入により36部制982人となる。
- 同年常備消防に鈴木フォード自動車ポンプ1台購入し、計3台となった。

4 警防団時代

- 昭和14年4月警防団令（勅令）施行により在来の消防組と防護団を総合して警防団に改組し、団長以下2,261人12分団編成となった。
- 昭和18年渭東、渭北、新町の各分団に地元の寄付により、自動車ポンプ1台整備され、夜間のみ運転手1人と消防手5人を常置した。同年富田分団を東富田、西富田に二分し、13分団編成となった。
- 同年常備消防の定員8人増員し、計30人とし、補助員として警防団員30人を配属した。
- 昭和19年3月大日本警防協会長より全国優良警防団として表彰状並びに表彰旗を受けた。
- 昭和20年7月4日米空軍の大空襲により市内の大半焼失、罹災戸数16,899戸、127万坪、死者1,166人、負傷者2,282人、同年8月15日終戦となる。
- 昭和20年9月、常備消防を東西に分置した。
- 昭和22年9月消防団令（勅令）公布施行に伴う、本市消防団条例の制定によって警防団を消防団に改組した。

5 自治体消防発足後

昭和23年	3月	消防組織法の施行により、自治体消防として発足した。
〃	6月	1日従来の消防委員会及び消防団常備部を廃止し、幸町2丁目1番地(現5番地)に徳島市消防本部並びに徳島町域の内2番地に徳島市消防署を、蔵本町2丁目6番地に西出張所を置いた。

昭和26年	4月	多家良・勝占両村が合併した。
昭和27年	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置した。
昭和28年	12月	親子式消防ポンプ自動車（大型消防ポンプ自動車に小型動力ポンプを積載）1台を購入し、消防署に配置した。
昭和30年	1月	新居町（現不動町）・入田村が合併した。
〃	2月	上八万村が合併した。
〃	3月	川内村が合併した。
〃	6月	津田分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	12月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。
〃	〃	八万分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
昭和32年	5月	渭東・渭北・佐古・東富田分遣所を開設し、機関員（消防士）各1人を配置した。
〃	12月	無線局（基地局1・陸上移動局2）を開設した。
〃	〃	日本専売公社から監視艇1隻の寄贈を受け、消防艇（あさかぜ）として改装し進水した。
昭和33年	3月	幸町2丁目1番地（現5番地）に消防庁舎（本部・消防署）を新築移転した。
昭和34年	2月	親子式消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置した。
〃	4月	沖洲分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	6月	海上保安庁と消防機関の業務能率の向上と円滑な運営を図るため、業務協定覚書を締結した。
昭和35年	3月	はしご付消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置した。
〃	〃	陸上移動無線局を西出張所に設置した。
昭和36年	3月	特殊消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置した。
〃	〃	消防専用無線電話機（移動用）2台を購入し、特殊消防ポンプ自動車及び2号車に装備した。
昭和37年	12月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、消防署に配置した。
〃	〃	消防専用無線電話機（移動用）1台を購入し、消防署に配置した。
昭和39年	4月	消防署で救急業務を開始した。
〃	11月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、消防署に配置した。
昭和40年	4月	徳島消防署を徳島市東消防署とし、庄町1丁目76-3に徳島市西消防署を開設発足、職員39人を配置した。
〃	10月	西消防署で救急業務を開始した。
昭和41年	8月	住友生命から救急自動車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	10月	応神村が合併した。
昭和42年	1月	消防本部2課（総務・警防）4係（庶務・機械・消防・予防）制とした。
〃	〃	国府町が合併した。
〃	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	〃	超短波無線（150MC）基地局1・移動局2台切替変更した。
〃	3月	消防専用電話を設置した。（局線5・内線8・外線13）
昭和43年	3月	超短波無線移動局7台を切替変更した。
〃	〃	親子式消防ポンプ自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	〃	化学消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	4月	東消防署救急隊員専任化のため消防職員6人を増員し、定員121人となった。
昭和43年	10月	東消防署川内出張所を開設発足した。
昭和44年	3月	消防ポンプ自動車1台を購入し、川内出張所に配置した。

昭和44年	4月	消防副士長制度を導入し、4月1日から実施した。
〃	6月	災害のため徳島駅構内に長時間足止めされた旅客に対する応急対策を円滑に実施するため、日本国有鉄道と災害時における徳島駅構内の旅客に対する応急対策の実施に関する覚書を締結した。
昭和45年	3月	西消防署に超短波無線電話機の基地局を設置した。
〃	〃	超短波無線移動局2台を増設した。
〃	4月	西消防署の救急要員2人を増員し、定員123人となった。
〃	6月	徳島市危険物安全協会元会長西谷菊次氏から協会を通じて広報車1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。
昭和46年	2月	超短波無線電話機（車載2台）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	3月	はしご付消防ポンプ自動車（32m級）1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	4月	消防職員8人を増員し、定員131人となった。
〃	8月	徳島ライオンズクラブから救急自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	12月	消防本部超短波無線基地局を更新するとともに超短波無線電話機（車載1台、携帯2台）を購入し、東・西消防署に配置した。
昭和47年	3月	東消防署及び勝占出張所に配備するため、消防ポンプ自動車2台を購入した。勝占出張所用地として徳島市西須賀町下中須19-1に158㎡を購入するとともに用地の造成を完了した。
〃	4月	消防職員14人を増員し、定員145人となった。
〃	9月	徳島東ロータリークラブから赤バイ2台の寄贈を受け、東消防署に配置した。ジープ1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	10月	東消防署勝占出張所を開設発足した。
昭和48年	1月	超短波無線電話機（車載3台）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	〃	消防ポンプ自動車2台を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	4月	加茂分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	6月	火災案内専用電話3回線を通信室に配置した。
〃	7月	現場指揮用高出力拡声装置1基を東消防署に配置した。
〃	8月	救急自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	〃	消防本部庁舎を一部増築した。
〃	10月	川内出張所を一部増築した。
〃	11月	高発泡消火装置1台を購入し、東消防署に配置した。
昭和49年	3月	高圧空気圧縮機1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	〃	超短波無線電話機（基地局1台、車載2台）を購入し、消防本部・東・西消防署に配置した。
〃	〃	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	〃	消防職員13人を増員し、定員165人となった。
〃	4月	日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	8月	望楼常時勤務を廃止した。
〃	9月	消防本部を3課制とし、総務課に庶務・人事教養係、警防課に消防・装備係、予防課に予防・危険物係を設けた。
〃	〃	警戒監視制度の消防パトロール隊が発足した。
昭和49年	10月	上八万分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	11月	応神分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
昭和49年	12月	日本損害保険協会から屈折はしご自動車（15m級）1台の寄贈を受け、東消防

		署に配置した。
昭和50年	1月	東消防署に救助分隊が発足した。
	2月	火災案内専用電話2回線を増設した。
	3月	超短波無線電話機（車載2台）を購入し、東・西消防署に配置した。
	4月	消防本部に次長制を設けた。
	〃	消防職員15人を増員し、定員180人となった。
	〃	徳島ロータリークラブから救急自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
	7月	西消防署国府出張所を開設発足した。
	9月	消防機関の行う消防活動にかかるクレーン車の出動について、クレーン車保有会社8社と協定を締結した。
昭和50年	11月	消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
	12月	超短波無線電話機（車載3台）を購入し、東消防署に配置した。
昭和51年	3月	八万分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
	〃	消防組織法第21条の規定に基づき県下10消防本部が、徳島県広域消防相互応援協定を締結した。
	4月	消防職員1人を増員し、定員181人となった。
	5月	住友生命保険会社から救急自動車1台及び超短波無線電話機（車載1台）の寄贈を受け、東消防署に配置した。
	6月	中野明氏からパトロール車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
	〃	北井上分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
	7月	西消防署に救助分隊が発足した。
	12月	パトロール車1台を購入し、西消防署に配置した。
昭和52年	3月	消防庁舎（警防課・通信指令室）を増築した。
	〃	多家良分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
	〃	徳島市が行う応急措置にかかる建設機械の応援出動について、関係6社と協定を締結した。
	4月	消防職員7人を増員し、定員188人となった。
	5月	災害時における非常通信について、アマチュア無線CQ阿波クラブとの間に協定を締結した。
	6月	東消防署に潜水隊が発足した。
	7月	日本消防協会から広報車1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。
昭和52年	10月	徳島北ライオンズクラブから広報車1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。
	12月	救急指令装置（B型）一式を通信指令室に設置した。
	〃	自動交換機1台を通信指令室に設置した。
	〃	火災案内専用電話5回線を増設した。
昭和53年	2月	消防ポンプ自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
	3月	超短波無線電話機を購入し、西消防署に基地局第2装置用として配置した。
	〃	西消防署貯油庫を改築した。
	4月	消防職員5人を増員し、定員193人となった。
	9月	災害応急復旧用無線電話装置一式を通信指令室に設置した。
昭和54年	2月	防災指導車2台を購入し、東・西消防署に配置した。
	3月	徳島県防災行政無線端末装置（市町村無線局）一式を通信指令室に設置した。
	4月	消防職員6人を増員し、定員199人となった。
昭和54年	7月	川内分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。

昭和54年	8月	西消防署に潜水隊が発足した。
〃	9月	徳島・小松島飛行場周辺において、航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整体制について、徳島県と飛行場周辺の市町村の間に、協定を締結した。
〃	〃	日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	12月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
昭和55年	2月	超短波無線電話機（車載2台）を購入し、消防本部に配置した。
〃	〃	はしご付消防ポンプ自動車（35m級）1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	〃	東消防署津田出張所を開設発足した。
〃	4月	消防職員6人を増員し、定員205人となった。
〃	6月	加茂名分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	〃	徳島西ライオンズクラブから原動機付自転車2台の寄贈を受け、消防本部及び西消防署に配置した。
〃	8月	小型動力ポンプ2台を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	9月	日本消防協会から防災資機材搬送車1台の寄贈を受け、消防本部に配置した。
〃	〃	徳島市消防音楽隊（22人）を編成発足した。
〃	〃	松村酸素株式会社から楽器及び制服の寄贈を受けた。
〃	11月	消防ポンプ自動車1台を購入し、津田出張所に配置した。
〃	〃	救急自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
昭和56年	3月	東消防署川内出張所を新築移転した。
〃	4月	消防職員1人を増員し、定員206人となった。
〃	6月	広報車1台を購入し、消防本部に配置した。
〃	〃	指揮車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	8月	多家良水防倉庫を改築した。
〃	10月	日本消防協会から防火広報車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	11月	情報収録装置を通信指令室に配置した。
〃	〃	徳島石油株式会社から査察車2台の寄贈を受け、東・西消防署に配置した。
〃	12月	消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
昭和57年	2月	日本自動車工業会から救急自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	3月	消防庁長官から消防本部・消防団に竿頭綬が授与された。
〃	〃	不動水防倉庫を改築した。
〃	〃	大規模な災害が予想されるガス漏れ事故、ガス爆発事故等の発生に際し現場活動の円滑化を図り、被害を最小限に止めることを目的とし関係機関とガス爆発事故発生時の措置に関する協定を締結した。
〃	4月	入田分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	〃	不動分遣所を開設し、機関員（消防士）1人を配置した。
〃	〃	消防職員6人を増員し、定員212人となった。
〃	7月	指揮車1台を購入し、東消防署に配置した。
昭和58年	1月	消防ポンプ自動車2台を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	3月	化学消防ポンプ自動車1台を購入し、川内出張所に配置した。
〃	〃	超短波無線電話機（車載4台）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	4月	警防課に通信指令室を設けた。
〃	8月	新蔵町1丁目88番地に消防本部庁舎を新築移転するとともに消防本部の名称を消防局に改称した。

昭和58年	8月	日本消防協会から救助資機材搬送車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	〃	小型動力ポンプ1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	〃	通信指令室に地図検索装置、オフィスコンピューター及び総合気象観測装置を設置した。
〃	9月	丸善商事株式会社から指揮車1台の寄贈を受け、消防局に配置した。
〃	〃	大原水防倉庫を改築した。
〃	12月	消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	〃	超短波無線電話機（車載4台）購入し、東・西消防署に配置した。
昭和59年	1月	救助工作車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	3月	無線制ぎょによるサイレン吹鳴装置を通信指令室（親局）及び応神（子局）に設置した。
〃	〃	徳島ボンタクラブから救急自動車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	6月	指揮車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	9月	救急車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	11月	超短波無線電話機（車載4台）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	〃	名東水防倉庫を移転改築した。
〃	〃	消防ポンプ自動車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	〃	無線制ぎょによるサイレン吹鳴装置（子局）を上八万に設置した。
昭和60年	8月	日本消防協会から電源照明車1台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃	10月	西消防署訓練棟が新築落成した。
〃	12月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	〃	徳島駅前西地区市街地再開発組合から救命艇の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	〃	無線同報装置を小神子に配置した。
〃	〃	超短波無線電話機（車載4台）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃	〃	徳島市消防の歌を定めた。
昭和61年	1月	上八万水防倉庫を改築した。
〃	3月	眉山ライオンズクラブから広報車1台の寄贈を受け、消防局に配置した。
〃	5月	電話ファクシミリ1台を通信指令室に配置した。
〃	8月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	9月	西消防署に救急波の基地局を新設した。
〃	12月	超短波無線電話機（車載4台）を購入し、消防局・東・西消防署に配置した。
〃	〃	無線同報装置を津田町4丁目に配置した。
昭和62年	1月	水槽付消防ポンプ自動車（IB型）1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	4月	徳島市と小松島市との間において、救急業務の応援に関する協定を締結した。
〃	7月	指揮車1台を購入し、西消防署に配置した。
〃	8月	救急自動車（2B型）1台を購入し、東消防署に配置した。
〃	10月	無線同報装置を沖洲に配置した。
〃	11月	国府水防倉庫を移転改築した。
昭和62年	12月	超短波無線電話機（車載4台）を購入し、消防局・東・西消防署に配置した。
〃	〃	徳島南ライオンズクラブから広報車1台の寄贈を受け、消防局に配置した。
昭和63年	1月	救急基金から救急自動車1台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃	6月	広報車1台を購入し、消防局に配置した。
〃	7月	徳島市消防40周年記念式典を挙行了した。
昭和63年	10月	無線同報装置を川内町小松に設置した。

昭和 63 年 12 月	超短波無線機（車載 10 台）を購入し、消防局・東・西消防署に配置した。
〃 〃	発災地検索指令システムを導入し、通信指令室に設置した。
平成 元年 2 月	国際消防救助隊編成市町村に登録認証された。
〃 3 月	東消防署勝占出張所（水防倉庫併設）を移転新築した。
〃 〃	西消防署国府出張所の増改築をした。
〃 〃	花房・法花・大松水防倉庫を廃止した。
〃 〃	ポケットベル同報メールシステムを導入し、通信指令室に設置した。
〃 〃	クレーン付資機材搬送車 1 台を購入し、東消防署に配置した。
〃 〃	分遣所制度改革に伴い職員 16 人を引き揚げた。
〃 4 月	総務課に消防団係を、消防署に副署長及び救急救助第一係・第二係を設け、警防課の消防係を消防防災係に名称の変更をした。
〃 6 月	勝占出張所救急業務を開始した。
〃 8 月	徳島県共済農業協同組合連合会から救急自動車 1 台の寄贈を受け、東消防署勝占出張所に配置した。
〃 10 月	救急自動車（2B 型）1 台を購入し、西消防署に配置した。
〃 〃	救難用ゴムボート 1 艇を購入し、西消防署に配置した。
〃 12 月	無線同報装置を大原町大神子に設置した。
平成 2 年 1 月	毎日勤務部門の職場について第 2・第 4 土曜日を閉庁とし、隔日勤務の勤務時間を週平均 44 時間とした。
〃 3 月	東・西消防署に救急隊員専用の消毒室を設置した。
〃 4 月	消防局に参事制を設けた。
〃 10 月	西消防署 2 階に無線遠隔操作器を設置した。
〃 11 月	超短波無線機（車載 4 台）を購入し、消防局・西消防署に配置した。
〃 12 月	無線同報装置を津田町 1 丁目に設置した。
平成 3 年 1 月	福島水防倉庫を増改築した。
〃 2 月	消防ポンプ自動車（CD-I 型）1 台を購入し、西消防署に配置した。
〃 3 月	通信指令室を増改築した。
〃 10 月	無線同報装置を川内町旭野及び南沖洲 5 丁目に設置した。
〃 11 月	超短波無線機（車載 2 台）を購入し、西消防署に配置した。
平成 4 年 1 月	救急車、指揮車及び消防ポンプ自動車合計 8 台に自動車電話及びファックスを搭載し、運用を開始した。
〃 3 月	防災指導車 1 台を購入し、東消防署に配置した。
〃 〃	消防緊急情報指令システムを 2 箇年事業により完成し、運用を開始した。
〃 〃	救助工作車 1 台を購入し、西消防署に配置した。
〃 〃	高規格救急自動車 1 台を購入し、東消防署に配置した。
〃 4 月	総務課の庶務係を庶務企画係、人事教養係を人事係に、警防課の装備係を救急救助係にそれぞれ名称の変更をした。
平成 4 年 1 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
〃 5 月	水中無線機一式を購入し、東消防署に配置した。
〃 8 月	東消防署救急仮眠室を救急研究室に改修した。
〃 〃	日本消防協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃 9 月	救急自動車（2B 型）を購入し、東・西消防署に配置した。
〃 〃	超短波無線機（車載 2 台）を購入し、東・西消防署に配置した。
平成 4 年 11 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。

平成 4 年 1 1 月	スリランカ民主社会主義共和国に消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台を譲与した。
〃 1 2 月	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型）を購入し、東消防署に配置した。
平成 5 年 3 月	消防庁長官から消防局・消防団に表彰旗が授与された。
〃 〃	東消防署津田出張所を移転新築した。
〃 4 月	消防職員 3 6 人を増員し、定員 2 4 8 人となった。
〃 〃	初めて女子消防吏員 2 人を採用した。
〃 〃	徳島市消防カラーガード隊（9 人）を編成し、発隊した。
〃 〃	徳島市保健予防課から保管転換された給水車を改造し、大型水槽車として西消防署に配置した。
〃 〃	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
〃 7 月	人員輸送車を更新し、消防局に配置した。（2 9 人乗マイクロバス）
〃 〃	(財)日本防火協会から防火広報車 1 台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃 8 月	田岡博明氏から救急自動車（2B型）1 台の寄贈を受け、東消防署に配置した。
〃 1 0 月	西消防署 1 号車（水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型））を更新した。
〃 1 1 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
平成 6 年 3 月	高速自動車道の徳島インターチェンジから脇町インターチェンジまでの間における消防の相互応援に関する協定を締結した。（5 消防本部）
〃 〃	徳島自動車道における火災及び救急業務に関する協定を締結した。（5 消防本部等）
〃 4 月	救急救命士国家試験に 2 人が合格した。
〃 〃	(財)徳島新聞社会文化事業団並びに鎌田周作氏から高度応急処置用救急資機材の寄贈を受け、勝占出張所救急車に装備した。
〃 1 1 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
平成 7 年 3 月	東消防署川内出張所を増改築した。
〃 〃	日本損害保険協会から高規格救急車の寄贈を受け、西消防署に配置した。
〃 4 月	交替制勤務者の勤務体制を三部制とした。
〃 〃	東消防署川内、勝占出張所を川内分署、勝占分署にそれぞれ名称の変更をした。
〃 4 月	東消防署川内分署、津田出張所及び西消防署国府出張所で救急業務を開始した。
〃 5 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
〃 7 月	救急自動車（2B型）1 台を購入し、東消防署に配置した。
〃 8 月	災害時の食糧として、1 万人分（1 食分）の食糧を備蓄した。（乾パン 6 千缶、生パン 4 千缶、飲料に 1. 5 1 万本）
〃 9 月	緊急消防援助隊に、救助部隊、救急部隊及び後方支援隊として登録した。
〃 1 1 月	津田出張所消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新した。
〃 〃	東消防署 3 2 m はしご付消防自動車を更新し、5 0 m はしご付消防自動車とした。
平成 7 年 1 1 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
〃 1 2 月	徳島市と徳島眉山ゴルフ株式会社、株式会社サンピア及び阿波総合開発株式会社（徳島カントリーゴルフ）との間において、大規模災害時における飛行場外離発着場に関する協定を締結した。
〃 〃	徳島市と徳島県漁業協同組合連合会との間において、大規模災害時における輸送協力に関する協定を締結した。
平成 8 年 1 月	無線同報装置を東沖洲 2 丁目及び津田海岸町に設置した。
平成 8 年 3 月	徳島市と鳥取市、松江市、岡山市、広島市、山口市、高松市、松山市及び高知市

		(8市)との間において、中国・四国地区都市防災連絡協議会災害時相互応援協定を締結した。
平成 8 年	4 月	消防局に防災対策監・防災対策室を設置した。
	〃	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	5 月	徳島市と和歌山市・姫路市・堺高石市消防組合との間において、消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定を締結した。
	6 月	査察車 2 台を購入し東・西消防署に配置した。
	8 月	(財)日本宝くじ協会から防災指導車 1 台の寄贈を受け、西消防署に配置した。
	9 月	医療法人川島会から救急車(2B型) 1 台の寄贈を受け、東消防署津田出張所に配置した。
	10 月	高度救助資機材を購入し東消防署に配置した。
	〃	徳島市と鳴門市・小松島市・阿南市との間において、災害時相互応援に関する協定を締結した。
	11 月	消防ポンプ自動車(CD-I) 1 台を購入し東消防署川内分署に配置した。
	12 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
平成 9 年	3 月	支援車 1 台を購入し東消防署に配置した。
	〃	災害時における物資供給の応援に関する協定を 5 事業所との間で締結した。
	4 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	8 月	徳島市及び和歌山市災害時相互応援協定を締結した。
	〃	神戸市、洲本市及び徳島市の災害時相互応援を締結した。
	11 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	12 月	広報車 1 台を購入し消防局に配置した。
	〃	高速自動車道の徳島インターチェンジから美馬インターチェンジまでの間における消防の相互応援に関する協定を締結した。(6 消防本部)
	〃	徳島自動車道における火災及び救急業務に関する協定を締結した。(6 消防本部)
	〃	消防ポンプ自動車(CD-I・4WD) 1 台を購入し東消防署勝占分署に配置した。
	〃	災害対応特殊救急自動車(高規格・4WD) 1 台を購入し東消防署に配置した。
平成 10 年	1 月	(財)救急振興財団から救急普及啓発広報車の寄贈を受け、東消防署に配置した。
	3 月	「徳島市防災マップ」を 13 万部作成し、全ての世帯及び事業所に配布した。
	〃	防災用品を備蓄した。(ダンボール制組立式簡易トイレ 100 個、災害用毛布 100 枚、災害用飲料水給水袋 2,000 枚)
	4 月	徳島県市町村消防相互応援協定を締結した。(44 市町村、9 消防組合管理者)
	〃	徳島県消防防災ヘリコプター応援協定を締結した。(県知事、50 市町村、9 消防組合管理者)
	6 月	救急救命士国家試験に 2 人が合格した。
平成 10 年	8 月	代表消防本部制により携帯電話からの 119 番通報受信を開始した。
平成 11 年	3 月	高速自動車道の徳島インターチェンジから井川池田インターチェンジまでの間における消防の相互応援に関する覚書を交換した。(7 消防本部)
	〃	地域防災無線設備を市関係部局、救急病院、防災関係機関等に設置した。(移動局 169 局)
	4 月	消防局次長を 1 人制とした。
	6 月	水上オートバイ 1 台を購入し、東消防署に配置した。
	7 月	オフロードバイク 2 台を購入し、東・西消防署に配置した。
平成 11 年	9 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(CD-I 型) 1 台の寄贈を受け、東消防

		署に配置した。
平成 11 年	1 1 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	1 2 月	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）1 台を購入し、国府出張所に配置した。
平成 12 年	3 月	屈折はしご付消防自動車（20m級）1 台を購入し、東消防署に配置した。
	4 月	西消防署を本館改築した。
	〃	災害情報衛星通信（画像伝送）システムを運用開始した。
	〃	川内分署及び勝占分署に係長を各 3 人配置した。
	6 月	水上オートバイ 1 台を購入し、西消防署に配置した。
	7 月	気象情報端末装置を設置した。
	1 1 月	中国人民共和国に消防ポンプ自動車 3 台を譲与した。
	1 2 月	救助工作車Ⅲ型を 1 台購入し、東消防署に配置した。
平成 13 年	4 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	9 月	指揮車 1 台を購入し、西消防署に配置した。
	1 2 月	高規格救急自動車を購入し、東消防署に配置した。
平成 14 年	3 月	医療法人川島会から高規格救急車の寄贈を受け、西消防署に配置した。
	4 月	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	8 月	東南海・南海地震に係る地震防災対策検討委員会を設置した。
	1 0 月	吉野川洪水避難対策調査検討委員会を設置した。
	1 1 月	指揮車 1 台を購入し、東消防署に配置した。
平成 15 年	1 月	小型動力ポンプ付水槽車を購入し、西消防署に配置した。
	3 月	昭和南海地震体験談災害史を作成した。
	4 月	本庁職員の理事を防災対策監（部長級）に併任した。
	〃	消防署の副署長 2 人制を廃止し、管理職の署長補佐を配置した。
	〃	救急救命士免許取得者 1 人を採用した。
	〃	救急救命士国家試験に 4 人が合格した。
	5 月	市民防災指導員を募集し、地域の防災訓練等への協力を得た。
	8 月	吉野川洪水避難対策地図を 8.4 万部作成し、浸水地域に該当する全ての世帯及び事業所に配布した。
	1 1 月	広報車 1 台を購入し、消防局に配置した。
	1 2 月	上下型防火衣の導入を開始した。
	〃	東南海・南海地震に係る地震防災対策推進地域の指定を受けた。
平成 16 年	1 月	四国旅客鉄道株式会社と鉄道災害時の安全対策についての覚書を締結した。
	2 月	水槽付き消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1 台を購入し、東消防署へ配置した。
	4 月	本庁職員の課長補佐を防災対策室長補佐に併任した。
平成 16 年	4 月	通信指令室に管理職の室長補佐を配置した。
	〃	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
	5 月	市民防災指導員（継続）を募集し、研修を修了した 53 人から地域の防災訓練等への協力を得た。
	6 月	災害時における災害用トイレ等の供給協力に関する協定を市内 4 業者と締結した。
	〃	徳島県建設業協会徳島支部と災害時における応急対策の協力に関する協定を締結した。
	9 月	自動体外式除細動器（二相波形式 3 台）を東・西消防署高規格救急車に配備した。
	1 0 月	IP 電話による 119 番通報受信を開始した。
平成 16 年	1 2 月	防火広報車を購入し、東消防署へ配置した。

平成16年12月	災害対応特殊救急自動車（高規格救急車）を購入し、東消防署へ配置した。
平成17年 1月	徳島県津波浸水予測図をもとに徳島市津波避難計画を作成した。
〃 2月	徳島大学環境防災研究センターと防災対策に係る相互協力に関する覚書を交換した。
〃 3月	徳島市津波避難対策セミナー（4回）を開催した。
〃 〃	救急救命士国家試験に2人が合格した。
〃 〃	総務省消防庁へ研修生を派遣した。
〃 5月	市民防災指導員（継続）を募集し、研修を修了した63人から地域防災への協力を得た。
〃 7月	4県（三重・和歌山・高知・徳島）共同津波避難訓練に津田地区が参加した。
〃 8月	徳島市地震・津波防災マップを作成し、全世帯、全事業所に配布した。
〃 9月	広報車1台を購入し、消防局に配置した。
〃 〃	徳島県総合防災訓練が徳島ブロック（中島田町）で開催され、参加した。
〃 10月	自動体外式除細動器（二相波形式1台）を川内分署高規格救急車に配備した。
〃 11月	女性救急隊員（救急救命士）を配置した。
〃 〃	応神地区で地区別津波避難計画作成検討会を開催した。
〃 12月	携帯電話からの119番直接受信方式を運用開始した。
平成18年 1月	消防職員登用試験を実施した。
〃 2月	富士常葉大学小村助教授を迎え、津波避難地区を対象に地区別津波避難計画作成検討会を開催した。
〃 3月	消防音楽隊を解散した。
〃 4月	本庁総務部危機管理課の新設に伴い、消防職員4人が併任辞令を受命した。
〃 〃	救急救命士国家試験に1人が合格した。
〃 6月	分団員招集メールシステム及び職員災害情報メール配信を開始した。
〃 10月	消防職員上級採用試験（2年ぶり）及び消防職員登用試験（2年連続）を実施した。
〃 12月	消防職員初・中級採用試験（2年連続）を実施した。
平成19年 1月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入し、東消防署に配置した。
〃 4月	救急救命士国家試験に1人が合格した。
〃 〃	平成18年度事業で整備した同報無線設備の運用開始式を挙行了した。
〃 7月	徳島東部地域市町村長懇話会の作業部会（消防部会・防災部会）において承認された事項について運用を開始した。（高所カメラによる情報提供、非常備町村と隣接する消防本部との各種講習会及び研修会の実施、5消防機関による広域消防相互応援協定の締結、起震車貸出要綱等の一部改正による勝浦町・上勝町・佐那河内村の3町村職員を対象とした操作員講習会を実施）
平成19年 7月	市民が主体となった市民参加型の防災訓練として、徳島市民総合防災訓練（加茂名地区）を開催した。
〃 9月	東消防署川内分署の耐震補強工事を実施した。
〃 12月	災害対応特殊救急自動車を購入し西消防署へ配置した。
平成20年 2月	自動体外式除細動器（AED）貸出業務を開始した。
〃 4月	救急救命士国家試験に1人が合格した。
〃 5月	パラオ共和国連邦に35m級梯子付消防ポンプ自動車を寄贈した。
〃 6月	簡易型硫化水素除去装置を東西消防署に配置した。
平成20年 7月	高度救助用資機材のうち地震警報器及び画像探索機Ⅱ型を購入し、地震警報器を

		東消防署に、画像探索機Ⅱ型を西消防署に配置した。
平成20年	10月	平成19年度事業で整備した同報無線設備屋外拡声子局の運用を開始した。
	12月	川内分署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車を更新配置した。
平成21年	4月	平成20年度事業で整備した同報無線設備屋外拡声子局の運用を開始した。
	〃	全国瞬時警報システム（J－A L E R T）の運用を開始した。
	〃	まちかど救急ステーション表示制度を開始した。
	〃	東消防署に高度救助隊を発足した。
	〃	救急救命士国家試験に2人が合格した。
	7月	西消防署に資機材搬送車を更新配置した。
	12月	津田出張所に災害対応特殊救急自動車を配置した。
平成22年	2月	消防緊急情報システム部分更新を完了し、直近選別方式を導入した。
	3月	鈴江水防倉庫を解体廃止した。
	4月	救急救命士国家試験に2人が合格した。
	12月	東消防署に救命艇さくらを更新配備した。
	〃	総務省消防庁から支援車1台の貸与を受け、東・西消防署に各1台の支援車を配置した。
平成23年	3月	東日本大震災の被災地、宮城県塩竈市に緊急消防援助隊徳島県隊として、指揮隊3人、後方支援部隊3人、救助部隊5人の計11人を派遣した。
	〃	J A 共済連徳島県本部から高規格救急自動車の寄贈を受け、東消防署に配置した。
	5月	地域防災無線システムを廃止した。
	10月	コンビニエンスストアのA E D設置事業を開始した。
	11月	東日本大震災被災地への緊急消防援助隊派遣に伴い、徳島市消防局が総理大臣表彰を受賞した。
平成24年	6月	総務省消防庁から徳島県指揮隊車の貸与を受け、東消防署に配置した。
	7月	指揮車を購入し、消防局に配置した。
	8月	指揮車2台を購入し、東・西消防署に各1台を配置した。
	12月	高度救助用資機材の画像探索機Ⅰ型を東消防署に更新配置した。
	〃	高度救助用資機材の熱画像直視装置を購入し、西消防署に配置した。
平成25年	1月	総務省消防庁から資機材搬送車の貸与を受け、東消防署に配置した。
	2月	アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、西消防署に配置した。
	3月	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を購入し、西消防署に配置した。 （600ℓ水槽積載）
平成25年	12月	徳島市防災ラジオ整備事業を開始し、市民・事業所を対象に応募受付を実施した。 （第1次整備：沿岸部5地区）
平成26年	1月	救助工作車（Ⅱ型）を購入し、西消防署に配置した。
	4月	徳島市防災ラジオ応募受付の対象を市内全域に拡大し実施した。 （第2次整備）
	5月	総務省消防庁から津波・大規模風水害対策車の貸与を受け、東消防署に配置した。
	12月	消防救急無線のデジタル化に伴い、眉山基地局の局舎及び共通波を整備した。
平成27年	2月	災害対応特殊救急自動車を購入し、勝占分署に配置した。
	〃	国府出張所新庁舎の運用を開始した。
平成27年	3月	救急救命士国家試験に1人が合格した。
	4月	徳島市防災ラジオ応募受付を全地区対象に実施した。（第3次整備）

平成 27 年	7 月	広報車を購入し、西消防署に配置した。
〃	9 月	高度救助用資機材の画像探索機Ⅱ型を東消防署に更新配置した。
平成 28 年	1 月	災害対応特殊救急自動車を購入し、川内分署に配置した。
〃	2 月	消防・救急無線のデジタル化に伴い、活動波を整備した。
〃	〃	高機能消防指令センター開所式を実施し、暫定運用を開始した。
〃	〃	NET 119 の運用を開始した。
〃	3 月	徳島市民から寄付を受け、高規格救急自動車を購入し、勝占分署に配置した。
〃	〃	救急救命士国家試験に 1 人が合格した。
〃	4 月	平成 28 年熊本地震の被災地、熊本県に緊急消防援助隊徳島大隊として、指揮隊 1 隊 5 人、消火部隊 2 隊 10 人、救助部隊 1 隊 5 人、救急部隊 2 隊 6 人、後方支援部隊 2 隊 6 人の計 8 隊 32 人を派遣した。
〃	6 月	高機能消防指令センターの本格運用を開始した。
〃	7 月	徳島市防災ラジオ応募受付を全地区対象に実施した。（第 4 次整備）
〃	8 月	査察車を購入し、東消防署に更新配置した。
〃	12 月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（I-B 型）を購入し、西消防署に更新配置した。
平成 29 年	2 月	平成 28 年熊本地震被災地への緊急消防援助隊派遣に伴い、徳島市消防局が消防庁長官表彰を受賞した。
〃	3 月	災害対応特殊はしご付消防自動車（54m 級）を購入し、東消防署に更新配置した。
〃	〃	救急救命士国家試験に 2 人が合格した。
〃	7 月	徳島市防災ラジオ応募受付を全地区対象に実施した。（第 5 次整備）
〃	12 月	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、津田出張所に更新配置した。（700ℓ水槽積載）
平成 30 年	1 月	資機材搬送 1 号車（クレーン付）を購入し、東消防署に配置した。
〃	2 月	災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車を購入し、東消防署に更新配置した。
〃	3 月	災害対応特殊救急自動車を購入し、津田出張所に配置した。
〃	〃	救急救命士国家試験に 2 人が合格した。
〃	7 月	徳島市防災ラジオ応募受付を全地区対象に実施した。（第 6 次整備）
〃	〃	平成 30 年 7 月豪雨の被災地、広島県安芸郡に緊急消防援助隊徳島県大隊として指揮隊 1 隊、救助小隊 1 隊、後方支援小隊 3 隊の計 5 隊、延べ 69 人を派遣した。
平成 31 年	1 月	災害対応特殊救急自動車を購入し、西消防署に配置した。
〃	2 月	平成 30 年 7 月豪雨被災地への緊急消防援助隊派遣に伴い、徳島市消防局が消防庁長官表彰を受賞した。
〃	3 月	救急救命士国家試験に 2 人が合格した。
〃	4 月	消防職員 12 人を増員し、定員 260 人となった。
令和 元年	5 月	119 番通報時等における多言語通訳体制の運用を開始した。
〃	6 月	2019 年 G20 大阪サミット開催に伴う消防特別警戒のため、支援中隊として、ポンプ車 2 台、人員輸送車 1 台、計 20 人を派遣し、大阪国際空港の警備を実施した。
〃	7 月	徳島市防災ラジオ応募受付を全地区対象に実施した。（第 7 次整備）
〃	〃	査察車を購入し、西消防署に配置した。
〃	11 月	消防防災科学技術賞（消防職員における原因調査事例部門）において「優秀賞」に選出され、消防庁長官表彰を受賞した。

令和	2年	2月	災害対応特殊消防ポンプ車（CD－I型）を2台購入し、川内分署と勝占分署に更新配置した。（1,300ℓ水槽積載）
令和	2年	3月	救急救命士国家試験に2人が合格した。
令和	2年	4月	日勤救急隊（DSAT）の運用を開始し、東消防署に配置した。
令和	3年	3月	救急救命士国家試験に2人が合格した。
	〃	〃	災害対応特殊資機材搬送車を購入し、西消防署に配置した。
	〃	〃	災害対応特殊救急自動車を購入し、国府出張所に配置した。
	〃	4月	通信指令課に徳島市消防指揮隊が発足した。
	〃	7月	ドローンを購入し、通信指令課に配置した。
	〃	9月	総務省消防庁から、情報収集活動用ドローン一式の貸与を受け、通信指令課に配置した。
	〃	10月	災害時オペレーションシステムを導入し、運用を開始した。
	〃	12月	指揮車を購入し、通信指令課に配置した。
令和	4年	2月	災害対応特殊屈折はしご付消防自動車（25m級）を購入し、西消防署に更新配置した。
	〃	3月	高機能消防指令センターの部分更新を実施し、運用を開始した。
	〃	〃	救急救命士国家試験に2人が合格した。
	〃	12月	救助工作車（Ⅲ型）を購入し、東消防署に配置した。
令和	5年	2月	災害対応特殊救急自動車を購入し、東消防署に配置した。
	〃	2月	トルコ共和国地震災害のため、国際消防救助隊員1人をカフラマンマラシュ市へ派遣した。
	〃	3月	救急救命士国家試験に2人が合格した。

2 徳島市の位置

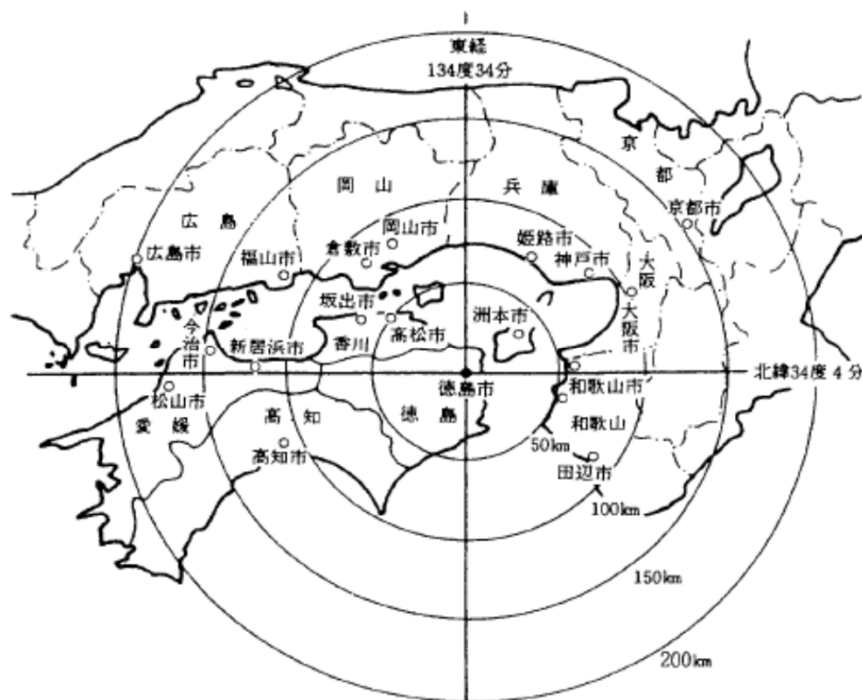
位 置	東 経	1 3 4 ° 3 4 ′
	北 緯	3 4 ° 4 ′

徳島市勢

(令和5年4月1日現在)

人 口	2 4 7 , 9 7 8 人	
世 帯 数	1 2 2 , 0 0 2 世帯	
面 積	1 9 1 . 5 2 km ²	
広 ば う	東 西	1 6 . 4 0 km
	南 北	1 9 . 4 5 km

※ 人口及び世帯数は住民基本台帳の数



3 主たる総務行事

令和 4 年

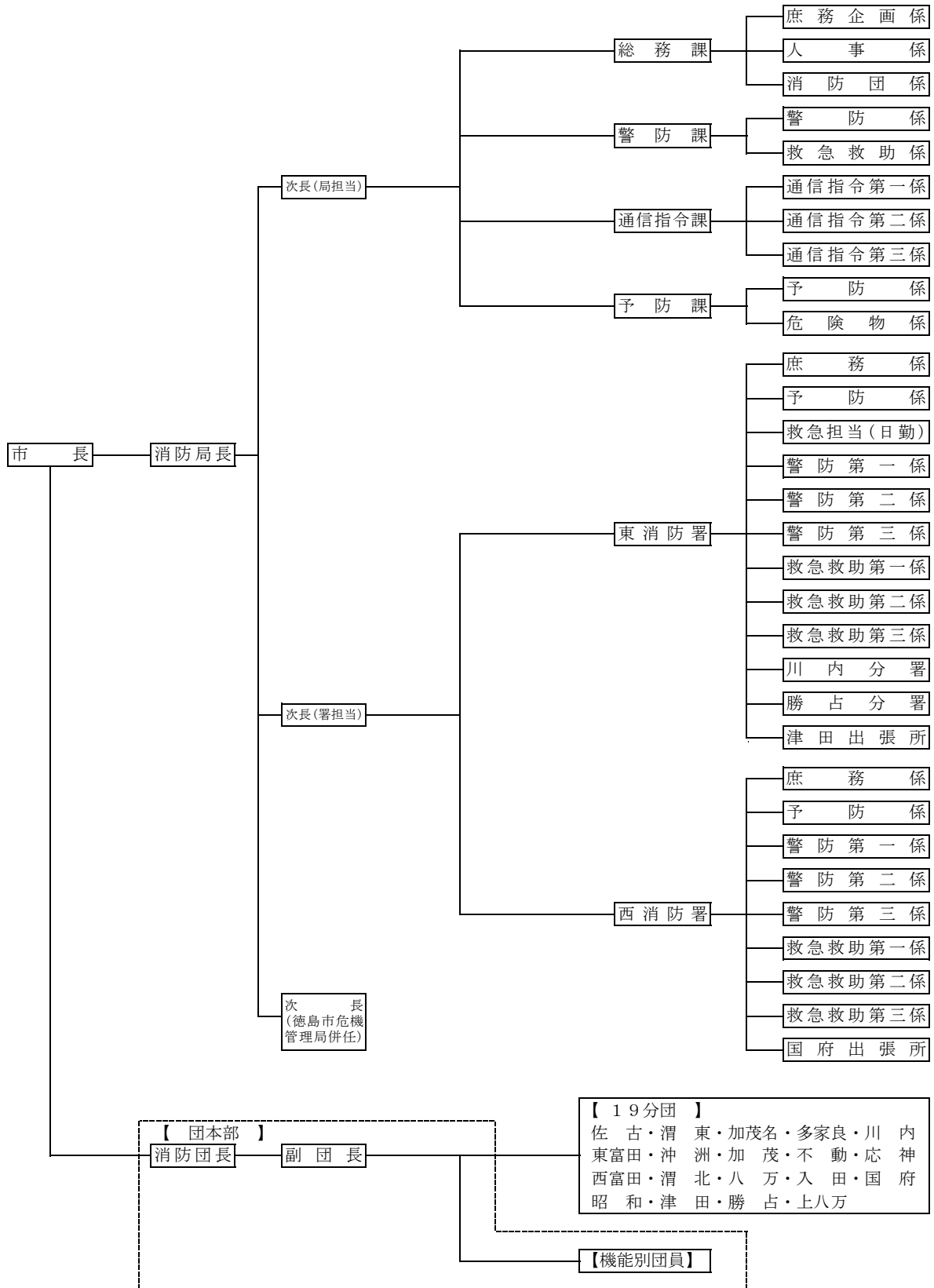
4月15日	徳島県消防長会春季総会を開催
5月17日	全国消防長会警防防災委員会を開催
5月20日	第1回消防局総括安全関係者・衛生関係者会議を開催
5月26日	救急救命士養成に伴う基礎学力試験を実施
6月27日	徳島市消防職員委員会を開催
6月30日	徳島県消防長会署長会議を開催（Web会議）
9月18日	徳島市消防吏員採用試験（第1次）を実施
10月 4日	徳島市消防職員意見発表会を開催
10月15日・16日	徳島市消防吏員採用試験（第2次）を実施
11月13日	徳島市消防吏員採用試験（第3次）を実施
11月15日	全国消防長会四国支部消防長研修会を開催
11月18日	徳島県消防長会秋季総会を開催
11月18日	徳島県消防職員意見発表会を開催
12月23日	第2回消防局総括安全関係者・衛生関係者会議を開催

令和 5 年

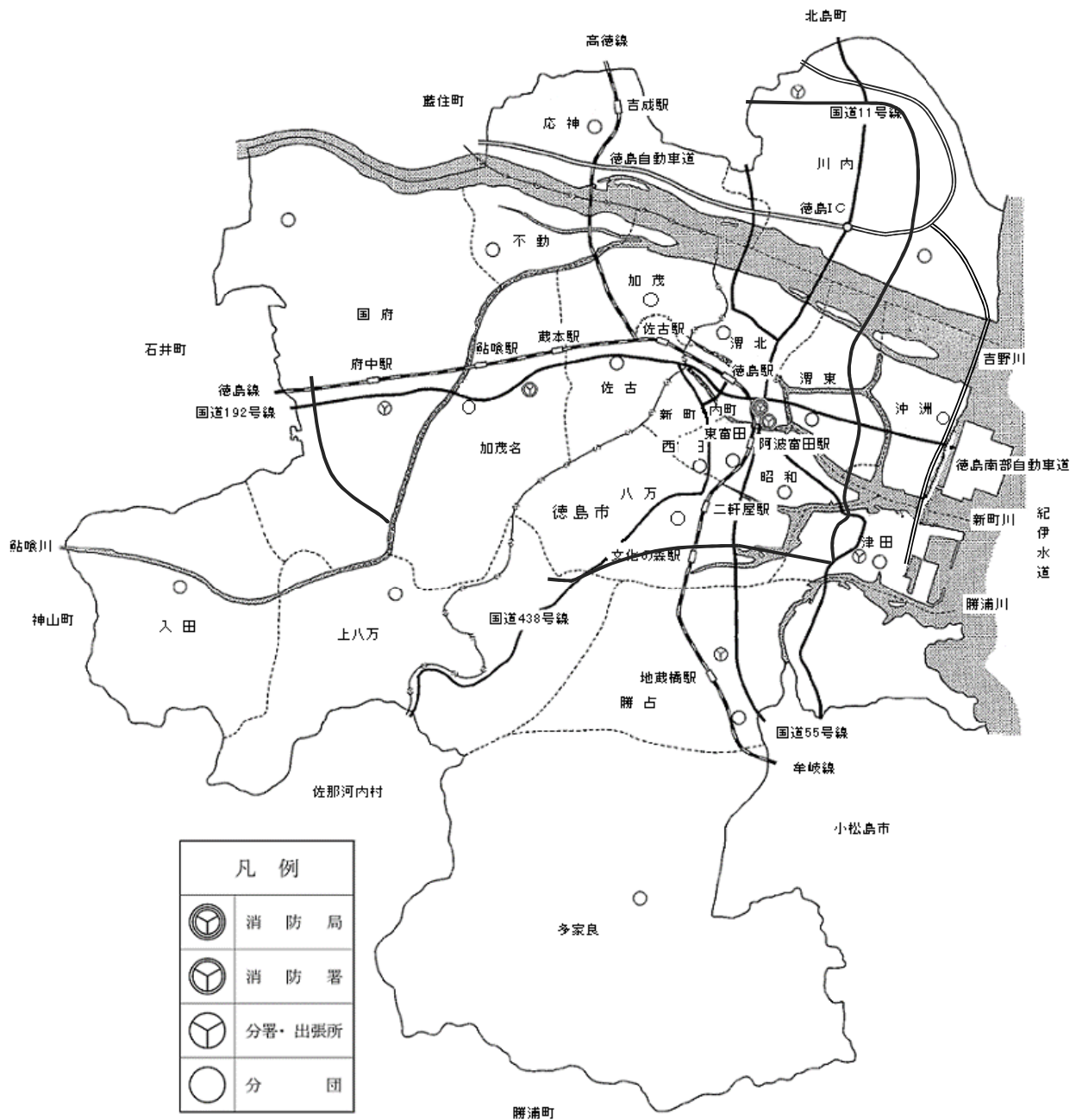
1月 8日	消防出初式を挙行（アスティ徳島）
1月14日	昇任試験第1次（消防司令補・消防士長）を実施
2月 3日	昇任試験第2次（消防司令・消防士長）を実施
2月 4日	昇任試験第2次（消防司令補）を実施
2月13日	徳島県消防長会臨時総会を開催（Web会議）
3月31日	退職者に対する人事異動通知書の交付
4月 3日	人事異動に伴う辞令交付

4 消 防 の 組 織

(令和5年4月1日現在)



5 消防機関の配置図



6 消防庁舎の現況

(令和5年4月1日現在)

区 分		所 在 地	構 造	敷地面積	建築面積	延 面 積	建築年月
局・署・分署・出張所	消防局東消防署	徳島市新蔵町1丁目88番地	鉄筋コンクリート造 4階建	m ² 2,814.56	m ² 1,344.65	m ² 3,531.33	S 58.8 増 H3. 3
	西消防署	徳島市庄町1丁目76番地の3	鉄骨鉄筋コンクリート造4階建	868.75	597.34	2,045.52	訓練棟S60.10 改 H12. 3
	東消防署川内分署	徳島市川内町大松517番地の2	鉄筋コンクリート造 2階建	530.99	297.90	532.01	S 56. 3 増 H7. 3
	東消防署勝占分署	徳島市西須賀町下中須29番地の7	鉄筋コンクリート造 2階建	500.00	201.79	371.85	H 元. 3
	東消防署津田出張所	徳島市津田本町三丁目1番57号	鉄筋コンクリート造 2階建	431.87	216.66	415.43	H 5. 3
	西消防署国府出張所	徳島市国府町府中59番地の4	鉄筋コンクリート造 3階建	231.99	102.00	290.00	H 27. 2
分 団	佐古分団	徳島市佐古六番町8番6号	鉄筋コンクリート造 2階建	101.98	81.21	162.09	S 51.5
	東富田分団	徳島市中央通3丁目1番地の2	鉄筋コンクリート造 2階建	310.70 (福祉センター内)	66.98	127.77	S 57.5
	西富田分団	徳島市勢見町1丁目2番地	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	58.65	45.50	91.00	H 4. 2
	昭和分団	徳島市中昭和町3丁目77番地	鉄筋コンクリート造 2階建	288.83	64.00	120.80	H 25. 1
	渭東分団	徳島市福島一丁目9番5号	鉄筋コンクリート造 2階建	166.61	67.25	111.84	H 12. 3
	沖洲分団	徳島市北沖洲三丁目4番8号	鉄筋コンクリート造 2階建	224.97	59.90	119.80	H 10. 3
	渭北分団	徳島市下助任町4丁目18番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	162.40	72.00	129.12	S 53.12
	津田分団 (防災倉庫)	徳島市津田町四丁目4番6号	鉄筋コンクリート造 2階建	327.00	118.47	169.02	H 20. 3
	加茂名分団	徳島市鮎喰町2丁目44番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	254.75	86.86	134.02	H 29. 9
	加茂分団	徳島市北田宮四丁目1番8号	鉄筋コンクリート造 2階建	377.87	68.15	110.84	H 13. 3
	八万分団	徳島市南二軒屋町二丁目3番11号	鉄筋コンクリート造 2階建	270.29	89.21	128.16	H 27. 3
	八万分団 長谷班	徳島市八万町下長谷196番地の1	鉄筋コンクリート造 1階建	421.37	39.90	39.90	S 61. 3
	勝占分団	徳島市勝占町下河原39番地の10	鉄筋コンクリート造 2階建	27.43	24.70	50.70	H 2. 3
	勝占分団 東部班	徳島市大原町中須61番地の4地先	鉄筋コンクリート造 1階建	107.14	39.23	39.23	H 2. 3 増 R3. 6
	多家良分団	徳島市多家良町小路地100番地の7	鉄筋コンクリート造 2階建	198.33	69.62	119.05	H 11. 3
	多家良分団 飯谷班	徳島市飯谷町杉尾7番地の1	鉄筋コンクリート造 1階建	187.17 (小学校内)	43.80	43.80	H 13. 3
	多家良分団 渋野班	徳島市渋野町宮前138番地	鉄筋コンクリート造 1階建	150.00	44.00	44.00	H 15. 3
	不動分団	徳島市不動本町2丁目181番地の5	鉄筋コンクリート造 2階建	142.96	63.75	125.11	S 57. 3
	入田分団	徳島市入田町春日167番地の5	鉄筋コンクリート造 2階建	503.93	91.04	150.03	H 14. 3
	上八万分団	徳島市下町本丁41番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	323.82	92.82	139.00	H 22. 3
	川内分団	徳島市川内町松岡17番地の8	鉄骨造2階建	311.27	77.00	139.15	H 18.11
	応神分団	徳島市応神町吉成字西吉成91番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	233.03	77.80	129.97	H 23. 3
	国府分団	徳島市国府町西黒田字南傍示204番地の1	鉄筋コンクリート造 2階建	167.77	85.55	129.80	H 24. 3
	国府分団 延命班	徳島市国府町西矢野字源田792番地	鉄筋コンクリート造 1階建	50.77	34.42	34.42	S 62.12

7 消防局及び署の事務分掌

<消 防 局>

総 務 課

庶務企画係

- (1) 所管財産に関すること。
- (2) 経理に関すること。
- (3) 消防局の重要施策に関すること。
- (4) 消防事務の企画及び総合調整に関すること。
- (5) 事務事業の進行管理に関すること。
- (6) 消防事務の能率化に関すること。
- (7) 消防行政についての調査及び研究に関すること。
- (8) 組織及び制度に関すること。
- (9) 消防広報に関すること。
- (10) 消防長会に関すること。
- (11) 消防局に設置する情報公開窓口に関すること。
- (12) その他の消防局の庶務に関すること。

人 事 係

- (1) 文書管理に関すること。
- (2) 例規に関すること。
- (3) 公印の管理に関すること。
- (4) 職員の給与に関すること。
- (5) 職員の任免、分限、懲戒及び服務その他の勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修に関すること。
- (7) 職員の人事評価に関すること。
- (8) 職員の任用、競争試験及び選考に関すること。
- (9) 職員の公務災害に関すること。
- (10) 職員の表彰に関すること。
- (11) 職員の福利厚生に関すること。
- (12) 徳島市消防職員委員会に関すること。
- (13) 衛生関係者会議に関すること。
- (14) 衛生委員会に関すること。

消防団係

- (1) 消防団員公務災害に関すること。
- (2) 消防団員の表彰に関すること。
- (3) 消防団員の福利厚生に関すること。
- (4) 消防団員の定数、任用、給与、分限及び懲戒、服務その他身分の取扱い事務に関すること。
- (5) 消防団員の教養及び訓練計画に関すること。
- (6) 消防団員の退職報償金の支給に関すること。
- (7) 消防団協力事業所表示制度に関すること。
- (8) その他消防団員に関すること。

警 防 課

警 防 係

- (1) 火災等の警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 消防計画に関すること。
- (3) 消防技術の訓練指導に関すること。
- (4) 警防本部に関すること。
- (5) 消防相互応援協定に関すること。
- (6) 消防地理水利に関すること。
- (7) 緊急消防援助隊に関すること。
- (8) 総括安全関係者会議に関すること。
- (9) 安全関係者会議に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。
- (11) 国民保護（危機管理課の所管に属するものを除く。）に関すること。
- (12) その他警防に関すること。

救急救助係

- (1) 救急救助技術の訓練指導に関すること。
- (2) 救急救助業務に関すること。
- (3) 救急業務の企画統計に関すること。
- (4) 救助業務の企画統計に関すること。
- (5) 国際消防救助隊に関すること。
- (6) 消防機械装備の整備運用に関すること。
- (7) 消防車両の安全運転管理に関すること。
- (8) 消防燃料の取り扱いに関すること。
- (9) 次世代の救急救命育成プロジェクトに関すること。
- (10) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (11) 課の庶務に関すること。
- (12) その他救急救助に関すること。

通 信 指 令 課

- (1) 消防通信の統制に関すること。
- (2) 消防通信の企画に関すること。
- (3) 出動計画に関すること。
- (4) 通信施設の整備保全に関すること。
- (5) 通信指令及び出動車両の運用管理に関すること。
- (6) 災害情報及び支援情報の収集・伝達に関すること。
- (7) 気象情報に関すること。
- (8) 各種通信の統計に関すること。
- (9) 火災警報に関すること。
- (10) 交換業務に関すること。
- (11) 防災無線に関すること。
- (12) 災害情報衛星通信システムに関すること。
- (13) 防災ラジオに関すること。
- (14) N E T 1 1 9 緊急通報に関すること。
- (15) 消防救急無線眉山基地局の共同運用に関すること。
- (16) 災害現場における指揮に関すること。

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及に関すること。
- (2) 立入検査及び措置命令等に関すること。
- (3) 消防用設備等の施設維持の指導に関すること。
- (4) 建築許可等についての同意に関すること。
- (5) 防火管理、防災管理、統括防火管理、統括防災管理及び自衛消防組織に関すること。
- (6) 自主防火・防災組織及び自衛消防組織の指導育成及び防災指導に関すること。
- (7) 防火管理講習、自衛消防業務講習及び防災管理講習に関すること。
- (8) 防火対象物定期点検報告制度及び防災管理定期点検報告制度に関すること。
- (9) 防火対象物に係る表示制度に関すること。
- (10) 違反対象物に係る公表制度に関すること。
- (11) 防火対象物の違反是正指導に関すること。
- (12) 消防設備士等の指導に関すること。
- (13) その他火災予防に関すること。

危険物係

- (1) 危険物製造所等の届出、許可及び検査に関すること。
- (2) 危険物製造所等の指導取り締まりに関すること。
- (3) 予防規程の認可に関すること。
- (4) 危険物関係の統計に関すること。
- (5) 危険物施設等の違反是正指導に関すること。
- (6) 危険物取扱者等の指導に関すること。
- (7) その他危険物の保安に関すること。
- (8) 課の庶務に関すること。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 火災統計に関すること。
- (11) 各種災害の調査研究に関すること。
- (12) ガス用品の販売事業者からの報告徴収・立入検査・提出命令に関すること。
- (13) 液化石油ガス器具等の販売事業者からの報告徴収・立入検査・提出命令に関すること。

＜消 防 署＞

庶 務 係

- (1) 職員の人事及び配属に関すること。
- (2) 文書に関すること。
- (3) 公印の保管に関すること。
- (4) 所管財産に関すること。
- (5) 職員の服務教養に関すること。
- (6) 署長表彰に関すること。
- (7) 職員の福利及び厚生に関すること。
- (8) 衛生委員会に関すること。
- (9) 安全関係者会議に関すること。
- (10) その他庶務に関すること及び他の係の所管に属さないこと。

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及に関すること。
- (2) 立入検査及び措置命令等に関すること。
- (3) 消防用設備等の届出及び検査に関すること。
- (4) 消防用設備等検査済証等の交付に関すること。
- (5) 法令等の規定による意見書の交付に関すること。
- (6) 防火（防災）管理者及び統括防火（防災）管理者並びに自衛消防組織の届出に関すること。
- (7) 防火（防災）管理に係る消防計画及び全体についての防火（防災）管理に係る消防計画の届出に関すること。
- (8) 防火対象物の使用開始の届出及び調査に関すること。
- (9) 建築物の仮使用に伴う意見に関すること。
- (10) 防火対象物に係る表示制度に関すること。
- (11) 防火対象物定期点検報告制度及び防災管理定期点検報告制度の運用に関すること。
- (12) 防災指導に関すること。
- (13) 自主防災組織の指導育成に関すること。
- (14) 事業所の自衛消防組織及び防火クラブ等の指導育成に関すること。
- (15) 指定催しの指定及び火災予防上必要な業務に関する計画の提出に関すること。
- (16) 違反対象物に係る公表制度に関すること。
- (17) その他火災予防に関すること。

警防第一係・警防第二係・警防第三係

- (1) 火災の警戒・防ぎよに関すること。
- (2) 水防活動に関すること。
- (3) 消防計画・訓練に関すること。
- (4) 地理水利に関すること。
- (5) 消防機械器具の整備保全に関すること。
- (6) 消防機械の運用技術に関すること。
- (7) 機関員の教育及び安全運転に関すること。
- (8) 消防燃料の取扱いに関すること。
- (9) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 被災証明書及び事実証明書の交付に関すること。

- (11) 火災統計及び各種災害の調査研究に関すること。
- (12) 徳島市火災予防条例（昭和３７年徳島市条例第１５号）第４５条に規定する届出及び調査に関すること。
- (13) 消防団に関すること。
- (14) 自衛消防隊の指導育成に関すること。
- (15) その他警防に関すること。

救急救助第一係・救急救助第二係・救急救助第三係

- (1) 救急救助活動に関すること。
- (2) 救急救助技術の訓練指導に関すること。
- (3) 救急救助器具の整備保全に関すること。
- (4) 特殊消防対象物及び各種災害の調査研究に関すること。
- (5) 救急救助統計に関すること。
- (6) 高圧ガス設備等の整備保全に関すること。
- (7) 救急搬送証明の交付に関すること。
- (8) 圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの届出及び調査に関すること。
- (9) 徳島市火災予防条例（昭和３７年徳島市条例第１５号）に基づく届出（第４５条による届出を除く。）及び調査に関すること。
- (10) 液化石油ガスに対する意見書の交付に関すること。
- (11) その他救急救助に関すること。

8 現 有 消 防 力

(1) 常 備

(令和5年4月1日現在)

区 分		施 設 及 び 人 員
署 所 の 数		6
車 両 等	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (水槽付ポンプ自動車含む)	1 1
	は し ご 車	2
	化 学 車	1
	救 助 工 作 車	2
	支 援 車	1
	救 急 車	1 1
	指 揮 車	5
	小 型 動 力 ポ ン プ	4
	計	3 7
人 員	消 防 隊 員	9 3
	予 防 要 員	1 8 (4)
	救 急 隊 員	4 8
	救 助 隊 員	3 0
	指 揮 隊 員	9
	通 信 員	1 5
	そ の 他 の 要 員	3 9 (6)
	計	2 5 2 (10)

()…再任用職員

(2) 非 常 備

(令和5年4月1日現在)

区 分 名 称	車 両 等			人 員
	消防ポンプ 自 動 車	小 型 動 力 ポンプ積載車	小型動力 ポ ン プ	
団 本 部				6
佐 古 分 団	1			25
東 富 田 分 団	1			17
西 富 田 分 団	1			28
昭 和 分 団	1			23
渭 東 分 団	1			23
沖 洲 分 団	1			28
渭 北 分 団	1			24
津 田 分 団	1			24
加 茂 名 分 団	1			40
加 茂 分 団	1			28
八 万 分 団	1	1		40
勝 占 分 団	1	1		37
多 家 良 分 団	1	2		45
不 動 分 団	1			24
入 田 分 団	1			31
上 八 万 分 団	1			45
川 内 分 団	1			48
応 神 分 団	1			35
国 府 分 団	1	1		41
計	19	5	0	612

9 市予算と消防予算 (令和5年4月1日現在)

(単位：千円)

年度別 摘要	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市一般会計	99,670,000	99,450,000	104,420,000	106,310,000	107,710,000
消 防 費	2,830,996	2,778,310	3,185,737	2,887,474	3,125,949
比 率	2.8%	2.8%	3.1%	2.7%	2.9%

性質別消防予算

(単位：千円)

種別 摘要	人 件 費	物 件 費	維持補修費	補助費等	普通建設 事業費	計
常備消防費	2,252,041	228,213	0	29,602	0	2,509,856
非常備消防費	64,038	13,342	0	27,080	0	104,460
施設整備費	0	13,156	5,579	24,863	227,255	270,853
防 災 費	118	94,181	695	131,719	14,067	240,780
計	2,316,197	348,892	6,274	213,264	241,322	3,125,949

10 人口・世帯数に対する消防費・火災損害額

(単位：円)

摘 要	種 別	消 防 費 (予 算 額)			火 災 損 害 額		
	年 別	3年度	4年度	5年度	2年	3年	4年
市 民 1 人 当 た り		12,672	11,551	12,606	444	354	359
1 世 帯 当 た り		26,283	23,748	25,622	926	732	733

1 1 過去5年間の決算額と構成の推移

(単位:千円)

年度別 摘 要		3 0	元	2	3	4
一般会計	決 算 額	95,456,772	97,847,525	128,434,048	111,500,898	109,526,772
	(指 数)	(100)	(103)	(135)	(117)	(115)
消防費	決 算 額	2,736,527	2,645,692	2,909,522	3,175,845	2,890,505
	(指 数)	(100)	(97)	(106)	(116)	(106)
消防費の負担状況	人 口	253,250 人	252,304 人	251,403 人	249,962 人	247,978 人
	1 人 当 た り	10,806 円	10,486 円	11,573 円	12,705 円	11,656 円
	世 帯 数	119,485 世帯	120,160 世帯	121,208 世帯	121,587 世帯	122,002 世帯
	1 世 帯 当 た り	22,903 円	22,018 円	24,004 円	26,120 円	23,692 円
消防費の内訳	常 備 消 防 費	2,292,826	2,312,665	2,342,944	2,717,041	2,407,832
	非 常 備 消 防 費	103,684	108,518	101,071	117,987	100,064
	施 設 整 備 費	127,223	134,216	193,664	265,338	275,858
	防 災 費	212,793	90,294	271,843	75,479	106,753

※消防費決算額及び消防費の内訳については、端数を四捨五入しているため一致しない場合がある。

1 2 消防職員 1 人当たりに対する人口・世帯数

(令和5年4月1日現在)

区 分 \ 年 度 別	3	4	5
消防職員 1 人当たりの人口	1,002 人	996 人	984 人
消防職員 1 人当たりの世帯数	483 世帯	484 世帯	484 世帯

1 3 消防職員配置状況

(1) 消防職員の定数と実員累年比較

(令和5年4月1日現在)

階級別 年度別	定 数	実員 (計)	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	
												消 防 士 長
24	248	247 ⑥	6	1	2	7	19	75	72	8 ⑥	62	1
25	248	247 ④	6	1	2	7	20	76	72	8 ④	60	1
26	248	247 ⑨	6	1	2	6	21	76	73 ⑨	7	60	1
27	248	248 ⑩	5	1	3	5	22	75	77 ⑨	5 ①	60	
28	248	247 ⑩	4	1	3	6	24	78	73 ⑧	4 ②	58	
29	248	247 ⑨	4	1	3	6	24	79	73 ⑧	3 ①	58	
30	248	247 ⑨	4	1	3	6	24	77	77 ⑧	3 ①	56	
元	260	247 ⑫	4	1	4	5	24	79	78 ⑫	3	53	
2	260	250 ⑫	4	1	4	5	29	68	78 ⑫	3	51	
3	260	251 ⑪	4	1	5	7	34	78	78 ⑪	3	45	
4	260	251 ⑪	4	1	3	12	32	74	78 ⑪	3	48	
5	260	252 ⑩	4	1	4	11	33	76 ④	77 ⑥	4	46	

※ ○数字は、再任用

(2) 局・署における配置状況

(令和5年4月1日現在)

階級別 区 分			合 計	消 防 正 監 うち 吏女性	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員		
合 計			252 ⑩	4	1	4	11	33	76 ④	77 ⑥	4	46	0	
消 防 局	小 計		65 ⑦	1	1	3	7	21	21 ④	9 ③	0	3	0	
	消 防 局 長		1		1									
	次 長 ・ 参 事 ・ 主 幹		3			3								
	総 務	課 長 ・ 課 長 補 佐	2				1	1						
		担 当 課 長 補 佐	3					3						
		庶 務 企 画 係	2						1	1				
		人 事 係	2					(1)	1	1				
		消 防 団 係	1 ①					(1)	1	①				
	課 警	総 務 課	1						1					
		総 務 課 付	5					1	1			3		
		課 長 ・ 課 長 補 佐	2				1	1						
		担 当 課 長 補 佐	3					3						
		警 防 係	1						1					
		救 急 救 助 係	1 ①					(1)	1	①				
		警 防 課	1 ③					(1)	1 ②	①				
		警 防 課 付	2					1	1					
		通 信 指 令 課 長 ・ 主 幹 ・ 課 長 補 佐	5				4 (2)	1						
		担 当 課 長 補 佐 (交 替 制)	6					6						
	通 信 指 令 課	通 信 指 令 第 一 係	5						3	2				
		通 信 指 令 第 二 係	5						3	2				
		通 信 指 令 第 三 係	5						3	2				
		通 信 指 令 課	1 ①					1	①					
		予 防 課 長 ・ 課 長 補 佐	2	1			1	1						
		担 当 課 長 補 佐	2					2						
		予 防 係	2 ①					(1)	2 ①					
		危 険 物 係	2					(1)	1	1				
東 消 防 署		小 計		122 ②	2	0	0	2	7	36	48 ②	3	26	0
		署 長 ・ 副 署 長 ・ 署 長 補 佐		3	1		(1)	2	1					
	本 署	担 当 署 長 補 佐 (毎 日)	0											
		担 当 署 長 補 佐 (交 替 制)	3					3						
		庶 務 係	0					(1)						
		予 防 係	6 ②						3	2 ②	1			
		救 急 担 当 (毎 日)	3	1					1	2				
		警 防 第 一 係	8						2	4		2		
		警 防 第 二 係	8						2	4		2		
		警 防 第 三 係	8						2	4		2		
		救 急 救 助 第 一 係	11						3	5		3		
		救 急 救 助 第 二 係	11						3	4		4		
	救 急 救 助 第 三 係	11						3	5		3			
	川 内 分 署	19					1	6	7	1	4			
	勝 占 分 署	19					1	6	5	1	6			
津 田 出 張 所	12					1	5	6						
西 消 防 署	小 計		65 ①	1	0	1	2	5	19	20 ①	1	17	0	
	署 長 ・ 副 署 長 ・ 署 長 補 佐		4			1	2	1						
	本 署	担 当 署 長 補 佐 (毎 日)	0											
		担 当 署 長 補 佐 (交 替 制)	3					3						
		庶 務 係	0					(1)						
		予 防 係	4 ①	1					2	1 ①		1		
		警 防 第 一 係	6						2	2		2		
		警 防 第 二 係	6						2	2	1	1		
		警 防 第 三 係	6						2	2		2		
		救 急 救 助 第 一 係	8						2	3		3		
		救 急 救 助 第 二 係	8						2	4		2		
		救 急 救 助 第 三 係	8						2	2		4		
	国 府 出 張 所	12					1	5	4		2			

※ ○数字は再任用

※ ()数字は兼務

1 4 消防職員年齢別状況

(令和5年4月1日現在)

階級別 年齢別	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
18	0									
19	2								2	
20	1								1	
21	4								4	
22	5								5	
23	6								6	
24	6								6	
25	8						1		7	
26	5						1		4	
27	5								5	
28	2						1		1	
29	5						3		2	
30	5						3		2	
31	9						8		1	
32	2						2			
33	8					3	5			
34	15					2	13			
35	6					3	3			
36	7						7			
37	11					1	10			
38	13					10	2	1		
39	10					6	4			
40	6				1	3	1	1		
41	7					4	3			
42	10				4	6				
43	9				3	4	2			
44	7				3	4				
45	7				2	5				
46	5				1	4				
47	6				4	2				
48	6			1	2	2	1			
49	6				3	2		1		
50	9			1	1	5	2			
51	11		2	3	3	2	1			
52	8			2	1	4	1			
53	5		1	1	1	2				
54	5			1	1	1	2			
55	4			1	1	1		1		
56	3		1	1			1			
57	1				1					
58	2	1			1					
59	0									
60～	⑩					④	⑥			
合 計	252 ⑩	1	4	11	33	76 ④	77 ⑥	4	46	0
平 均 年 齢	38.9	58.0	52.8	52.1	47.5	43.1	36.3	45.5	24.5	

※ ○数字は再任用職員数であり、平均年齢の算定には含めず

1 5 消防職員勤続年数状況

(令和5年4月1日現在)

階級別 勤続年別	小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
1 年 未 満	3						①		3	
1 年	7					①	②		7	
2 年	3								3	
3 年	8					①			8	
4 年	9					②	1 ③		8	
5 年	8						1		7	
6 年	6						2		4	
7 年	6						4		2	
8 年	10						7		3	
9 年	5					1	3		1	
10 年	5						5			
11 年	10					1	9			
12 年	7					2	5			
13 年	15					5	10			
14 年	12					2	9	1		
15 年	7					3	3	1		
16 年	12					9	3			
17 年	3					2	1			
18 年	10					8	2			
19 年	5				1	2	2			
20 年	10				3	7				
21 年	6				1	3	2			
22 年	9				3	5	1			
23 年	2					2				
24 年	6				2	4				
25 年	7				5	2				
26 年	4				1	1	2			
27 年	6				2	3	1			
28 年	9			1	1	4	2	1		
29 年	25		2	5	9	7	1	1		
30 年	4			2	1		1			
31 年	2			1		1				
32 年	2					2				
33 年	3			1	2					
34 年	1			1						
35 年	3		2		1					
36 年	0									
37 年	0									
38 年	0									
39 年	2	1			1					
40 年	0									
41 年	0									
合 計	252	1	4	11	33	76 ④	77 ⑥	4	46	0
平均勤続年数	16.8	39.0	32.0	30.1	26.6	20.6	13.5	21.5	3.8	

※ ○数字は再任用職員数であり、平均勤続年数の算定には含めず

16 消防職員特殊技能資格取得状況

(令和5年4月1日現在)

階級別 資格別		小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
大型自動車	特 殊	2				1		1			
	第 2 種	1						1			
	第 1 種	123		3	10	20	42	44	2	2	
中型自動車	11.5t限定 第 1 種	3						2		1	
	8t限定 第 1 種	169	1	4	11	33	71	45	4		
準中型自動車	7.5t限定	1								1	
	5t限定 第 1 種	66					5	32		29	
普通自動車	3.5t限定 第 1 種	17								17	
自動車二輪		96	1	4	7	18	35	20	2	9	
第 1 級陸上特殊無線技士		3			2		1				
第 2 級陸上特殊無線技士		157			1	10	51	68	2	25	
第 3 級陸上特殊無線技士		62	1	2	8	22	21	6	2		
アマチュア無線技士		9	1	1	3	1	3				
小型船舶操縦士	1 級	1								1	
	2 級	72		4	7	12	26	21		2	
	特 殊	71		4	7	12	26	21		1	
赤十字水上安全法救助員		11				1	8	1		1	
救 急 救 命 士		48				7	21	16		4	
気 管 挿 管		35				7	21	7			
薬 剤 投 与		45				7	21	16		1	
ビ デ オ 喉 頭 鏡		27				6	19	2			
処 置 拡 大		45				7	21	16		1	
救 急 科	I 課 程	42	1	4	10	14	10	2	1		
	II 課 程	19		1	4	7	5	2			
	標 準 課 程	187			1	18	61	70	4	33	
応 急 手 当 指 導 員		67	1	4	10	16	26	8	2		
看 護 師		2				1	1				
潜 水 士		127	1	3	7	24	40	33	2	17	
衛 生 管 理 者		28	1	4	10	12	1				
小型移動式クレーン運転技能講習		67		3	6	17	25	15		1	
玉 掛 け 技 能 講 習		65	1	2	6	17	22	15		2	
甲種消防設備士	1 類	0									
	2 類	1							1		
	3 類	0									
	4 類	1						1			
	5 類	1							1		
乙種消防設備士	6 類	12				5	3	2	2		
	7 類	1							1		
電 気 工 事 士		7			1		1	5			
危険物乙種第4類取扱者		47		1	3	12	16	7	2	6	
高圧ガス製造保安責任者		1			1						
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		8	1	1	2	2	1	1			
足場の組立て等作業主任者		5	1	1	2	1					
ガス溶接溶断技能者		28	1	1	3	1	15	6		1	
特定化学物質等作業主任者		11				4	6	1			
予防技術資格者	消防用設備	27		1	3	4	15	3	1		
	防火査察	27		1	3	4	15	3	1		
	危 険 物	12			3	3	5	1			

※ 再任用職員を除く

1 7 消防職員研修実施状況

(1) 学校等における研修実施状況

種 別 \ 年 度 別			30	元	2	3	4
合 計			35	30	30	25	28
消 防 大 学 校	総合教育	幹 部 研 修 科	1	1	1	0	1
	専科教育	予 防 科	1	0	0	0	0
		火 災 調 査 科	0	0	0	0	1
		危 険 物 科	0	0	0	0	0
		救 助 科	0	0	1	1	0
		警 防 科	0	0	0	1	0
	実務講習	指 揮 隊 長 コ ー ス	0	0	0	1	0
		高度救助・特別高度救助コース	1	0	0	1	0
		N B C 災 害 コ ー ス	0	1	0	0	0
県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科	8	9	7	3	7
	専科教育	警 防 科	2	2	2	2	1
		予 防 査 察 科	2	0	2	0	2
		火 災 調 査 科	0	2	0	2	0
		救 急 科	8	8	6	6	6
		救 助 科	4	0	2	0	2
		特 殊 災 害 科	2	0	2	2	0
		幹部教育	初 級 幹 部 科	0	2	0	2
	上 級 幹 部 科		2	0	2	0	2
	特別教育	応急手当指導員講習会（Ⅰ）	2	0	0	0	0
		水 難 救 助 課 程	0	2	0	2	0
		通 信 指 令 課 程	0	0	3	0	3
救急救命研修所等		救急救命士養成研修	2	2	2	2	2
		指導救命士養成研修	0	1	0	0	1

(2) 消防局における研修実施状況

種 別 \ 年 度 別			30	元	2	3	4
合 計			1, 203	1, 244	870	1, 221	1, 387
人 権 問 題 研 修			234	240	254	257	240
交 通 安 全 研 修			258	231	247	247	241
健 康 管 理 研 修			0	225	0	233	229
火 災 調 査 特 異 事 例 等 研 修			220	241	129	180	194
不 祥 事 防 止 研 修			247	244	240	304	254
ハ ラ ス メ ン ト 防 止 研 修			244	63	0	0	229

(3) 出向研修実施状況

種 別 \ 年 度 別		30	元	2	3	4
合 計		33	28	17	43	31
一 般 研 修	講 演 会	0	0	0	0	0
	シ ン ポ ジ ウ ム	7	1	0	7	1
	セ ミ ナ ー	1	0	0	1	0
	国 際 消 防 救 助 隊 セ ミ ナ ー	1	1	0	0	1
	全 国 消 防 協 会 消 防 実 務 講 習 会	1	2	0	11	2
	徳 島 県 消 防 長 会 違 反 是 正 研 修 会	2	2	5	4	3
資 格 取 得 研 修	大 型 自 動 車 (第 1 種)	3	3	1	4	5
	小 型 船 舶 操 縦 士 (2 級 ・ 特 殊)	3	3	6	3	3
	赤 十 字 水 上 安 全 法 救 助 員 I 養 成 講 習 会	2	2	0	0	0
	潜 水 士	4	4	0	6	6
	衛 生 管 理 者	2	2	0	0	3
	小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習	1	2	1	2	2
	玉 掛 け 技 能 講 習	2	2	2	2	2
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習	2	2	2	2	2
	気 管 挿 管 病 院 実 習	2	2	0	1	1

1 8 消防職員公務災害取扱状況

種 別 \ 年 度 別		30	元	2	3	4
合 計		0	1	1	2	0
火 災 現 場		0	0	0	1	0
救 急 現 場		0	0	0	0	0
訓 練 中		0	0	0	1	0
そ の 他		0	1	1	0	0

19 特殊勤務手当状況

(令和5年4月1日現在)

手 当 種 別		支給基準	金 額	支 給 要 件
救 急 業 務	救 命 士	1 勤務	1,000	(a) 救命士の資格を有する消防職員
	機 関 員	1 勤務	750	(b) 機関員を命じられた消防職員
	隊 員	1 勤務	500	(c) その他の消防職員
	日 勤	救 命 士	500	(d) } (e) } (a)から(c)までに掲げる額に100分の50を乗じて得た額 (f) }
		機 関 員	375	
		隊 員	250	
	5 回 加 算	救 命 士	1 回	出動回数が5回を超えた出動1回につき(a)から(f)の100分の20に相当する額を加算する。
		機 関 員	1 回	
		隊 員	1 回	
		日 勤	救 命 士	
			機 関 員	
			隊 員	
救 助 業 務	機 関 員	1 勤務	800	(g) 機関員を命じられた消防職員
	隊 員	1 勤務	500	(h) その他の消防職員
	日 勤	機 関 員	400	(g)及び(h)に掲げる額に100分の50を乗じて得た額
		隊 員	250	
	潜 水 作 業 加 算	1 時間	310	潜水器具を着用して潜水作業業務に従事
消 防 業 務	大 型 機 関 員	1 勤務	550	(i) 大型機関員を命じられた消防職員
	機 関 員	1 勤務	500	(j) 機関員を命じられた消防職員
	隊 員	1 勤務	250	(k) その他の消防職員
	日 勤	大 型 機 関 員	275	(i)及び(j)までに掲げる額に100分の50を乗じて得た額
		機 関 員	250	
活 動 緊 急 援 助 活 動 助 手	活 動	1 日	4,000	(l) 国際緊急援助活動等の業務に従事
	調 査 ・ 助 言	1 日	3,000	(m) 活動として行う調査・助言
	活 動 加 算	1 日	2,000	心身に著しい負担を与えると市長が認める時、(l)及び(m)に掲げる額に100分の50を乗じて得た額
	調 査 ・ 助 言 加 算	1 日	1,500	
夜 間 等 業 務 手 当		1 勤務	1,100	深夜における通信・監督業務等に従事
防 疫 等 業 務 手 当		1 日	290	規則で定める感染症に感染した者若しくはその疑いがある者に接し て行う業務又はこれらの者が使用した物件の処理業務等に従事

※ 国際消防救助隊員とは、あらかじめ消防庁に登録されている消防職員で、国際緊急援助隊の派遣に関する法律の規定に基づく国際緊急援助隊の活動が行われる海外の地域において、国際緊急援助活動等の業務に従事したものをいう。

警

防

1 主たる警防行事

令和4年

4月28日	徳島県消防広域応援計画に基づく情報伝達訓練
5月31日	河川重要水防箇所合同巡視点検（徳島県東部県土整備局主催）
10月15日～16日	令和4年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（滋賀県）
10月29日～30日	令和4年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練（徳島県）
11月12日～13日	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練（静岡県）

令和5年

1月25日～27日	国際消防救助隊連携訓練（熊本市）
1月26日～27日	全国救急隊員シンポジウム（広島県）
2月20日～22日	国際消防救助隊セミナー（大津市）

2 消防ポンプ等配置台数

(令和5年4月1日現在)

種別 所属	計	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	化学消防自動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	予備車	大型水槽車	支援車	小型動力ポンプ	小型動力ポンプ付積載車	救急車	指揮車	人員輸送車	救助工作車	広報車	資機材搬送車	査察車	防火広報車	原動機付自転車	オフロードバイク
局	消防局	9											3	1		4	1				
	東消防署	25	1		2	1	1	1	1	1		5	1		1		3	1	1	5	
	川内	5		1		1						1								2	
	分署	5				1				1		1								2	
	勝占	4				1						1								2	
	出張所	4				1						1								2	
	津田	19		1	1	1	1	1		1		2	1		1		2	1	1	4	1
	西消防署	4				1				1		1								1	
	出張所	71	1	1	3	6	2	2	1	4	0	11	5	1	2	4	6	2	2	16	1
	計																				
消防団	佐古分団	1				1															
	東富田 "	1				1															
	西富田 "	1				1															
	昭和 "	1				1															
	渭東 "	1				1															
	沖洲 "	1				1															
	渭北 "	1				1															
	津田 "	1				1															
	加茂名 "	1				1															
	加茂 "	1				1															
	八万 "	2				1					1										
	勝占 "	2				1					1										
	多家長 "	3				1					2										
	不勤 "	1				1															
	入田 "	1				1															
	上八万 "	1				1															
	川内 "	1				1															
	応神 "	1				1															
	国府 "	2				1					1										
	計	24	0	0	0	19	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		95	1	1	3	25	2	2	1	4	5	11	5	1	2	4	6	2	2	16	1

3 消 防 ポ ン プ 等 種 別 表

(令和5年4月1日現在)

1. 車両関係

	No.	呼 車 名	種 別	登 録 番 号	車 種	名	登録年月日	年 数	全 長	全 幅	全 高	総重量	定 員	排気量	ポンプ級別	ポンプメーカー
消	1	指 令	車 指	車 300 に 2707	ト ヨ	タ	H24.7.20	10	4.82 m	1.82 m	1.47 m	1.815kg	5人	2.49 ㍓		
	2	指 揮	車 指	車 831 ひ 119	ト ヨ	タ	R3.12.2	1	5.60 m	1.89 m	2.47 m	3.135kg	5人	2.96 ㍓		
	3	広 報	車 指	車 800 さ 7358	ト ヨ	タ	H24.6.4	10	5.38 m	1.88 m	2.47 m	2.950kg	8人	2.69 ㍓		
防	4	広 報	車 報	車 800 さ 1080	三	菱	R5.2.3	0	4.54 m	1.80 m	1.82 m	1.815kg	5人	1.49 ㍓		
	5	広 報	車 報	車 2461	ト ヨ	タ	H13.9.27	21	4.75 m	1.79 m	1.95 m	2.170kg	8人	2.36 ㍓		
	6	広 報	車 報	車 41 え 1151	ス バ	ル	H15.10.31	19	3.39 m	1.47 m	1.90 m	1.340kg	4人	0.65 ㍓		
局	7	広 報	車 報	車 480 あ 6447	ス バ	キ	H17.9.21	17	3.39 m	1.47 m	1.87 m	1.310kg	4人	0.65 ㍓		
	8	資 機 材 搬 送	車 資 機 材 搬 送	車 88 さ 9174	マ ツ	タ	H8.8.29	26	4.47 m	1.73 m	2.49 m	2.605kg	3人	2.18 ㍓		
	9	人 員 輸 送	車 マ イ ク ロ バ ス	車 22 す 605	ニ ッ サ ン		H5.7.14	29	6.84 m	1.99 m	2.73 m	4.995kg	27人	4.16 ㍓		
	10	第 1 号 車	3 t 水 槽 付	車 800 は 263	日 野		H16.2.12	19	7.54 m	2.36 m	2.98 m	12.195kg	7人	7.96 ㍓	A - 1 級	小川ポンプ
	11	第 2 号 車	1.5t 水 槽 付	車 800 は 421	日 野		H19.1.16	16	7.03 m	2.25 m	2.90 m	9.985kg	7人	6.40 ㍓	A - 2 級	日本造機
	12	第 3 号 車	C D - I 型	車 88 さ 9336	い す	ゞ	H8.11.14	26	5.67 m	1.88 m	2.66 m	4.860kg	6人	4.57 ㍓	A - 2 級	日本ドライケミカル
東	13	第 4 号 車 (団本部車)	C D - I 型	車 800 さ 9724	い す	ゞ	H31.3.26	4	5.55 m	1.90 m	2.42 m	4.790kg	6人	2.99 ㍓	A - 2 級	モリタ
	14	は し ご	車 5 4 . 7 m	車 800 は 828	日 野		H29.3.14	6	12.00 m	2.50 m	3.52 m	24.230kg	6人	8.86 ㍓		
	15	救 助 工 作 車	車 Ⅲ 型	車 800 は 1050	日 野		R4.12.12	0	7.92 m	2.36 m	3.20 m	11.900kg	6人	5.12 ㍓		
消	16	大 型 水 槽	車 10 t 角 型 水 槽	車 800 は 861	日 野		H30.2.15	5	9.57 m	2.49 m	3.34 m	21.955kg	3人	8.86 ㍓	B - 2 級	トーハツ
	17	支 援 車	車 I 型	車 800 は 560	日 野		H22.12.17	12	11.00 m	2.50 m	3.54 m	19.750kg	10人(26人)	12.91 ㍓		
	18	資 機 材 搬 送	1号車 3t クレーン付	車 800 さ 9311	日 野		H30.1.30	5	7.97 m	2.24 m	3.05 m	7.995kg	3人	5.12 ㍓		
防	19	資 機 材 搬 送	2号車 資機材搬送	車 800 さ 7563	三 菱		H25.1.21	10	7.01 m	2.25 m	3.24 m	7.565kg	3人	2.99 ㍓		
	20	資 機 材 搬 送	3号車 資機材搬送	車 800 は 699	日 野		H26.4.23	8	9.23 m	2.45 m	3.49 m	10.495kg	5人	6.40 ㍓		
	21	救 急	1号車 高規格	車 800 さ 8330	ト ヨ	タ	H27.2.20	8	5.67 m	1.89 m	2.49 m	3.255kg	7人	2.69 ㍓		
署	22	救 急	2号車 高規格	車 800 さ 1102	ト ヨ	タ	R5.2.22	0	5.66 m	1.89 m	2.49 m	3.235kg	7人	2.69 ㍓		
	23	救 急	3号車 高規格	車 800 さ 7582	ト ヨ	タ	H25.1.31	5	5.65 m	1.89 m	2.49 m	3.195kg	7人	2.69 ㍓		
	24	救 急	4号車 高規格	車 800 さ 5769	ト ヨ	タ	H19.12.21	15	5.68 m	1.90 m	2.53 m	3.235kg	7人	2.69 ㍓		
	25	救 急	5号車 高規格	車 800 さ 6469	ト ヨ	タ	H21.11.24	13	5.67 m	1.89 m	2.53 m	3.235kg	7人	2.69 ㍓		
	26	指 揮 車	車 800 さ 7421	ニ ッ サ ン			H24.8.27	10	4.63 m	1.79 m	1.82 m	1.795kg	5人	1.99 ㍓		
	27	査 察 車	車 480 こ 8280	ニ ッ サ ン			H28.8.29	6	3.39 m	1.47 m	1.89 m	1.310kg	4人	0.65 ㍓		
川内分署	28	防 火 広 報	車 報	車 800 さ 4333	ニ ッ サ ン		H16.12.22	18	4.69 m	1.69 m	2.25 m	2.180kg	8人	1.99 ㍓		
	29	川 内 分 署	C D - I 型	車 800 す 11	日 野		R2.1.31	3	5.96 m	1.98 m	2.86 m	7.085kg	5人	4.01 ㍓	A - 2 級	長野ポンプ
	30	化 学 急 車	車 IV 型	車 800 は 492	日 野		H20.11.27	14	8.55 m	2.49 m	3.15 m	15.400kg	6人	8.86 ㍓	A - 1 級	モリタ
勝占分署	31	救 急 車	車 高規格	車 800 さ 8680	ト ヨ	タ	H28.1.19	7	5.67 m	1.89 m	2.49 m	3.215kg	7人	2.69 ㍓		
	32	勝 占 分 署	C D - I 型	車 800 す 44	日 野		R2.2.21	3	5.96 m	1.98 m	2.86 m	7.085kg	5人	4.01 ㍓	A - 2 級	長野ポンプ
	33	救 急 車	車 高規格	車 800 さ 8720	ニ ッ サ ン		H28.3.1	7	5.66 m	1.90 m	2.47 m	3.315kg	7人	3.49 ㍓		
津田出張所	34	津 田 出 張 所	C D - I 型 (700㍓)	車 800 さ 9275	日 野		H29.12.7	5	5.73 m	1.92 m	2.98 m	6.815kg	5人	4.00 ㍓	A - 2 級	モリタ
	35	救 急 車	車 高規格	車 800 さ 9355	ニ ッ サ ン		H30.2.27	5	5.64 m	1.90 m	2.47 m	3.285kg	7人	3.49 ㍓		
	36	第 1 号 車	2 t 水 槽 付	車 800 は 813	日 野		H28.12.15	6	6.96 m	2.35 m	3.03 m	11.285kg	7人	6.40 ㍓	A - 2 級	小川ポンプ
西	37	第 2 号 車	C D - I 型 (600㍓)	車 800 さ 7612	日 野		H25.2.28	10	5.70 m	1.92 m	3.05 m	6.930kg	6人	4.00 ㍓	A - 2 級	モリタ
	38	第 3 号 車	C D - I 型	車 88 さ 5481	い す	ゞ	H1.3.22	34	5.68 m	1.88 m	2.68 m	4.880kg	6人	3.63 ㍓	A - 2 級	吉谷機械
	39	ス ノ ー ケ ル 車	2.5 m 屈折はし	車 800 は 1018	日 野		R4.1.25	1	9.00 m	2.49 m	3.65 m	16.540kg	6人	8.86 ㍓		
消	40	救 助 工 作 車	車 II 型	車 800 は 685	日 野		H25.12.27	9	7.57 m	2.34 m	3.25 m	11.490kg	6人	6.40 ㍓		
	41	大 型 水 槽	車 5 t タ ン ク	車 800 は 192	い す	ゞ	H15.1.27	20	8.18 m	2.48 m	2.94 m	13.205kg	3人	8.22 ㍓	B - 3 級	トーハツ
	42	資 機 材 搬 送	1号車 3t クレーン付	車 800 さ 6379	日 野		H21.8.27	13	5.98 m	1.89 m	2.57 m	6.865kg	3人	4.00 ㍓		
防	43	資 機 材 搬 送	2号車 資機材搬送	車 800 す 429	い す	ゞ	R3.3.5	2	6.65 m	2.24 m	3.66 m	7.365kg	5人	2.99 ㍓		
	44	救 急	1号車 高規格	車 800 さ 9629	ニ ッ サ ン		H31.1.11	4	5.33 m	1.88 m	2.49 m	3.255kg	7人	2.48 ㍓		
	45	救 急	2号車 高規格	車 800 さ 6934	ト ヨ	タ	H23.2.15	12	5.65 m	1.88 m	2.51 m	3.105kg	7人	2.69 ㍓		
署	46	指 揮 車	車 指	車 800 さ 7422	ニ ッ サ ン		H24.8.27	10	4.63 m	1.79 m	1.82 m	1.795kg	5人	1.99 ㍓		
	47	査 察 車	車 査	車 480 す 5023	ニ ッ サ ン		R1.7.18	3	3.39 m	1.47 m	1.89 m	1.320kg	4人	0.65 ㍓		
	48	防 火 広 報	車 報	車 800 さ 4064	ニ ッ サ ン		H27.7.21	7	4.69 m	1.69 m	1.99 m	3.075kg	9人	1.99 ㍓		
国府出張所	49	国 府 出 張 所	C D - I 型	車 800 さ 663	い す	ゞ	H11.12.3	23	5.77 m	1.88 m	2.52 m	4.990kg	6人	4.57 ㍓	A - 2 級	日本造機
	50	救 急 車	車 高規格	車 800 す 416	ニ ッ サ ン		R3.3.1	2	5.33 m	1.88 m	2.49 m	3.315kg	7人	2.48 ㍓		

分	1	佐古分団	C D - I	型	徳島 800 さ 8611	日	野	H27.11.18	7	5.30	1.88	2.50	m	4,800kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	2	東富田分団	C D - I	型	徳島 800 さ 8612	日	野	H27.11.18	7	5.30	1.88	2.50	m	4,800kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	3	西富田分団	C D - I	型	徳島 830 む 119	日	野	H18.11.29	16	5.79	1.88	2.64	m	4,840kg	6人	4.00	0 A - 2 級	日本海機
	4	昭東分団	C D - I	型	徳島 800 さ 416	い	す	H11.9.20	23	5.70	1.88	2.56	m	4,970kg	6人	4.57	0 A - 1 級	小川ポンプ
	5	渾和分団	C D - I	型	徳島 800 さ 1605	日	野	H12.9.29	22	5.70	1.88	2.56	m	4,630kg	6人	4.89	0 A - 2 級	モリタ
	6	沖洲分団	C D - I	型	徳島 800 さ 3706	日	野	H15.11.18	19	5.63	1.88	2.42	m	4,910kg	6人	4.89	0 A - 2 級	日本ドライケミカル
	7	津北分団	C D - I	型	徳島 800 さ 9247	日	野	H29.11.10	5	5.65	1.89	2.51	m	4,880kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	8	津田分団	C D - I	型	徳島 800 さ 7486	い	す	H24.10.26	10	5.77	1.88	2.63	m	4,990kg	6人	2.99	0 A - 2 級	ネイチャー
	9	加茂名分団	C D - I	型	徳島 800 さ 9648	日	野	H31.2.5	4	5.71	1.88	2.50	m	4,780kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	10	加茂分団	C D - I	型	徳島 800 さ 6866	日	野	H22.11.26	12	5.68	1.89	2.50	m	4,670kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	11	八万分団	C D - I	型	徳島 800 さ 4848	日	野	H17.11.29	17	5.70	1.88	2.50	m	4,660kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	12	" 長谷班積	載	重	徳島 800 さ 7162	ニッサン		H23.11.24	11	5.29	1.69	2.33	m	3,270kg	6人	1.99	0 B - 2 級	トーハツ
	13	勝占分団	C D - I	型	徳島 800 さ 8253	い	す	H26.12.9	8	5.68	1.90	2.60	m	4,980kg	6人	2.99	0 A - 2 級	ネイチャー
	14	" 東部班積	載	重	徳島 800 さ 6481	ニッサン		H21.11.27	13	4.99	1.69	2.30	m	2,960kg	6人	1.99	0 B - 2 級	ラビット
	15	多家分団	C D - I	型	徳島 800 さ 7893	日	野	H25.12.12	9	5.79	1.88	2.38	m	4,980kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	16	" 飯谷班積	載	重	徳島 800 さ 9251	ニッサン		H29.11.17	5	5.00	1.78	2.34	m	3,300kg	6人	1.99	0 B - 2 級	トーハツ
	17	" 洪野班積	載	重	徳島 800 さ 8227	ニッサン		H26.11.4	8	5.43	1.69	2.32	m	3,170kg	6人	1.99	0 B - 2 級	トーハツ
	18	不動分団	C D - I	型	徳島 800 さ 1604	日	野	H12.9.29	22	5.70	1.88	2.56	m	4,630kg	6人	4.89	0 A - 2 級	モリタ
	19	入分団	C D - I	型	徳島 800 さ 1614	い	す	H12.9.29	22	5.67	1.88	2.75	m	5,100kg	6人	4.57	0 A - 2 級	モリタ
	20	上八万分団	C D - I	型	徳島 800 さ 7264	い	す	H24.2.24	11	5.88	1.89	2.46	m	4,980kg	6人	2.99	0 A - 2 級	ネイチャー
	21	川内分団	C D - I	型	徳島 800 さ 8877	日	野	H28.10.20	6	5.65	1.88	2.51	m	4,820kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	22	応神分団	C D - I	型	徳島 88 す 244	い	す	H10.1.6	25	5.60	1.88	2.50	m	4,750kg	6人	4.57	0 A - 2 級	日本ドライケミカル
	23	国府分団	C D - I	型	徳島 800 さ 9661	日	野	H31.2.18	4	5.71	1.88	2.50	m	4,780kg	6人	4.00	0 A - 2 級	モリタ
	24	" 延命班積	載	重	徳島 800 さ 7166	ニッサン		H23.11.28	11	5.30	1.69	2.33	m	3,200kg	6人	1.99	0 B - 2 級	トーハツ

2. その他（船舶・バイク）

	No.	呼車名	種別	登録番号	車名	登録年月日	年数	全長	全幅	全高	総重量	定員	排気量	ポンプ級別	ポンプメーカー
東消防署	1	救命艇	外	280-43238	ヤンマ	H22.12.24	12	10.88m	2.54	m	1,700kg	13人		B - 2 級	ラビット
	2	ゴムボート	外	230-53520	アレマ	H25.12.25	9	3.42	1.61	m	200kg	6人			
	3	水上オートバイ	外	280-46562	ヤマハ	R4.10.24	0	2.92	1.16	m	457.3kg	3人	1.812	0	
	4	水上オートバイ	外	280-37932	ヤマハ	H11.6.21	23	3.15	1.25	m	250kg	3人	0.75	0	
西消防署	5	悪路踏破バギー	水陸両用	1377	アーク	H26.11.26	8	3.22	1.52	m	641kg	6人(水主4人)	0.748		
	6	懸路踏破バギー	水陸両用	280-38812	カワサキ	H12.6.26	22	3.10	1.17	m	278kg	3人	0.89	0	
	7	オフロードバイク	小型自動二輪	徳島市 VW 423	ホンダ	H11.6.21	23	2.19	0.84	m	122kg	2人	0.125	0	
	8	ゴムボート	外	280-46104	アキレス	R3.1.19	2	3.42	1.61	m	78kg	6人			

3. 原動機付自転車

	No.	呼車名	種別	登録番号	車名	登録年月日	年数	全長	全幅	全高	総重量	定員	排気量	ポンプ級別	ポンプメーカー
東消防署	1	東原付 1	原動機付自転車	徳島市 A2666	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	2	東原付 2	原動機付自転車	徳島市 A2667	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	3	東原付 3	原動機付自転車	徳島市 A4877	ホンダ	H27.6.17	7	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	4	東原付 4	原動機付自転車	徳島市 A4878	ホンダ	H27.6.17	7	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	5	東原付 5	原動機付自転車	徳島市 A4880	ホンダ	H27.6.17	7	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
川内分署	6	川内原付 1	原動機付自転車	徳島市 A2668	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	7	川内原付 2	原動機付自転車	徳島市 A6068	ホンダ	H28.7.20	6	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
勝占分署	8	勝占原付 1	原動機付自転車	徳島市 A2670	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	9	勝占原付 2	原動機付自転車	徳島市 A6070	ホンダ	H28.7.20	6	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
津田出張所	10	津田原付 1	原動機付自転車	徳島市 A2671	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	11	津田原付 2	原動機付自転車	徳島市 A6071	ホンダ	H28.7.20	6	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
西消防署	12	西原付 1	原動機付自転車	徳島市 A2672	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	13	西原付 2	原動機付自転車	徳島市 A2673	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	14	西原付 3	原動機付自転車	徳島市 A4881	ホンダ	H27.6.17	7	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
	15	西原付 4	原動機付自転車	徳島市 A2675	ホンダ	H25.7.4	9	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		
国府出張所	16	国府原付 1	原動機付自転車	徳島市 A6072	ホンダ	H28.7.20	6	1.80	0.70	m	106kg	1人	0.049		

4 消 防 水 利 状 況

(令和 5 年 4 月 1 日現在)

水利 種別	合 計	消火栓													私設消火栓				
		小 計	七 五 ミ リ メ ー ト ル	一 〇 〇	一 五 〇	二 〇 〇	二 五 〇	三 〇 〇	三 五 〇	四 〇 〇	五 〇 〇	六 〇 〇	七 〇 〇	八 〇 〇	小 計	七 五 ミ リ メ ー ト ル	一 〇 〇	一 五 〇	二 五 〇
地区別				〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃	〃
全地区	4,983	4,931	466	1,620	1,641	454	112	436	47	111	21	21	0	2	52	24	16	10	2
佐 古	163	159	6	39	66	6	0	42	0	0	0	0	0	0	4	1	3	0	0
新 町	62	62	0	7	39	0	0	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西富田	42	42	0	11	21	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東富田	128	128	2	40	55	5	0	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭 和	126	124	6	37	56	4	0	15	6	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
津 田	217	216	13	72	78	22	5	21	0	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0
内 町	165	165	4	37	60	16	2	28	3	9	4	0	0	2	0	0	0	0	0
渭 東	206	206	3	83	67	11	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖 洲	270	267	5	102	91	36	6	19	3	1	0	4	0	0	3	2	0	1	0
渭 北	218	218	4	102	58	8	2	26	0	12	6	0	0	0	0	0	0	0	0
八 万	401	380	27	137	124	33	8	33	0	2	6	10	0	0	21	6	7	6	2
加 茂	222	222	10	90	83	10	0	27	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加茂名	331	328	18	110	117	44	0	28	0	11	0	0	0	0	3	2	0	1	0
不 動	107	106	19	23	37	13	3	11	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
多家良	253	252	74	85	38	7	38	0	5	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0
勝 占	346	339	28	132	82	42	16	24	4	11	0	0	0	0	7	4	1	2	0
上八万	297	293	68	118	47	26	3	26	1	0	0	4	0	0	4	2	2	0	0
入 田	86	84	19	20	21	24	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
川 内	451	448	30	130	165	69	0	25	1	26	2	0	0	0	3	1	2	0	0
応 神	225	225	18	87	78	19	0	3	3	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国 府	335	335	47	104	113	32	17	11	2	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0
南井上	181	181	36	30	66	5	8	14	15	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北井上	151	151	29	24	79	16	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(令和5年4月1日現在)

水利 種別 地区別	防 火 水 槽								私設防火水槽								
	小 計	有 蓋						無蓋 4 0 ト ン	小 計	有 蓋				無 蓋			
		2 0 ト ン	4 0 ト ン	6 0 ト ン	8 0 ト ン	1 0 0 ト ン	1 5 0 ト ン			2 0 ト ン	4 0 ト ン	6 0 ト ン	1 0 0 ト ン				
全地区	231	5	213	5	1	2	1	4	117	6	88	7	3	3	5	2	3
佐 古	7	0	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
新 町	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西富田	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東富田	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭 和	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津 田	9	1	7	0	0	1	0	0	7	1	4	2	0	0	0	0	0
内 町	2	0	1	0	0	0	1	0	4	0	3	1	0	0	0	0	0
渭 東	10	0	10	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0
沖 洲	7	0	7	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	0	0
渭 北	9	1	8	0	0	0	0	0	5	1	3	0	0	0	0	1	0
八 万	17	0	17	0	0	0	0	0	19	1	12	2	1	0	2	1	0
加 茂	9	0	9	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0
加茂名	18	0	16	1	0	1	0	0	21	0	21	0	0	0	0	0	0
不 動	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多家良	34	0	34	0	0	0	0	0	9	1	5	0	1	1	0	0	1
勝 占	26	0	26	0	0	0	0	0	18	1	15	0	0	1	1	0	0
上八万	36	0	31	1	1	0	0	3	7	0	4	1	0	0	1	0	1
入 田	12	0	11	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
川 内	3	0	2	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0
応 神	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0
国 府	9	1	8	0	0	0	0	0	8	0	6	0	0	1	0	0	1
南井上	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北井上	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0

(令和5年4月1日現在)

水利 種別 地区別	打込井戸				小 計	井戸		採 水 口	プ ー ル	河 川 溝 等	池 等
	小 計	打 込 井 戸	私 設 打 込 井 戸	兼 用 打 込 井 戸		公 設 井 戸	私 設 井 戸				
全地区	901	573	270	58	423	11	13	28	43	272	56
佐 古	7	1	6	0	20	0	0	2	1	17	0
新 町	0	0	0	0	9	0	0	1	1	7	0
西富田	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
東富田	0	0	0	0	6	0	0	0	1	5	0
昭 和	19	14	5	0	9	0	0	3	1	5	0
津 田	28	14	14	0	9	0	0	0	1	6	2
内 町	0	0	0	0	11	0	0	4	1	5	1
渭 東	30	15	15	0	25	0	0	0	3	22	0
沖 洲	46	27	19	0	7	0	0	0	1	6	0
渭 北	29	18	11	0	10	0	0	0	5	5	0
八 万	49	25	24	0	13	0	0	4	2	6	1
加 茂	73	48	24	1	11	0	0	1	2	8	0
加茂名	114	68	41	5	40	0	0	5	3	31	1
不 動	31	27	3	1	8	0	0	0	2	6	0
多家良	23	21	2	0	52	0	3	0	3	19	27
勝 占	33	23	10	0	25	0	1	2	4	13	5
上八万	28	25	1	2	22	1	2	0	2	10	7
入 田	2	2	0	0	11	0	1	0	1	4	5
川 内	86	55	31	0	43	0	0	6	3	34	0
応 神	44	32	8	4	14	0	0	0	2	11	1
国 府	100	76	22	2	37	2	2	0	2	26	5
南井上	68	49	5	14	21	0	2	0	1	18	0
北井上	91	33	29	29	19	8	2	0	1	8	0

5 主な消防器材の配置状況

(令和5年4月1日現在)

器具別 所属 計				東消防署					西消防署		
				本 署	川内分署	勝占分署	津 田 出張所	小 計	本 署	国 府 出張所	小 計
放水器具	ホース	65mm	627	196	63	42	45	346	224	57	281
		50mm	529	193	46	55	45	339	138	52	190
	水流駆動式高発泡器		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	簡 易 発 泡 器		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	発 泡 ノ ズ ル		15	8	3	0	0	11	4	0	4
	ラインプロポーショナー		7	3	1	0	0	4	3	0	3
	パ ン チ ノ ズ ル		2	1	1	0	0	2	0	0	0
	放 水 砲		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	無反動ノズルホルダー		24	7	3	1	4	15	8	1	9
	水 幕 ノ ズ ル		10	5	0	0	0	5	5	0	5
	TD型ピストルノズル		25	8	1	2	2	13	11	1	12
	高揚水ターボポンプ		2	1	0	0	0	1	1	0	1
作業器具	可 搬 式 ウ イ ン チ		6	3	0	0	0	3	3	0	3
	エ ア ネ イ ラ ー		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	ダブルブレードカッター		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	エンジンカッター		11	4	1	1	1	7	3	1	4
	チェ ー ン ソ ー		15	7	1	1	1	10	5	0	5
	エ ア ー カ ッ タ ー		3	2	0	0	0	2	1	0	1
	エ ア ー ソ ー		2	2	0	0	0	2	0	0	0
	ペ ト ロ カ ッ タ ー		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	携帯用アセチレン溶断機		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	電 気 ハ ン マ		5	3	0	0	0	3	2	0	2
	発 電 機		52	21	4	4	5	34	16	2	18
	投 光 器		47	15	5	2	4	26	18	3	21
救助器具	油 圧 式 救 助 器 具		9	3	0	0	0	3	6	0	6
	マイティーバッグ		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	バスケットストレッチャー		8	4	0	1	0	5	3	0	3
	救助幕(空気式救助マット)		3	1	0	0	0	1	2	0	2
	緩 降 機		4	1	0	0	0	1	3	0	3
	救 命 索 発 射 銃		3	1	0	0	0	1	2	0	2
	救 命 索 発 射 砲		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	救 命 浮 環		48	22	3	2	2	29	17	2	19
	潜 水 用 具		15	5	0	0	0	5	10	0	10
	救助用支柱器具		2	1	0	0	0	1	1	0	1
器具	ゴ ム ボ ー ト		11	3	1	1	1	6	4	1	5

器具別 所属 計			東 消 防 署					西消防署			
			本 署	川内分署	勝占分署	津 田 出張所	小 計	本 署	国 府 出張所	小 計	
保 安 器 具	耐 熱 防 火 被 服		12	5	4	0	0	9	3	0	3
	陽 圧 式 化 学 防 護 服		13	8	0	0	0	8	5	0	5
	密 閉 型 化 学 防 護 服		32	21	0	0	0	21	11	0	11
	救 急 隊 員 用 化 学 防 護 服		765	325	85	62	106	578	124	63	187
	防 毒 服		11	3	5	0	0	8	3	0	3
	R I 防 護 服		9	3	2	0	0	5	4	0	4
	個 人 被 ば く 線 量 計 (R I ポ ケ ッ ト 線 量 計)		34	17	2	0	0	19	15	0	15
	R I 測 定 器		3	1	1	0	0	2	1	0	1
	ガンマ線及びエックス線用 線 量 率 計		4	2	0	0	0	2	2	0	2
器 具	表 面 汚 染 検 査 計		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	中 性 子 用 線 量 率 計		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	耐 電 衣		25	8	2	2	2	14	9	2	11
	救 命 胴 衣		192	97	7	11	12	127	55	10	65
	耐 刃 防 護 衣		24	9	3	3	3	18	3	3	6
	排 煙 機		8	2	1	1	0	4	4	0	4
	浄 水 機		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パ ワ ー ラ イ ト ロ ー プ		34	13	2	2	2	19	13	2	15
	空気呼吸器	1 5 M P a 用	5	2	0	0	0	2	3	0	3
		3 0 M P a 用	73	25	7	3	3	38	32	3	35
救 急 器 具	酸 素 呼 吸 器		10	5	0	0	0	5	5	0	5
	空気呼吸器用 ボンベ	1 5 M P a 用	8	2	1	1	1	5	3	0	3
		3 0 M P a 用	138	65	10	6	3	84	50	4	54
	酸 素 ボ ン ベ		84	35	2	5	4	46	33	5	38
	高 圧 コ ン プ レ ッ サ ー		4	1	1	1	0	3	1	0	1
	高 圧 空 気 集 合 装 置		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	携 帯 用 酸 素 蘇 生 器		12	5	1	2	1	9	2	1	3
器 具	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー		14	8	1	1	1	11	2	1	3
	マ ジ ッ ク ギ プ ス		18	9	1	2	2	14	2	2	4
	心 電 図 伝 送 装 置		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	患 者 監 視 モ ニ タ ー		11	5	1	1	1	8	2	1	3
	自 動 式 心 肺 蘇 生 器		9	4	1	1	1	7	1	1	2
	除 細 動 器		23	8	3	3	3	17	4	2	6

※ 除細動器にあっては上記の表以外に消防局に2台保有している。

器具別			所属	東消防署					西消防署		
				本 署	川内分署	勝占分署	津 田 出張所	小 計	本 署	国 府 出張所	小 計
救急器具	輸 液 ポ ン プ		7	3	1	1	1	6	1	0	1
	シ ョ ッ ク パ ン ツ		3	1	0	1	0	2	1	0	1
	車 内 殺 菌 装 置		11	5	1	1	1	8	2	1	3
	E O G 滅 菌 器		1	1	0	0	0	1	0	0	0
保安器具	生 物 剤 検 知 装 置 (テストスト リップ°)	炭疽菌用 (5個入)	8	6	0	0	0	6	2	0	2
		ペスト菌用 (5個入)	8	6	0	0	0	6	2	0	2
		ボツリヌス菌用 (5個入)	10	6	0	0	0	6	4	0	4
		ブドウ球菌用 (5個入)	8	6	0	0	0	6	2	0	2
		リシン用 (5個入)	10	6	0	0	0	6	4	0	4
		天然痘用 (5個入)	8	6	0	0	0	6	2	0	2
		ブルセラ菌用 (5個入)	10	6	0	0	0	6	4	0	4
		ツラレミア菌用 (5個入)	8	6	0	0	0	6	2	0	2
		アブリン用 (5個入)	10	6	0	0	0	6	4	0	4
	携帯型生物剤検知装置		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	生 物 剤 捕 集 器		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	有 毒 ガ ス 検 知 管		3	2	0	0	0	2	1	0	1
	化学剤検知紙（冊）		23	22	0	0	0	22	1	0	1
	携帯型化学剤検知機		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	除染シャワーテント		3	1	0	0	0	1	2	0	2
	中 和 剤 散 布 器		5	3	0	0	0	3	2	0	2
	防 毒 マ ス ク		32	10	3	3	3	19	10	3	13
	被除染者用簡易服		19	19	0	0	0	19	0	0	0
高度救助器具	画 像 探 査 機 I 型		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	画 像 探 査 機 II 型		2	1	0	0	0	1	1	0	1
	夜 間 用 暗 視 装 置		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	熱 画 像 直 視 装 置		8	2	1	1	1	5	3	0	3
	地 中 音 響 探 査 機		1	1	0	0	0	1	0	0	0
	地 震 警 報 器		1	1	0	0	0	1	0	0	0

6 消防分団の資機材配備状況

(令和5年4月1日現在)

分団名 資機材名	佐古	東富田	西富田	昭和	渭東	沖洲	渭北	津田	加茂名	加茂	八万	勝占	多家良	不動	入田	上八万	川内	応神	国府	合計
縦型バール	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	57
平型バール	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	57
折りのこ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	57
ゴムボート	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	24
救命胴衣	28	28	28	28	28	28	28	28	40	28	40	40	38	32	32	48	48	40	48	658
浮環	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
フローティング ロープ(40m)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	24
合図灯	20	20	20	20	20	20	20	20	27	20	27	27	32	21	21	32	32	27	32	458
拡声器	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
チェンソー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
投光器	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
発電機	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
ガソリン 携行缶	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	6	2	2	2	2	2	4	48
AED	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	24
油圧 切断機	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	2	24

7 開発行為の同意状況

年度別	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
項 目	同意件数	水利指導数	同意件数	水利指導数	同意件数	水利指導数
東 署 管 内	29	4	33	5	21	5
西 署 管 内	21	1	30	4	29	5
合 計	50	5	63	9	50	10

8 泡消火原液等の備蓄状況

(令和5年4月1日現在)

	薬品名	合成界面活性剤泡		タンパク泡 消火薬剤	油処理剤 (液体)	油吸着材 (油吸着マッ ト)	クラスA 泡消火薬剤 (木材燃焼防 止用)
		耐アルコール					
	混合率	3%	3%	3%			
所 在	計	3,360ℓ	380ℓ	480ℓ	396ℓ	760枚	230ℓ
東 消 防 署		2,700ℓ	380ℓ	340ℓ	216ℓ	430枚	150ℓ
西 消 防 署		660ℓ		140ℓ	180ℓ	330枚	80ℓ

9 消防相互応援協定等

(令和5年4月1日現在)

締 結 先	種 別	締結年月
小 松 島 海 上 保 安 部	船舶の消防に関する業務協定	昭和34年6月
民 間 の 運 輸 ・ 重 機 会 社	災害時における消防機関の行う消防活動に係るクレーン車の出動に関する協定	昭和50年9月
民 間 の 建 設 機 械 会 社	災害時において徳島市が行う応急措置に係る建設機械の応援出動に関する協定	昭和52年3月
徳 島 教 育 航 空 群 他	徳島飛行場・小松島飛行場周辺における航空事故の連絡、調整体制に関する協定	昭和54年9月
徳 島 県 下 1 3 消 防 本 部	徳島県下の広域消防相互応援に関する協定	平成27年12月
警 察 ・ ガ ス ・ 電 力 会 社 等	ガス爆発事故等発生時の措置に関する協定	昭和57年3月
小 松 島 市	救急業務に関する協定	昭和62年3月
石 油 会 社	災害時における航空用燃料の供給に関する協定	昭和62年3月
J R 徳 島 駅	災害時における徳島駅構内の旅客に対する応急対策の実施に関する覚書	昭和62年5月
徳島眉山ゴルフ株式会社 株式会社サンピア 阿波総合開発株式会社 (徳島カントリークラブ)	大規模災害時における飛行場外離発着場に関する協定	平成7年11月
徳島県漁業協同組合連合会	大規模災害時における輸送協力に関する協定の締結	平成7年12月
(社) 徳 島 市 医 師 会	災害、事故時における医療救護に関する協定	平成17年7月
名 東 郡 医 師 会	災害、事故時における医療救護に関する協定	平成17年7月
43市町村9消防組合管理者	徳島県内の市町村及び一部事務組合の消防相互応援に関する協定	平成10年4月
徳島県知事49市町村 9消防組合管理者	徳島県が所有する消防防災ヘリコプターの応援要請に関する協定	平成10年4月
徳 島 県 下 8 消 防 本 部	徳島県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書	令和4年3月
徳島県下4消防本部及び 日本道路公団四国支社	徳島自動車道(鳴門JCT～徳島IC)及び徳島南部自動車道(徳島JCT～徳島沖洲IC)における消防及び救急業務等に関する覚書	令和4年3月
徳島県下7消防本部及び 日本道路公団四国支社	徳島自動車道(徳島～井川池田)における火災及び救急業務等に関する覚書	平成19年3月
四 国 旅 客 鉄 道 株 式 会 社	鉄道災害時の安全対策に関する覚書	平成16年1月
小 松 島 市 板 野 東 部 板 野 西 部 名 西	徳島県内5消防機関による広域消防相互応援協定	平成19年8月
和 歌 山 市 ・ 姫 路 市 ・ 堺 市	消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	平成20年10月
コンクリートミキサー車等を 保有する民間事業所	災害時における消防用水の確保に関する協定	平成30年4月

10 耐震性貯水槽設置状況

(29ヶ所)

設置年度	設置場所	所在地	容量 (m³)	種 別
平成8年度	○ 蔵本公園駐車場	庄町一丁目76-2	100	飲料水兼用
	津田小学校運動場	津田西町二丁目5	100	飲料水兼用
	J R 蔵本駅前	蔵本町二丁目13	60	貯水槽専用
平成9年度	佐古小学校校庭	南佐古四番町1	60	〃
	しらさぎ台集会所南	上八万町西山1430	60	〃
平成12年度	西富田公園	栄町4丁目	60	〃
平成13年度	児童公園	北沖洲一丁目13	40	〃
	八万団地公園	八万町新貝56	40	〃
平成14年度	市立助任幼稚園	北前川町2丁目10	40	〃
	田宮運動公園	南田宮二丁目125	40	〃
	○ 新町川公園	南出来島町1丁目	150	飲料水兼用
平成15年度	市営住宅城東団地	城東町1丁目	40	貯水槽専用
	東富田公園	富田橋1丁目	40	〃
平成16年度	川内中学校	川内町竹須賀146-1	40	〃
	新町小学校	東山手町3丁目21	40	〃
	昭和小学校	昭和町6丁目86	40	〃
平成17年度	応神公園	応神町吉成七丁原115-1	40	〃
	国府中学校	国府町府中68-1	40	〃
	北井上中学校	国府町西黒田字南傍示202	40	〃
平成18年度	不動子供運動広場	不動東町4丁目	40	〃
	丈六中央公園	丈六町長尾86	40	〃
	入田分団詰所	入田町春日167-5	40	〃
	徳島市農村環境改善センター	国府町井戸字高池窪48番	40	〃
平成19年度	大原集会所西側	大原町千代ヶ丸24-1	40	〃
平成20年度	城北高校	北田宮4丁目	40	〃
	山城公園グラウンド	沖浜東3丁目	40	〃
	J A 徳島市機械化センター	不動西町3丁目	40	〃
	武威神社	応神町東貞方	40	〃
平成22年度	徳島科学技術高校	北矢三町二丁目1番1号	40	〃

※表中○印は県設置

通

信

1 主たる通信行事

令和 4 年

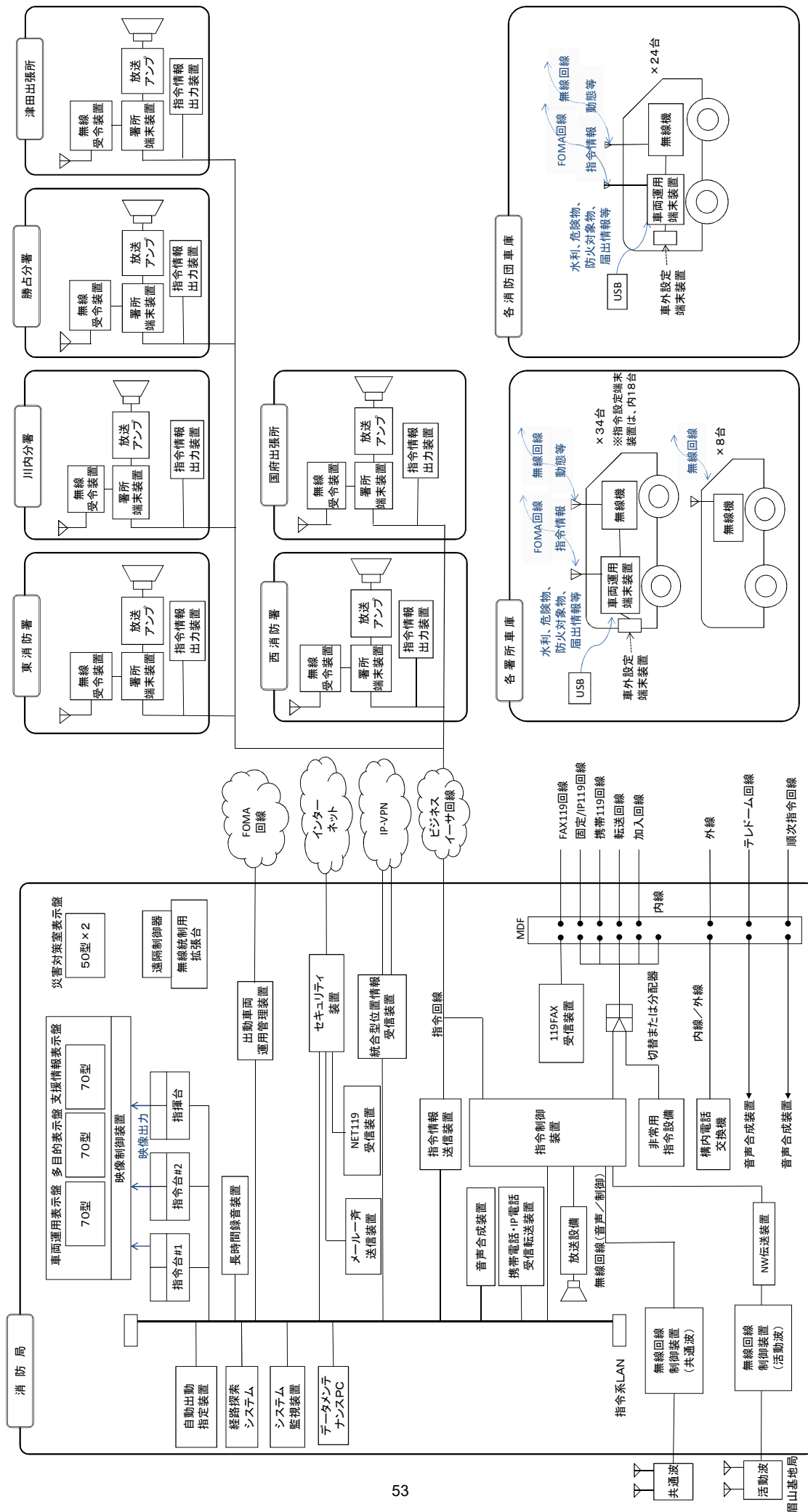
5月18日	全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験（第1回）
6月15日	緊急地震速報訓練（第1回）
6月20・22・30日	大規模災害対応訓練（第1回）
7月16・17日	水都祭特別警戒
8月10日	全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験（第2回）
8月12～15日	阿波おどり特別警戒
11月2日	緊急地震速報訓練（第2回）
11月5・15・20日	口頭指導シミュレーション訓練
11月16日	全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験（第3回）
12月10日～31日	年末特別警戒

令和 5 年

1月9～11日	ゑびす祭り消防特別警戒
1月15日	消防職団員安否確認訓練
1月26・28・30日	大規模災害対応訓練（第2回）
2月11・23日	眉山どどんぱ特別警戒
2月15日	全国瞬時警報システムの全国一斉情報伝達試験（第4回）
3月19日	とくしまマラソン2023特別警戒

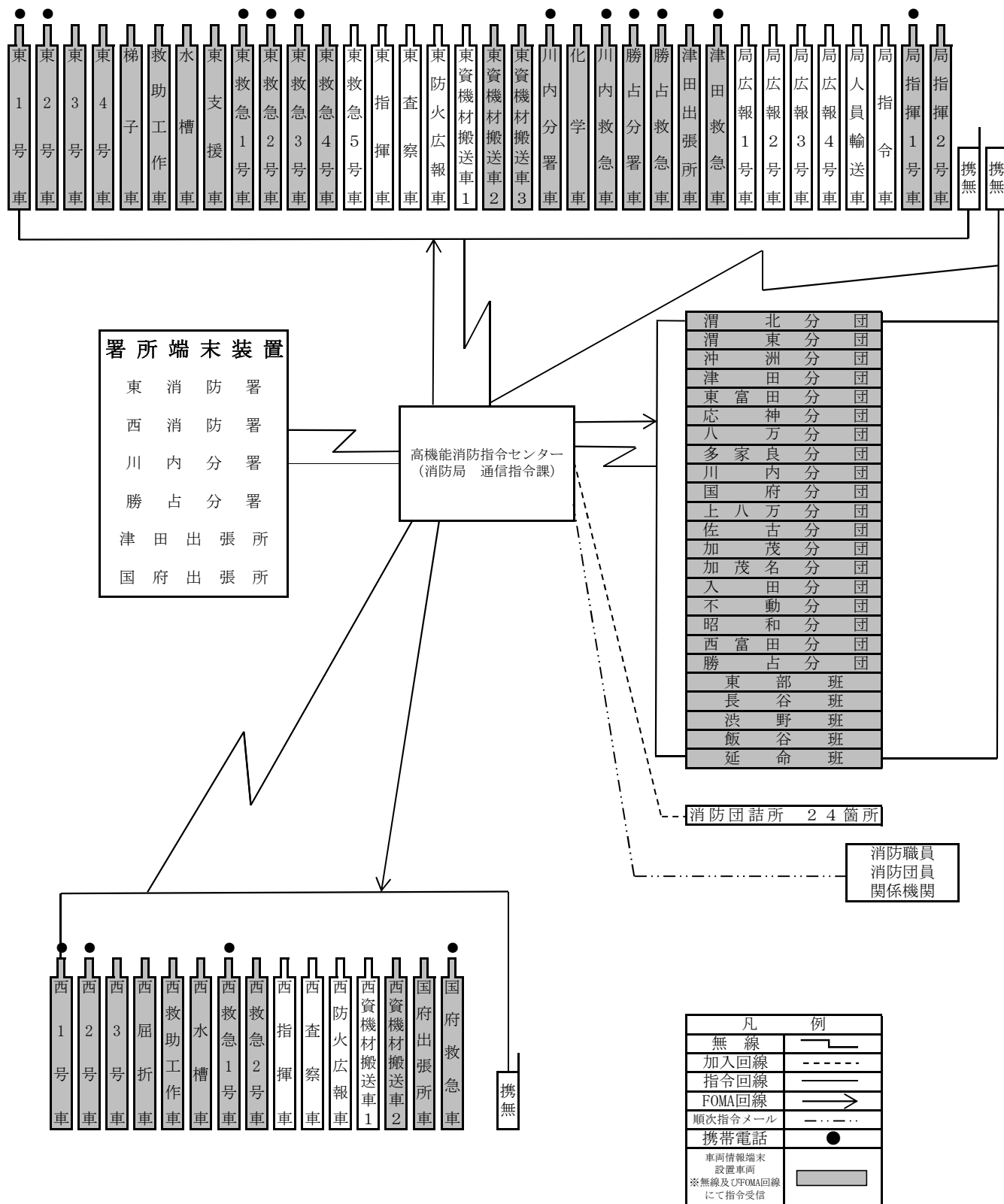
消防緊急情報システム

(令和5年4月1日現在)



3 通信指令系統図

(令和5年4月1日現在)



4 通 信 施 設 状 況

通 信 施 設

(令和5年4月1日現在)

種 別			数 量	種 別			数 量
緊急情報システム	指令装置	指 令 台	2台	同左	遠隔制御装置	7台	
		指 揮 台	1台			自動出動指定装置	1式
		指 令 制 御 装 置	1式			指 令 伝 送 装 置	6式
		非 常 用 指 令 設 備	1式			車 両 状 況 設 定 器	6式
		録 音 装 置	1式			指 令 情 報 出 力 装 置	6式
		音 声 合 成 装 置	1式			地 図 検 索 装 置	1式
		電 源 設 備	1式			車 両 運 用 端 末 装 置	58式
		署 所 端 末 装 置	6式				
		多 目 的 情 報 表 示 盤	1面				
	表示盤	車 両 運 用 表 示 盤	1面				
		支 援 情 報 表 示 盤	1面				

有 線 施 設

回 線 種 別	種 別	実装	容量	備 考
指令台収容回線	1 1 9 番 回 線	-	12	154 一般42、携帯48、I P電話60、ヘルプネット2、衛星2
	指 令 回 線	専 用	6	6 署所ビジネスイーサ利用
	関係機関専用回線	〃	5	8 警察1、病院1、放送局1、他1、道路公団1
	携帯電話からの119番転送回線	加 入	4	4 ISDN回線
	指令台用加入回線	〃	3	4
	内 線 回 線	自 営	3	4
	無 線 制 御 回 線	専 用	2	4
電子交換機	局 線 回 線	加 入	9	30 局庁舎PBXダイヤルイン方式
	内 線 回 線	自 営	111	150 内市内専用線8
業務用専用線回線		専 用	8	8 西4、分署2、出張所2
業務用FAX回線(加入)		加 入	28	28 局2、東1、西1、分団24
消防団員招集メールシステム		〃	1	1
順次指令メールシステム		〃	1	1
聴覚障害者用FAX119番		〃	1	1
業務用加入回線		〃	7	- 西3、分署2、出張所2
テ レ ド ー ム		〃	1	1

無 線 施 設

種 別		局	東消防署	西消防署	消 防 団	合計
基 地 局		1				1
陸上移動局	卓 上 用	2	6	3	0	11
	車 載 用	9	26	15	24	74
	携 帯 用	13	34	20	24	91
署 活 系		11	39	26	48	124
携 帯 電 話 ・ F A X		1（衛星）	10	4		15
災害時オペレーションシステム		－				1
徳島県総合情報通信ネットワーク		－				1
同報無線設備		統制局	中継局	再送信子局	屋外拡声子局	計
		1	1	1	48	51

5 無線機配置状況

(令和5年4月1日現在)

局種	呼出呼称	出力	無線種別	設置状況等	備考
基地局	徳消本部	5W	活動波1・2・3 統制波1・2・3 主運用波1～7	通信指令課	
陸上移動局 (卓上型)	徳消局卓上4	〃	〃	〃	
〃	徳消局卓上5	〃	〃	災害対策本部	
〃	徳消西卓上4	〃	〃	西消防署	
〃	徳消西卓上5	〃	〃	〃	
〃	徳消川内卓上4	〃	〃	川内分署	
〃	徳消川内卓上5	〃	〃	〃	
〃	徳消勝占卓上4	〃	〃	勝占分署	
〃	徳消勝占卓上5	〃	〃	〃	
〃	徳消東卓上1	〃	〃	東消防署	
〃	徳消津田卓上1	〃	〃	津田出張所	
〃	徳消国府卓上1	〃	〃	国府出張所	
陸上移動局 (車載型)	徳消東1	〃	〃	東1号車	(タンク車)
〃	徳消東2	〃	〃	東2号車	〃
〃	徳消東3	〃	〃	東3号車	(ポンプ車)
〃	徳消東4	〃	〃	東4号車	〃
〃	徳消東5	〃	〃	東はしご車	
〃	徳消東7	〃	〃	東救助工作車	
〃	徳消東9	〃	〃	東指揮車	
〃	徳消東10	〃	〃	東資機材搬送2号車	
〃	徳消東11	〃	〃	東査察車	
〃	徳消東12	〃	〃	東資機材搬送1号車	
〃	徳消東13	〃	〃	東防火広報車	
〃	徳消東14	〃	〃	東大型水槽車	
〃	徳消東15	〃	〃	予備	
〃	徳消東16	〃	〃	東支援車	
〃	徳消東18	〃	〃	東資機材搬送3号車	
〃	徳消川内20	〃	〃	川内化学車	
〃	徳消川内21	〃	〃	川内ポンプ車	(タンク車)
〃	徳消勝占22	〃	〃	勝占ポンプ車	〃
〃	徳消津田23	〃	〃	津田ポンプ車	〃
〃	徳消西31	〃	〃	西1号車	〃
〃	徳消西32	〃	〃	西2号車	〃
〃	徳消西33	〃	〃	西3号車	(ポンプ車)
〃	徳消西34	〃	〃	西スノーケル車	
〃	徳消西35	〃	〃	西救助工作車	
〃	徳消西37	〃	〃	西資機材搬送2号車	
〃	徳消西38	〃	〃	西資機材搬送1号車	
〃	徳消西39	〃	〃	西査察車	
〃	徳消西40	〃	〃	西指揮車	
〃	徳消西41	〃	〃	西大型水槽車	
〃	徳消西42	〃	〃	西防火広報車	

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (車載型)	徳消国府 4 3	5 W	活動波1・2・3 統制波1・2・3 主運用波1～7	国府ポンプ車	(ポンプ車)
〃	徳消局 6 0	〃	〃	局広報 2 号車	
〃	徳消局 6 1	〃	〃	局広報 1 号車	
〃	徳消局 6 2	〃	〃	局広報 3 号車	
〃	徳消局 6 5	〃	〃	局指令車	
〃	徳消指揮 6 6	〃	〃	局指揮 1 号車	
〃	徳消局 6 7	〃	〃	局広報 4 号車	
〃	徳消指揮 6 8	〃	〃	局指揮 2 号車	
〃	徳消局 6 9	〃	〃	局人員輸送車	
〃	徳救東 5 1	〃	〃	東救急 1 号車	(高規格)
〃	徳救東 5 2	〃	〃	東救急 2 号車	(高規格)
〃	徳救東 5 3	〃	〃	東救急 3 号車	(高規格)
〃	徳救津田 5 4	〃	〃	津田救急車	(高規格)
〃	徳救川内 5 5	〃	〃	川内救急車	(高規格)
〃	徳救東 5 6	〃	〃	東救急 4 号車	(高規格)
〃	徳救勝占 5 7	〃	〃	勝占救急車	(高規格)
〃	徳救東 5 8	〃	〃	東救急 5 号車	
〃	徳救西 6 1	〃	〃	西救急 1 号車	(高規格)
〃	徳救西 6 2	〃	〃	西救急 2 号車	(高規格)
〃	徳救国府 6 5	〃	〃	国府救急車	(高規格)
〃	徳消渭北 7 0	〃	〃	渭北分団	(ポンプ車)
〃	徳消渭東 7 1	〃	〃	渭東分団	〃
〃	徳消沖洲 7 2	〃	〃	沖洲分団	〃
〃	徳消津田 7 3	〃	〃	津田分団	〃
〃	徳消東富田 7 4	〃	〃	東富田分団	〃
〃	徳消応神 7 5	〃	〃	応神分団	〃
〃	徳消八万 7 6	〃	〃	八万分団	〃
〃	徳消多家良 7 7	〃	〃	多家良分団	〃
〃	徳消川内 7 8	〃	〃	川内分団	〃
〃	徳消国府 7 9	〃	〃	国府分団	〃
〃	徳消上八万 8 0	〃	〃	上八万分団	〃
〃	徳消佐古 8 1	〃	〃	佐古分団	〃
〃	徳消加茂 8 2	〃	〃	加茂分団	〃
〃	徳消加茂名 8 3	〃	〃	加茂名分団	〃
〃	徳消入田 8 4	〃	〃	入田分団	〃
〃	徳消不動 8 5	〃	〃	不動分団	〃
〃	徳消昭和 8 6	〃	〃	昭和分団	〃
〃	徳消西富田 8 7	〃	〃	西富田分団	〃
〃	徳消勝占 8 8	〃	〃	勝占分団	〃
〃	徳消東部 8 9	〃	〃	勝占分団東部班	(ポンプ積載車)
〃	徳消長谷 9 0	〃	〃	八万分団長谷班	〃
〃	徳消渋野 9 1	〃	〃	多家良分団渋野班	〃
〃	徳消飯谷 9 2	〃	〃	多家良分団飯谷班	〃
〃	徳消延命 9 3	〃	〃	多家良分団延命班	〃

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (携帯型)	徳消東 1 0 1	1 W	活動波1・2・3 統制波1・2・3 主運用波1～7	東 1 号車	
〃	徳消東 1 0 2	〃	〃	東 2 号車	
〃	徳消東 1 0 3	〃	〃	東 3 号車	
〃	徳消東 1 0 4	〃	〃	東 4 号車	
〃	徳消東 1 0 5	〃	〃	東はしご車	
〃	徳消東 1 0 6	〃	〃	東大型水槽車	
〃	徳消東 1 0 7	〃	〃	東救助工作車	
〃	徳消東 1 0 8	〃	〃	東支援車	
〃	徳消東 1 1 0	〃	〃	東資機材搬送 2 号車	
〃	徳消東 1 1 1	〃	〃	東救命艇「さくら」	
〃	徳消東 1 1 7	〃	〃	東指揮車	
〃	徳消東 1 1 8	〃	〃	東資機材搬送 3 号車	
〃	徳消川内 1 2 1	〃	〃	川内ポンプ車	
〃	徳消勝占 1 2 2	〃	〃	勝占ポンプ車	
〃	徳消津田 1 2 3	〃	〃	津田ポンプ車	
〃	徳消東 1 3 0	〃	〃	東消防署	
〃	徳消東 1 3 1	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 2	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 3	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 4	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 5	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 6	〃	〃	〃	
〃	徳消東 1 3 7	〃	〃	〃	
〃	徳急東 1 3 9	〃	〃	東救急 3 号車	
〃	徳消川内 1 4 0	〃	〃	川内分署	
〃	徳消川内 1 4 1	〃	〃	〃	
〃	徳消勝占 1 4 2	〃	〃	勝占分署	
〃	徳消勝占 1 4 3	〃	〃	〃	
〃	徳消津田 1 4 4	〃	〃	津田出張所	
〃	徳救東 1 5 1	〃	〃	東救急 1 号車	
〃	徳救東 1 5 2	〃	〃	東救急 2 号車	
〃	徳救川内 1 5 4	〃	〃	川内救急車	
〃	徳救勝占 1 5 6	〃	〃	勝占救急車	
〃	徳救津田 1 5 7	〃	〃	津田救急車	
〃	徳消西 2 3 2	〃	〃	西 2 号車	
〃	徳消西 2 3 3	〃	〃	西 3 号車	
〃	徳消西 2 3 4	〃	〃	西スノーケル車	
〃	徳消西 2 3 5	〃	〃	西救助工作車	
〃	徳消西 2 3 7	〃	〃	西資機材搬送 2 号車	
〃	徳消国府 2 4 5	〃	〃	国府ポンプ車	
〃	徳消西 2 5 0	〃	〃	西消防署	
〃	徳消西 2 5 1	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 2	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 3	〃	〃	〃	

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (携帯用)	徳消西 2 5 4	1 W	活動波1・2・3 統制波1・2・3 主運用波1～7	西消防署	
〃	徳消西 2 5 5	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 6	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 7	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 8	〃	〃	〃	
〃	徳消西 2 5 9	〃	〃	〃	
〃	徳消国府 2 6 0	〃	〃	国府出張所	
〃	徳救西 2 6 1	〃	〃	西救急 1 号車	
〃	徳救西 2 6 2	〃	〃	西救急 2 号車	
〃	徳救国府 2 6 3	〃	〃	国府救急車	
〃	徳消指揮 3 0 0	〃	〃	指揮隊	
〃	徳消指揮 3 0 1	〃	〃	〃	
〃	徳消指揮 3 0 2	〃	〃	〃	
〃	徳消指揮 3 0 3	〃	〃	〃	
〃	徳消指揮 3 0 4	〃	〃	〃	
〃	徳消指揮 3 0 5	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 0 6	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 0 7	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 0 8	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 1 1	〃	〃	通信指令課	
〃	徳消局 3 1 2	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 1 3	〃	〃	〃	
〃	徳消局 3 1 4	〃	〃	〃	
〃	徳消渭北 4 7 0	〃	活動波1・2 統制波1・2・3 主運用波1～7	渭北分団	
〃	徳消渭東 4 7 1	〃	〃	渭東分団	
〃	徳消沖洲 4 7 2	〃	〃	沖洲分団	
〃	徳消津田 4 7 3	〃	〃	津田分団	
〃	徳消東富田 4 7 4	〃	〃	東富田分団	
〃	徳消応神 4 7 5	〃	〃	応神分団	
〃	徳消八万 4 7 6	〃	〃	八万分団	
〃	徳消多家良 4 7 7	〃	〃	多家良分団	
〃	徳消川内 4 7 8	〃	〃	川内分団	
〃	徳消国府 4 7 9	〃	〃	国府分団	
〃	徳消上八万 4 8 0	〃	〃	上八万分団	
〃	徳消佐古 4 8 1	〃	〃	佐古分団	
〃	徳消加茂 4 8 2	〃	〃	加茂分団	
〃	徳消加茂名 4 8 3	〃	〃	加茂名分団	
〃	徳消入田 4 8 4	〃	〃	入田分団	
〃	徳消不動 4 8 5	〃	〃	不動分団	
〃	徳消昭和 4 8 6	〃	〃	昭和分団	
〃	徳消西富田 4 8 7	〃	〃	西富田分団	
〃	徳消勝占 4 8 8	〃	〃	勝占分団	
〃	徳消東部 4 8 9	〃	〃	勝占分団東部班	
〃	徳消長谷 4 9 0	〃	〃	八万分団長谷班	
〃	徳消渋野 4 9 1	〃	〃	多家良分団渋野班	
〃	徳消飯谷 4 9 2	〃	〃	多家良分団飯谷班	
〃	徳消延命 4 9 3	〃	〃	国府分団延命班	

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (携帯用)	徳消東 5 0 1	1 W	1 CH・2 CH	東 1 号車	署活系(アナログ)
〃	徳消東 5 0 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 0 3	〃	〃	東 2 号車	〃
〃	徳消東 5 0 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 0 5	〃	〃	東 3 号車	〃
〃	徳消東 5 0 6	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 0 7	〃	〃	東 4 号車	〃
〃	徳消東 5 0 9	〃	〃	東はしご車	〃
〃	徳消東 5 1 0	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 1 1	〃	〃	東救助工作車	〃
〃	徳消東 5 1 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 1 3	〃	〃	東大型水槽車	〃
〃	徳消東 5 1 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳救東 5 1 6	〃	〃	東救急 1 号車	〃
〃	徳救東 5 1 7	〃	〃	東救急 2 号車	〃
〃	徳救東 5 1 8	〃	〃	東救急 3 号車	〃
〃	徳消東 5 1 9	〃	〃	東資機材搬送 3 号車	〃
〃	徳消東 5 2 0	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 2 1	〃	〃	東救命艇「さくら」	〃
〃	徳消東 5 3 0	〃	〃	東消防署	〃
〃	徳消東 5 3 1	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 3	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 5	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 6	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東 5 3 7	〃	〃	〃	〃
〃	徳消川内 5 4 0	〃	〃	川内分署	〃
〃	徳救川内 5 4 1	〃	〃	川内救急車	〃
〃	徳消勝占 5 4 2	〃	〃	勝占分署	〃
〃	徳救勝占 5 4 3	〃	〃	勝占救急車	〃
〃	徳救津田 5 4 4	〃	〃	津田救急車	〃
〃	徳消川内 5 5 0	〃	〃	川内化学車	〃
〃	徳消川内 5 5 2	〃	〃	川内ポンプ車	〃
〃	徳消川内 5 5 3	〃	〃	〃	〃
〃	徳消勝占 5 5 4	〃	〃	勝占ポンプ車	〃
〃	徳消勝占 5 5 5	〃	〃	〃	〃
〃	徳消津田 5 5 6	〃	〃	津田ポンプ車	〃
〃	徳消津田 5 5 7	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 0 1	〃	〃	西 1 号車	〃
〃	徳消西 6 0 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 0 3	〃	〃	西 2 号車	〃
〃	徳消西 6 0 4	〃	〃	〃	〃

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (携帯用)	徳消西 6 0 5	1 W	1 CH・2 CH	西 3 号車	署活系(アナログ)
〃	徳消西 6 0 6	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 0 7	〃	〃	西スノーケル車	〃
〃	徳消西 6 0 8	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 0 9	〃	〃	西救助工作車	〃
〃	徳消西 6 1 0	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 1 4	〃	〃	西資機材搬送 2 号車	〃
〃	徳救西 6 1 5	〃	〃	西救急 1 号車	〃
〃	徳救西 6 1 6	〃	〃	西救急 2 号車	〃
〃	徳消西 6 5 0	〃	〃	西消防署	〃
〃	徳消西 6 5 1	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 3	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 5	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 6	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 7	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 8	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西 6 5 9	〃	〃	〃	〃
〃	徳消国府 6 2 0	〃	〃	国府ポンプ車	〃
〃	徳消国府 6 2 1	〃	〃	〃	〃
〃	徳救国府 6 6 0	〃	〃	国府救急車	〃
〃	徳消指揮 9 5 1	〃	〃	指揮隊	〃
〃	徳消指揮 9 5 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消指揮 9 5 3	〃	〃	〃	〃
〃	徳消指揮 9 5 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳消指揮 9 5 5	〃	〃	〃	〃
〃	徳消指揮 9 5 6	〃	〃	〃	〃
〃	徳消局 9 6 1	〃	〃	通信指令課	〃
〃	徳消局 9 6 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消局 9 6 3	〃	〃	〃	〃
〃	徳消局 9 6 4	〃	〃	〃	〃
〃	徳消局 9 6 5	〃	〃	〃	〃
〃	徳消渭北 7 0 1	〃	〃	渭北分団	〃
〃	徳消渭北 7 0 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消渭東 7 1 1	〃	〃	渭東分団	〃
〃	徳消渭東 7 1 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消沖洲 7 2 1	〃	〃	沖洲分団	〃
〃	徳消沖洲 7 2 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消津田 7 3 1	〃	〃	津田分団	〃
〃	徳消津田 7 3 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東富田 7 4 1	〃	〃	東富田分団	〃
〃	徳消東富田 7 4 2	〃	〃	〃	〃

局 種	呼出呼称	出 力	無 線 種 別	設 置 状 況 等	備 考
陸上移動局 (携帯用)	徳消応神 7 5 1	1 W	1 CH ・ 2 CH	応神分団	署活系(アナログ)
〃	徳消応神 7 5 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消八万 7 6 1	〃	〃	八万分団	〃
〃	徳消八万 7 6 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消多家良 7 7 1	〃	〃	多家良分団	〃
〃	徳消多家良 7 7 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消川内 7 8 1	〃	〃	川内分団	〃
〃	徳消川内 7 8 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消国府 7 9 1	〃	〃	国府分団	〃
〃	徳消国府 7 9 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消上八万 8 0 1	〃	〃	上八万分団	〃
〃	徳消上八万 8 0 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消佐古 8 1 1	〃	〃	佐古分団	〃
〃	徳消佐古 8 1 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消加茂 8 2 1	〃	〃	加茂分団	〃
〃	徳消加茂 8 2 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消加茂名 8 3 1	〃	〃	加茂名分団	〃
〃	徳消加茂名 8 3 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消入田 8 4 1	〃	〃	入田分団	〃
〃	徳消入田 8 4 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消不動 8 5 1	〃	〃	不動分団	〃
〃	徳消不動 8 5 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消昭和 8 6 1	〃	〃	昭和分団	〃
〃	徳消昭和 8 6 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消西富田 8 7 1	〃	〃	西富田分団	〃
〃	徳消西富田 8 7 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消勝占 8 8 1	〃	〃	勝占分団	〃
〃	徳消勝占 8 8 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消東部 8 9 1	〃	〃	勝占分団東部班	〃
〃	徳消東部 8 9 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消長谷 9 0 1	〃	〃	八万分団長谷班	〃
〃	徳消長谷 9 0 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消渋野 9 1 1	〃	〃	多家良分団渋野班	〃
〃	徳消渋野 9 1 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消飯谷 9 2 1	〃	〃	多家良分団飯谷班	〃
〃	徳消飯谷 9 2 2	〃	〃	〃	〃
〃	徳消延命 9 3 1	〃	〃	国府分団延命班	〃
〃	徳消延命 9 3 2	〃	〃	〃	〃

陸上移動局計	卓 上 用	1 1 局
	車 載 用	7 3 局
	携 帯 用	9 1 局
	携 帯 用 (署 活 動)	1 2 4 局

6 通信・指令状況

令和4年 119番着信件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別	19,095	1,502	1,410	1,443	1,400	1,519	1,533	1,677	1,994	1,587	1,540	1,525	1,965
一日平均	52.3	48.5	50.4	46.5	46.7	49.0	51.1	54.1	64.3	52.9	49.7	50.8	63.4

令和4年 月別各種指令件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計	14,322	1,150	1,070	1,069	1,030	1,095	1,121	1,244	1,550	1,181	1,153	1,136	1,523
火災	77	6	7	4	6	4	9	8	6	7	5	9	6
救急	13,793	1,111	1,035	1,027	996	1,050	1,072	1,193	1,505	1,119	1,113	1,096	1,476
救助	95	7	11	7	6	11	12	11	3	4	6	6	11
警戒・調査等	357	26	17	31	22	30	28	32	36	51	29	25	30
一日平均	39.2	37.1	38.2	34.5	34.3	35.3	37.4	40.1	50.0	39.4	37.2	37.9	49.1

令和4年 火災テレドーム着信件数

区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	107,434	8,440	8,429	9,614	9,163	8,839	12,203	7,145	6,819	6,813	9,135	11,287	9,547
一日平均	294.3	272.3	301.0	310.1	305.4	285.1	406.8	230.5	220.0	227.1	294.7	376.2	308.0

7 同 報 無 線 設 備

設備の概要

デジタル式 60MHz 帯の電波を使用する防災行政無線（同報系）

- ・統制台 1 消防局通信指令課（親局 市役所14階機械室）
- ・遠隔制御装置 1 市役所南館5階会議室（災害対策本部）
- ・中継局 1 西消防署
- ・再送信子局 1 東消防署川内分署
- ・屋外拡声子局 48 次のとおり

（令和5年4月1日現在）

番 号	設 置 場 所
1	川内町富久88番地先 日枝神社
2	川内町松岡19番地の2 川内分団詰所
3	川内町旭野 小松海岸公園
4	福島二丁目4番24号 渭東コミュニティセンター
5	北常三島町3丁目41番地の1 徳島大学総合運動場
6	北沖洲一丁目15番60号 市立高等学校
7	北沖洲三丁目4番7号 沖洲コミュニティセンター
8	南末広町2番地 徳島港公園
9	南沖洲五丁目6番先 沖洲公園
10	東沖洲一丁目14番地の2 北部浄化センター
11	津田町三丁目7番7号 津田松原団地
12	津田町四丁目5番55号 津田コミュニティセンター
13	津田海岸町3番地の18地先 (株)KKKカキハラ南
14	論田町中開43番地の1 東部環境事業所
15	大原町大神子 大神子公園
16	大原町小神子73番地先 小神子山
17	川内町大松517番地の2 東消防署川内分署
18	川内町沖島260番地 川内公民館
19	応神町古川字戎子野7番地 四国大学日ノ上運動場
20	中央通4丁目18番地 東富田コミュニティセンター

番 号	設 置 場 所
21	中昭和町3丁目77番地 富田中学校
22	山城町東浜傍示1番地の1 アスティとくしま
23	雑賀町西開11番地の2 県立工業技術試験センター
24	北前川町2丁目7番地の3 渭北コミュニティセンター
25	南田宮二丁目116番2号 田宮公園
26	北田宮四丁目6番60号 加茂コミュニティセンター
27	不動本町2丁目178番地の1 不動コミュニティセンター
28	国府町北岩延字桑添18番地の1 西部環境事業所
29	国府町府中59番地の4 国府コミュニティセンター
30	国府町日開944番地の1 南井上コミュニティセンター
31	国府町西黒田字南傍示202番地 北井上中学校
32	応神町吉成字西吉成91番地の5 応神コミュニティセンター
33	幸町2丁目5番地 徳島市役所
34	庄町1丁目76番地の3 西消防署
35	八万町法花187番地の1 八万コミュニティセンター
36	八万町向寺山 文化の森総合公園
37	西須賀町下中須29番地の7 東消防署勝占分署
38	勝占町下河原39番地の10 勝占分団詰所
39	大原町中須17番地の2 勝占東部コミュニティセンター
40	丈六町八万免14番地 丈六コミュニティセンター
41	多家良町小路地10番地 多家良中央コミュニティセンター
42	上八万町樋口61番地 上八万コミュニティセンター
43	一宮町東丁234番地の2 一宮コミュニティセンター
44	弓町1丁目17番地 西富田コミュニティセンター
45	佐古四番町7番1号 佐古コミュニティセンター
46	庄町5丁目48番地の5 加茂名コミュニティセンター
47	八万町内浜80番地の14 八万中央コミュニティセンター
48	入田町春日121番地の1 入田コミュニティセンター

予 防

1 主たる予防行事

令和 4 年

5月15日～7月16日	火災調査特異事例等研修（前期）
5月27日	徳島市婦人防火クラブ連合会総会（書面）
6月5日～11日	危険物安全週間
6月23・24日	自衛消防業務新規講習会（第1回）
6月29・30日	自衛消防業務新規講習会（第2回）
7月21日	自衛消防業務再講習会（第1回）
8月1日～8月10日	阿波おどり特別立入検査
9月27日	徳島県消防長会消防法令違反是正事例研究会（書面）
9月30日	徳島県消防長会予防主管課長会議（書面）
9月30日	徳島県消防長会違反是正推進連絡会（書面）
9月30日	徳島県消防長会住宅用火災警報器設置対策連絡会（書面）
11月1日～30日	移動タンク貯蔵所等の立入検査
11月1日～30日	灯油販売店等の一斉調査
11月9～15日	秋季火災予防運動
11月14・21日	危険物輸送車両の路上検査
11月～2月	空地の枯れ草指導
11月29日	自衛消防業務再講習会（第2回）
11月30日・12月7日	徳島市婦人防火クラブ連合会救急講習会
12月12日～19日	年末特別立入検査
12月19日・20日	自衛消防業務新規講習会（第3回）
12月22日	徳島市婦人防火クラブ連合会年末研修会

令和 5 年

1月23日～27日	文化財防火デーに伴う特別立入検査
2月17日	全国消防長会四国支部違反是正推進連絡会 住宅用火災警報器設置・維持管理対策連絡会
2月24日	第6回徳島県消防長会火災調査研究会
3月1日～7日	春季火災予防運動
3月4日	とくしま消防・防災フェスティバル

2 用途別防火対象物及び事業所数

(令和5年4月1日現在)

用 途 別			防 火 対 象 物 棟 数	事業所数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	8	7
	ロ	公会堂又は集会場	69	66
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	1	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	21	21
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	4	4
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	7	7
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	9	9
	ロ	飲食店	266	266
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	474	458
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	90	86
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3,371	2,775
6	イ	病院、診療所又は助産所	286	256
	ロ	老人短期入所施設等	110	100
	ハ	老人デイサービスセンター等	218	197
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	49	29
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、各種学校その他これらに類するもの	360	100
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	9	7
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	7	7
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	9	9
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	7	7
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	170	147
12	イ	工場又は作業場	935	693
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0	0
13	イ	自動車車庫又は駐車場	175	144
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0
14		倉庫	876	614
15		前各項に該当しない事業所	1,502	1,262
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	1,562	1,525
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	935	912
16の2		地下街	0	0
16の3		準地下街	0	0
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等の建造物	8	5
18		延長50メートル以上のアーケード	13	9
19		市町村長の指定する山林	0	0
20		自治省令で定める舟車（省令5条）	0	0
計			11,551	9,723

3 中高層防火対象物用途別棟数

(令和5年4月1日現在)

用途別			階層																	
			計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
1	イ	劇場、映画館、観覧場	0																	
	ロ	公会堂、集会場	7	5	1	1														
2	イ	キャバレー、カフェー等	0																	
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	2	2															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	1				1													
	ニ	カラオケボックス等	2		1		1													
3	イ	待合、料理店等	3	2	1															
	ロ	飲食店	59	23	17	13	4	2												
4		百貨店、マーケット、展示場等	24	14	9		1													
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	51	8	9	13	6	2	7	1	2	1		2						
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,136	623	186	77	55	46	27	45	16	15	11	16	19					
6	イ	病院、診療所、助産所	95	39	29	14	6	2	2	1	1	1								
	ロ	老人短期入所施設等	21	10	6	3	1			1										
	ハ	老人デイサービスセンター等	12	7		4	1													
	ニ	幼稚園、特別支援学校等	1	1																
7		小学校、中学校等	85	35	25	7	5	3	3	1	5	1								
8		図書館、博物館等	2	2																
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	6	4	2															
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	0																	
10		車両の停車場等	2	2																
11		神社、寺院、教会	6	4		1	1													
12	イ	工場、作業場	38	25	11	2														
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0																	
13	イ	自動車車庫、駐車場	11	5	2	2	2													
	ロ	飛行機等の格納庫	0																	
14		倉庫	22	18	4															
15		前各項に該当しない事業所	231	105	51	34	15	12	8	2	1	2		1						
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	619	309	192	66	27	6	10	5	2	1						1		
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	306	190	57	25	12	9	6	3	1	2	1							
16の2		地下街	0																	
16の3		準地下街	0																	
17		重要文化財等	0																	
18		延長50メートル以上のアーケード	0																	
19		市町村長の指定する山林	0																	
20		自治省令で定める舟車（省令5条）	0																	
計			2,744	1,433	605	262	138	82	63	59	28	23	12	19	19	0	0	1		

4 防火管理実施状況

(1) 甲種防火対象物

(令和5年4月1日現在)

用途別		防火管理 実施義務 対象物数	防火管理者を選任している		消防計画を作成している	
			防火対象 物 数	選任率	防火対象 物 数	作成率
1	イ 劇場、映画館、観覧場	6	6	100%	6	100%
	ロ 公会堂、集会場	43	40	93%	37	86%
2	イ キャバレー、カフェー等	0				
	ロ 遊技場、ダンスホール	17	17	100%	16	94%
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0				
	ニ カラオケボックス等	5	5	100%	5	100%
3	イ 待合、料理店等	9	7	78%	7	78%
	ロ 飲食店	107	74	69%	60	56%
4	百貨店、マーケット、展示場等	233	201	86%	193	83%
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	70	65	93%	63	90%
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	491	372	76%	344	70%
6	イ 病院、診療所、助産所	93	89	96%	86	92%
	ロ 老人短期入所施設等	96	92	96%	90	94%
	ハ 老人デイサービスセンター等	99	99	100%	97	98%
	ニ 幼稚園、特別支援学校等	20	20	100%	18	90%
7	小学校、中学校等	84	83	99%	83	99%
8	図書館、博物館等	4	4	100%	4	100%
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	4	3	75%	3	75%
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	5	100%	5	100%
10	車両の停車場等	0	0	0%	0	0%
11	神社、寺院、教会	35	32	91%	29	83%
12	イ 工場、作業場	35	34	97%	32	91%
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0				
13	イ 自動車車庫、駐車場	0				
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0				
14	倉庫	13	13	100%	12	92%
15	前各項に該当しない事業所	232	210	91%	199	86%
16	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	517	408	79%	350	68%
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	63	54	86%	43	68%
16の2	地下街	0				
16の3	準地下街	0				
17	重要文化財等	1	1	100%	1	100%
18	延長50メートル以上のアーケード	0				
19	市町村長の指定する山林	0				
20	自治省令で定める舟車（省令5条）	0				
計		2,282	1,934	85%	1,783	78%

(2) 乙種防火対象物

(令和5年4月1日現在)

用途別		防火管理 実施義務 対象物数	防火管理者を選任している		消防計画を作成している	
			防火対象 物数	選任率	防火対象 物数	作成率
1	イ 劇場、映画館、観覧場	0				
	ロ 公会堂、集会場	49	35	71%	30	61%
2	イ キャバレー、カフェー等	1	1	100%	0	0%
	ロ 遊技場、ダンスホール	0				
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	2	0	0%	0	0%
	ニ カラオケボックス等	0				
3	イ 待合、料理店等	1	1	100%	1	100%
	ロ 飲食店	168	109	65%	98	58%
4	百貨店、マーケット、展示場等	83	51	61%	44	53%
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	0				
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	3	3	100%	3	100%
6	イ 病院、診療所、助産所	5	4	80%	4	80%
	ロ 老人福祉施設、 児童福祉施設等	0				
	ハ 老人デイサービスセンター等	30	29	97%	29	97%
	ニ 幼稚園、特別支援学校等	0	0	0%	0	0%
7	小学校、中学校等	3	2	67%	1	33%
8	図書館、博物館等	0				
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場	0	0	0%	0	0%
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	0				
10	車両の停車場等	0				
11	神社、寺院、教会	10	7	70%	8	80%
12	イ 工場、作業場	2	2	100%	2	100%
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ	0				
13	イ 自動車車庫、駐車場	1	1	100%	1	100%
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0				
14	倉庫	5	5	100%	3	60%
15	前各項に該当しない事業所	54	40	74%	38	70%
16	イ 特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	60	36	60%	34	57%
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	9	7	78%	6	67%
16の2	地下街	0				
16の3	準地下街	0				
17	重要文化財等	0	0	0%	0	0%
18	延長50メートル以上のアーケード	0				
19	市町村長の指定する山林	0				
20	自治省令で定める舟車（省令5条）	0				
計		486	333	69%	302	62%

5 各種届出等処理状況

(令和4年度)

届 出 等 種 別	件 数
防火管理者選任届出	512
防火管理者解任届出	494
防災管理者選任届出	9
防災管理者解任届出	10
防火に係る消防計画作成変更届出	655
防災に係る消防計画作成変更届出	19
統括防火管理者選任届出	7
統括防火管理者解任届出	7
統括防災管理者選任届出	0
統括防災管理者解任届出	0
全体についての防火管理に係る消防計画作成変更届出	12
全体についての防災管理に係る消防計画作成変更届出	2
防火防災訓練計画届出書	1,068
自衛消防組織設置届出書	12
消防用設備等着工届出	212
消防用設備等設置届出	571
消防用設備等検査証明書交付	47
消防用設備等点検結果報告書	3,274
防火対象物使用開始届	171
防火対象物点検結果報告	137
防火対象物点検報告特例認定申請	40
表示マーク交付（更新）申請（銀）	2
表示マーク交付（更新）申請（金）	0
表示マーク受領書（銀）	0
表示マーク受領書（金）	0
表示制度対象外施設申請書	0
消防用設備等検査済証交付	42
防災管理対象物点検結果報告	15
防災管理対象物点検結果報告特例認定申請	7
旅館等の法令適合通知書交付申請	8
炉、かまど、ボイラー等設置届出	59
変電、発電、蓄電池設置届出	84
ネオン管灯設備設置届出	0
少量危険物貯蔵及び取扱届出	35
圧縮アセチレン等貯蔵取扱届出	51
喫煙・裸火・危険物品持込承認申請	31
煙火消費届出	25
被災証明書交付申請	25
火災とまぎらわしい行為の届出	133
劇場等以外での催し物の開催届出	6
火災予防上必要な業務に関する計画提出書	2
計	7,784

6 用途別建築同意状況

(令和4年度)

用途別		月 別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1	イ	劇場、映画館、観覧場	12		2		8								2
	ロ	公会堂、集会場	1								1				
2	イ	キャバレー、カフェー等	0												
	ロ	遊技場、ダンスホール	0												
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0												
	ニ	カラオケボックス等	0												
3	イ	待合、料理店等	0												
	ロ	飲食店	4								1	1		1	1
4		百貨店、マーケット、展示場等	22	3	3	1		1	2	2		3	1	2	4
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	0												
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	24	2	3	1	2	2	1	3		2	3	4	1
6	イ	病院、診療所、助産所	15	2	3		1	1		1	2	1	1	2	1
	ロ	老人短期入所施設等	2			1									1
	ハ	老人デイサービスセンター等	9					1	3	1	2	1			1
	ニ	幼稚園、特別支援学校等	1									1			
7		小学校、中学校等	1		1										
8		図書館、博物館等	0												
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	0												
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	0												
10		車両の停車場等	0												
11		神社、寺院、教会	2		1		1								
12	イ	工場、作業場	16	1	4	3	1	1	1	1	1	1	2		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0												
13	イ	自動車車庫、駐車場	9							1			6	2	
	ロ	飛行機等の格納庫	0												
14		倉庫	16	1		3		2	1	1	3	1	1		3
15		前各項に該当しない事業所	32	1	6	3	2	4	3	2	5	1	3		2
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	8	1		1		2			1		2		1
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3					2				1			
16の2		地下街	0												
16の3		準地下街	0												
17		重要文化財等	0												
18		延長50メートル以上のアーケード	0												
		工作物	3			1						2			
		住宅等	60	2	7	6	3	4	7	4	3	4	7	7	6
計			240	13	30	20	18	20	18	16	19	19	26	18	23

7 種類別建築同意状況

(令和4年度)

区分 月別	計	設 備 指 導		申請等の種別		
		有	無	建築確認	計画通知	建築許可
4 月	14	11	3	12	0	2
5 月	30	9	21	26	2	2
6 月	20	4	16	18	2	0
7 月	17	2	15	13	0	4
8 月	20	8	12	18	2	0
9 月	18	3	15	16	2	0
10月	16	5	11	15	0	1
11月	18	5	13	16	0	2
12月	19	7	12	17	2	0
1 月	22	6	16	19	1	2
2 月	16	5	11	16	0	0
3 月	23	7	16	20	1	2
合計	233	72	161	206	12	15

8 月別建築同意処理状況

(令和4年度)

区分 月別	計	新 築	増 築	改 築	移 転	修 繕	模様替	用 変 途 更	その他
4 月	14	13	1						
5 月	30	19	11						
6 月	20	16	2	1				1	
7 月	17	16	1						
8 月	20	16	3					1	
9 月	18	16	2						
10月	16	12	4						
11月	18	12	6						
12月	19	13	6						
1 月	22	17	5						
2 月	16	15	1						
3 月	23	17	6						
合 計	233	182	48	1	0	0	0	2	0

9 防火対象物立入検査状況

(令和4年度)

用 途 別			件 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	6
	ロ	公会堂又は集会場	67
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	7
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	5
	ロ	飲食店	70
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	150
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	49
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	1183
6	イ	病院、診療所、助産所	75
	ロ	老人短期入所施設等	46
	ハ	老人デイサービスセンター等	90
	ニ	幼稚園又は特別支援学校等	13
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、各種学校その他これらに類するもの	63
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	4
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	55
12	イ	工場又は作業場	228
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	0
13	イ	自動車車庫又は駐車場	28
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0
14		倉庫	172
15		前各項に該当しない事業所	350
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	298
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	155
17		重要文化財、重要民俗資料、史跡等の建造物	6
18		延長50メートル以上のアーケード	15
19		市町村長の指定する山林	0
20		自治省令で定める舟車（省令5条）	0
計			3,141

10 住宅防火訪問・住宅防火診断実施件数

(令和4年度)

署 別	訪問世帯数（うち在宅件数）		診 断 数	そ の 他 の 診 断 数	診 断 数 合 計
東 署	563	(253)	140	0	140
西 署	248	(145)	110	0	110
計	811	(398)	250	0	250

11 防災指導等月別実施状況

(令和4年度)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
指導別	回数	0	0	0	0	0	1	1	5	1	0	0	0	8
	人員	0	0	0	0	0	70	706	219	237	0	0	0	1,232
訓 練 指 導	回数	2	14	10	12	4	4	7	28	8	3	8	15	115
	人員	154	2,162	571	538	135	458	431	2,269	471	367	299	622	8,477
移 動 消 防 署	回数	0	0	0	0	0	3	4	7	2	3	0	0	19
	人員	0	0	0	0	0	391	313	1,087	280	242	0	0	2,313
施 設 見 学	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	回数	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	5
	人員	74	0	0	0	1,100	0	0	291	0	0	0	0	1,465
計	回数	4	14	10	12	5	8	12	42	11	6	8	15	147
	人員	228	2,162	571	538	1,235	919	1,450	3,866	988	609	299	622	13,487

※ 自主防災組織が実施したものを除く。

1 2 主な講習会等実施状況

(令和4年度)

種 別	概 要	回 数	参加人員
自 衛 消 防 業 務 新 規 講 習	「自衛消防組織の業務に関する講習の実施細目を定める件」(平成20年消防庁告示第16号)に基づく自衛消防業務新規講習及び再講習を実施し、自衛消防組織の統括管理者及び本部隊の班長を育成し、自衛消防組織の充実を図った。	新規講習 3 再 講 習 2	新規講習 58 再 講 習 36
危 険 物 取 扱 者 研 修 会	危険物取扱者を対象に危険物災害の未然防止を図るとともに、危険物に対する知識の向上及び自主保安体制の充実を図ることを目的としているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面での研修会は中止とし、YouTubeを用いたWeb研修会とした。	1	281
徳島市婦人防火クラブ 連 合 会 指 導 者 研 修 会 ・ 年 末 研 修 会	婦人防火クラブの指導者を対象に、指導者としての知識の習得及び相互間の親睦を深めることを目的としているが、上半期については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。下半期については、規模を縮小し、感染対策を徹底したうえで実施した。	指導者研修会 0 年末研修会 1	指導者研修会 0 年末研修会 27
外 国 人 防 火 防 災 研 修 会	日本の生活様式に不慣れな在日外国人に対し、初期消火、通報、避難訓練並びに火気管理等について指導を行い、防火・防災意識の普及啓発を図った。	11	172
計		18	574

13 防火クラブ等結成状況

【幼年消防クラブ】

(令和5年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組 織 単 位	地 区
生光学園幼稚園幼年消防クラブ	昭和56年12月11日	44	幼稚園	応 神
白うめ幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年7月11日	153	〃	国 府
大原認定こども園ちびっこ消防隊	平成28年4月1日	37	保育園	勝 占
若松保育園幼年消防クラブ	昭和63年2月22日	200	〃	加 茂 名
わかくさ幼稚園こども消防隊	平成1年11月13日	101	〃	津 田
四国大学附属認定こども園幼年消防クラブ	平成28年4月1日	164	〃	応 神
徳島文理大学附属幼稚園幼年消防クラブ	平成4年11月12日	87	〃	八 万
徳島市立入田幼稚園幼年消防クラブ	平成9年10月30日	3	〃	入 田
小 計 8 ク ラ ブ		789		

【休会中の幼年消防クラブ】

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組 織 単 位	地 区
しらさぎ台幼年消防クラブ	昭和56年10月24日	-	地 域	上 八 万
信愛幼稚園ちびっこ消防隊	昭和63年2月24日	-	幼稚園	内 町

【少年消防クラブ】

(令和5年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組 織 単 位	地 区
しらさぎ台少年消防クラブ	昭和56年10月24日	119	地 域	上 八 万
西須賀少年消防クラブ	昭和56年11月28日	28	〃	勝 占
常楽園少年消防クラブ	昭和57年6月26日	25	学 園	国 府
阿波国慈恵院少年消防クラブ	平成21年11月9日	11	施 設	渭 東
徳島児童ホーム少年消防クラブ	平成29年5月1日	7	施 設	川 内
小 計 5 ク ラ ブ		190		

【休会中の少年消防クラブ】

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組 織 単 位	地 区
八万南小学校少年消防クラブ	昭和53年5月1日	-	学 校	八 万
渭北少年消防クラブ	昭和60年4月13日	-	地 域	渭 北
生光学園少年消防隊	昭和63年11月28日	-	学 校	応 神
加茂名小学校少年消防クラブ	昭和52年9月1日	-	学 校	加 茂 名

【婦人防火クラブ】

(令和5年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	地 区
一 宮 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 41 年 11 月 1 日	18	地 域	上 八 万
加 茂 名 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 54 年 8 月 1 日	19	〃	加 茂 名
西 富 田 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 54 年 8 月 25 日	30	〃	西 富 田
南 井 上 女 性 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 55 年 4 月 12 日	80	〃	南 井 上
沖 洲 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 55 年 6 月 3 日	100	〃	沖 洲
渭 東 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 55 年 7 月 10 日	30	〃	渭 東
飯 谷 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 55 年 11 月 29 日	6	〃	多 家 良
北 井 上 婦 人 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 56 年 2 月 21 日	10	〃	北 井 上
入 田 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 56 年 2 月 28 日	95	〃	入 田
川 内 町 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 56 年 3 月 7 日	110	〃	川 内
応 神 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 56 年 10 月 25 日	180	〃	応 神
一 宮 ・ 下 町 婦 人 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 56 年 12 月 5 日	84	〃	上 八 万
佐 古 婦 人 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 57 年 7 月 1 日	321	〃	佐 古
渭 北 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 57 年 10 月 10 日	100	〃	渭 北
東 富 田 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 57 年 11 月 29 日	160	〃	東 富 田
加 茂 婦 人 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 58 年 7 月 15 日	50	〃	加 茂
上 八 万 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 58 年 7 月 21 日	4	〃	上 八 万
丈 六 女 性 防 火 ク ラ ブ	昭 和 58 年 12 月 2 日	9	〃	多 家 良
不 動 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 59 年 6 月 2 日	60	〃	不 動
勝 占 東 部 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 59 年 7 月 28 日	24	〃	勝 占
八 万 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 61 年 1 月 5 日	110	〃	八 万
昭 和 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 63 年 3 月 12 日	140	〃	昭 和
内 町 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 63 年 11 月 24 日	20	〃	内 町
多 家 良 婦 人 防 火 ク ラ ブ	平 成 7 年 7 月 28 日	26	〃	多 家 良
津田新浜地区自主防災会女性部防火クラブ	令 和 元 年 7 月 2 2 日	13	〃	津 田
小 計 2 5 ク ラ ブ		1,799		

【休会中の婦人防火クラブ】

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	地 区
籠 屋 町 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 57 年 3 月 12 日	－	地 域	新 町
国 府 婦 人 会 防 火 ク ラ ブ	昭 和 59 年 5 月 7 日	－	〃	国 府
渋 野 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 59 年 6 月 23 日	－	〃	多 家 良
八 多 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 60 年 6 月 25 日	－	〃	多 家 良
津 田 婦 人 防 火 ク ラ ブ	昭 和 61 年 7 月 12 日	－	〃	津 田
勝 占 地 区 婦 人 防 火 ク ラ ブ	平 成 3 年 11 月 9 日	－	〃	勝 占

1 4 危険物施設数（完成検査済証交付施設）

（令和5年4月1日現在）

製造所等の区分 年度別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所															取 扱 所											
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	※ 特 定	※ 平 屋 建 以 外	※ 建 築 物 内 設 置	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	※ 準 特 定	※ 特 定	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	※ み な し 地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	※ み な し 屋 外 貯 蔵 所	小 計	給油取扱所					販 売		移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
																			営 業 用	※ セ ル フ	自 家 用	船 舶	鉄 道	取扱所				第 一 種	第 二 種
																								第 一 種	第 二 種				
29	773	16	520	131	34	0	3	135	0	0	28	135	2	3	50	38	2	237	68	28	50	6	1	9	2	0	101		
30	753	15	506	125	34	0	3	135	0	0	28	132	2	3	46	37	2	232	67	27	48	6	1	9	2	0	99		
31(1)	745	15	501	124	33	0	3	134	0	0	29	127	2	3	47	37	2	229	67	27	48	6	1	9	2	0	96		
2	737	15	495	123	33	0	3	133	0	0	28	123	2	3	48	37	2	227	66	27	48	6	1	9	2	0	95		
3	723	14	486	122	33	0	4	130	0	0	28	120	2	3	46	37	2	223	66	28	47	5	1	9	2	0	93		
4	729	14	490	125	34	0	4	127	0	0	27	122	2	3	49	37	2	225	66	28	48	5	1	9	2	0	94		

（注） ※印の欄は、再掲したもの。

1 5 危険物施設許可等状況

（令和4年度）

製造所等の区分 項目		計	製 造 所	貯 蔵 所										取 扱 所												
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	貯屋 外			貯屋 内 蔵 タ ン 所 ク	貯地 下 蔵 タ ン 所 ク	貯簡 易 蔵 タ ン 所 ク	貯移 動 蔵 タ ン 所 ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売		移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所							
						特 定	蔵 タ ン 所 ク	特 定								准 特 定	蔵 タ ン 所 ク			蔵 タ ン 所 ク	蔵 タ ン 所 ク	蔵 タ ン 所 ク	蔵 タ ン 所 ク	蔵 タ ン 所 ク	第 一 種	第 二 種
設 置 許 可		20	0	16	5	2	2				4		5		4	2				2						
変 更 許 可		38	8	8	3		4				1				22	12				10						
完 成 検 査	設 置	20	1	15	5		3				2		5		4	1				3						
	変 更	34	9	6	2		3				1				19	10				9						
廃 止 届		15	1	11	2		6			1			2		3	1				2						

（注） 特定施設は、再掲したもの。

1 6 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

（令和4年度）

項目	合計	水 張 検 査					水 圧 検 査					溶接部検査	
		小計	10K以下	10Kを超え1,000K以下	1,000Kを超え2,000K以下	2,000Kを超えるもの	小計	600以下	600を超え10K以下	10Kを超え20K以下	20Kを超えるもの	小計	1,000K以上5,000K未満
件数	2	1	1				1		1			0	

17 危険物事務処理（届出等）状況

（令和4年度）

項目	計	品名・数量 変更・届出	譲渡 引渡届	廃止 届	危険物保安統括 管理者解任届	危険物保安監督者 選解任届	危険物取扱者 選解任届	変更 届	休止 再開届	完成検査済証 再交付	許可取下げ願出	仮取扱承認	仮貯蔵・ 仮使用承認	予防規程認可	資料提出	事故報告	移動タンク貯蔵所 変更許可通知
件数	264	20	22	15	0	85	0	80	1	0	1	2	29	6	0	3	0

18 違反処理状況等

（令和4年度）

区分 年度別	項 目	製 造 所 等 の 別			そ の 他	計	合 計
		製造所	貯蔵所	取扱所			
29	警告					0	0
	命令					0	
30	警 告					0	0
	命 令					0	
31(1)	警 告					0	10
	命 令		9	1		10	
2	警 告					0	0
	命 令					0	
3	警 告		1			1	2
	命 令			1		1	
4	警 告					0	1
	命 令			1		1	

19 危険物施設等の立入検査実施状況

（令和4年度）

区分 項目		計	製 造 所	貯 蔵 所										取 扱 所				危 険 物 運 搬 車 両	
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋外タンク貯蔵所		屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所		移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
						特 定	準 特 定								第 一 種	第 二 種			
件 数	419	11	296	51	112			6	47	1	46	33	110	44	3	1	62	2	

（注）特定施設は、再掲したもの。

20 危険物事務手数料徴収状況

(令和4年度)

区分 項目	計	政令に基づく手数料										その他
		仮貯蔵 仮取扱 承認	設置 許可	変更 許可	完成 検査	仮使用 承認	完成検査前検査				保安 検査	
							水張	水圧	基礎 地盤	溶接部		
件数	147	3	20	38	55	26	1	1				3
金額	2,537,600	16,000	608,000	947,000	804,000	140,000	11,000	11,000				600

21 容量及び類別屋外タンク貯蔵所（完成検査済証交付施設）

(令和5年4月1日現在)

区 分 項 目	計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
100kL未満	89				89		
100kL以上 500kL未満	38				38		
500kL以上 1,000kL未満	0						
1,000kL以上 5,000kL未満	0						
合 計	127	0	0	0	127	0	0

22 危険物事業所数

(令和5年4月1日現在)

事業所数	予防規程の作成を要する事業所数			その他の 事業所数
	危険物施設保安員 を要する事業所	危険物統括管理者 を要する事業所	自衛消防組織を要 する事業所	
342	87	6	0	255

(注) 危険物施設保安員、危険物統括管理者及び自衛消防組織を要する事業所は再掲したもの。

23 危険物保安監督者を必要とする施設数

(令和5年4月1日現在)

製造所等の区分 危険物保安監督者必要数	計	製 造 所	貯 蔵 所										取 扱 所						
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	特 定	屋 外 タンク 貯蔵所	特 定	準 特 定	屋 内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取扱所		移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
																第 一 種	第 二 種		
施 設 数	461	14	268	120	33	127			1	12	3		5	179	119	9	2		49

(注) 特定施設は、再掲したもの。

24 危険物施設等の事故発生状況

年度別項目 区 分		29			30			31(1)			2			3			4		
		火 災	流 出	そ の 他	火 災	流 出	そ の 他	火 災	流 出	そ の 他	火 災	流 出	そ の 他	火 災	流 出	そ の 他	火 災	流 出	そ の 他
製造所																			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所																		
	特 定																		
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所							1											
	特 定																		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所																		
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所																		
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所																		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所																		
	屋 外 貯 蔵 所																		
	給 油 取 扱 所															1			2
取 扱 所	自 家 用																		
	販 売 取 扱 所																		
	第 一 種																		
	第 二 種																		
	移 送 取 扱 所																		
一 般 取 扱 所																			
危 険 物 運 搬 車 両																			
そ の 他							1												
計		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
合 計		0			1			1			0			1			2		

(注) 特定施設は、再掲したもの。

25 地区別危険物施設状況

(令和5年4月1日現在)

地区別 項 目		計	佐	新	西	東	昭	津	内	渭	沖	
			古	町	富 田	富 田	和	田	町	東	洲	
事業所		342	10	9	4	4	18	23	22	8	33	
製造所		14										
貯蔵所	屋内貯蔵所		125	2			4	7	2	1	13	
		※特 定	34	1			3	2			7	
		※平屋建以外	0									
		※建築物内設置	4								1	
	屋外タンク貯蔵所		127				1	1			9	
		※特 定	0									
		※準 特 定	0									
	屋内タンク貯蔵所	27	1	6	2	2			7	1		
	地下タンク貯蔵所		122	4	3	1	1	9	5	12	1	5
		※みなし地下 タンク貯蔵所	2						1	1		
	簡易タンク貯蔵所	3								1		
	移動タンク貯蔵所	49						5	1		25	
	屋外貯蔵所		37				1				1	
		※みなし屋外 貯蔵所	2									
	小 計		490	7	9	3	3	15	18	22	4	53
	取扱所	給油取扱所		120	2		1	1	5	10	7	4
営 業 用			66	1		1	1	2	3	3	4	5
(セルフ)			28	1					2	1	3	1
※屋 内			17	1			1	2		2	1	3
自家用			48	1				2	4	3		9
船 舶			5					1	3			
鉄 道			1							1		
取扱所		第一種	9	1	2				2			
		第二種	2									1
移送取扱所		0										
一般取扱所		94	2	2		2	4	2	4		4	
小 計		225	5	4	1	3	9	14	11	4	19	
合 計		729	12	13	4	6	24	32	33	8	72	

※印、（ ）書きは再掲したもの。

渭 北	八 万	加 茂	加 茂 名	多 家 良	勝 占	不 動	上 八 万	入 田	川 内	応 神	国 府	南 井 上	北 井 上
10	20	16	18	8	26	13	6	6	47	17	15	6	3
		2							12				
2	3	8	6		7	1		3	51	9	4	1	1
1	3	4	3		3				7				
									1	1		1	
	1	7		2	4				94	8			
	1	1		1	2				3				
6	12	6	13	4	3	9	2	3	9	5	6	2	1
								1	1				
			1		1		1		10	2	1	2	
		3			1				31				
		2											
8	17	25	20	7	18	10	3	7	199	24	11	5	2
2	5	7	5	4	14	4	4	3	11	6	7	3	1
2	4	4	4	2	8	1	2		6	5	4	3	1
1	2	2	2		2		1		2	4	3	1	
1	2	1	1		1				1				
	1	3	1	2	6	3	2	3	4	1	3		
									1				
	1								2		1		
												1	
2	5	4	7	2	2	6			37	5	3		1
4	11	11	12	6	16	10	4	3	50	11	11	4	2
12	28	38	32	13	34	20	7	10	261	35	22	9	4

26 倍 数 及 び 類 別 危 険 物 施 設 状 況

(令和5年4月1日現在)

項 目 製造所等の区分		計	5 以下	5 10 超 以下	10 ～ 50	50 ～ 100	100 ～ 150	150 ～ 200
製 造 所		14	1	1	1	5	1	
貯 所	屋 内 貯 蔵 所	125	49	21	28	6	18	2
	※ 特 定	34	16	5	13			
	※平屋建以外	0						
	※建築物内設置	4		3	1			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	127	11	10	37	27	18	10
	※ 特 定	0						
	※ 準 特 定	0						
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	27	13	13	1			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	122	62	34	21	4		
	※みなし地下 タンク貯蔵所	2			1	1		
	簡易タンク貯蔵所	3	3					
	移動タンク貯蔵所	49	24	2	5	15	3	
	屋 外 貯 蔵 所	37	2	22	12	1		
	※みなし屋外 貯 蔵 所	2			1	1		
	小 計	490	164	102	104	53	39	12
取 所	給 油 取 扱 所	120	9	12	29	10	6	17
	営 業 用 (セ ル フ)	66 28	1			6 1	5	17 2
	※屋 内	17				1	2	3
	自 家 用	48	6	11	26	4	1	
	船 舶	5	2	1	2			
	鉄 道	1			1			
	取販 扱 所	第 一 種	9	2	7			
	第 二 種	2			2			
	移 送 取 扱 所	0						
	一 般 取 扱 所	94	34	25	18	7	1	3
	小 計	225	43	39	56	17	7	20
合 計		729	208	142	161	75	47	32

※印、（ ） 書きは再掲したもの。

200 ～ 1,000	1,000 ～ 5,000	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在
5					10			4
	1		1	1	107	5		8
					31	1		2
					4			
13	1				127			
					27			
1					122			
					2			
					3			
					49			
					37			
					2			
14	2	0	1	1	472	5	0	8
37					120			
37					66			
25					28			
11					17			
					48			
					5			
					1			
					8			1
					2			
5	1				87			7
42	1	0	0	0	217	0	0	8
61	3	0	1	1	699	5	0	20

27 市民防災指導員活動状況

登録者数375人

(令和4年度)

活動内容 人数・回数	防災訓練	災害図上訓練	防災講演	総合防災訓練	その他	計
回数	40	0	7	0	14	61
人員	164	0	19	0	75	258

28 自主防災組織活動状況

組織数801組織（加人世帯数52,811世帯）

(令和4年度)

活動内容 組織数・人数	防火防災講演・DVD	防火訓練	防災訓練	風水害対策訓練	図上訓練	その他	計
組織数	1	5	8	0	0	5	19
参加人数	40	155	910	0	0	491	1,596

火 災 統 計

1 火災総括表

区 分		単位	令和4年 (a)	令和3年 (b)	増 減 (a) - (b)
出 火 件 数		件	78	83 (1)	△ 5
建 物		〃	41	50 (1)	△ 9
林 野		〃	3	0	3
車 両		〃	8	8	0
船 舶		〃	0	0	0
航空機		〃	0	0	0
その他		〃	26	25	1
焼 損 棟 数		棟	54	56	△ 2
全 焼		棟	12	9	3
半 焼		〃	0	3	△ 3
部分焼		〃	14	12	2
ぼ や		〃	28	32	△ 4
建物焼損	床面積	m ²	1,344	1,580	△ 236
	表面積	〃	33	77	△ 44
林野焼損面積		a	5	0	5
死 者		人	2	2	0
負 傷 者		〃	12	13	△ 1
り災世帯数		世帯	36	42	△ 6
全 損		〃	7	9	△ 2
半 損		〃	0	1	△ 1
小 損		〃	29	32	△ 3
り災人員		人	65	86	△ 21
損 害 額		千円	89,460	88,860	600
建 物		〃	87,405	82,809	4,596
林 野		〃	0	0	0
車 両		〃	444	4,132	△ 3,688
船 舶		〃	80	0	80
航空機		〃	0	0	0
その他		〃	1,531	1,917	△ 386
爆 発		〃	0	2	△ 2

※ 出火件数中()内数字は、爆発件数を内数で示したもの。

(△:減 少)

2 原因と主な発火源・経過・着火物

原 因	件 数		主 な 発 火 源	主 な 経 過	主 な 着 火 物
	令和4年	令和3年			
た き 火	11	12	たき火	火源が動いて接触する	枯草
た ば こ	8	12	たばこ	火源が転倒落下する	ふとん
電 気 機 器	7	3	リチウム電池	考え違いにより使用を誤る	合成樹脂と成形品
こ ん ろ	6	10	ガステーブル	放置する・忘れる	動植物油類
電 灯・電 話 等 の 配 線	6	6	引込線(低圧)	電線が短絡する	電線被覆
配 線 器 具	6	4	プラグ	スパークする	合成樹脂と成形品
放 火	4	6	不明	放火	落葉
排 気 管	3	0	排気管	着火物が漏洩する	第4石油類
ス ト ー ブ	1	2	電気ストーブ	可燃物が動いて火源に触れる	ふとん
放 火 の 疑 い	1	2	不明	放火の疑い	枯草
電 気 装 置	1	1	発電機	金属の接触部が過熱する	合成樹脂と成形品
焼 却 炉	1	1	ゴミ焼却炉	可燃物が動いて火源に触れる	紙製品
溶接機・切断機	1	0	切断機	火花が飛ぶ	合成樹脂と成形品
煙 突・煙 道	1	0	煙道	放射(輻射)を受けて発火する	柱
灯 火	1	0	ローソク	火源が転倒落下する	繊維製品
取 灰	1	0	取灰	不適當なところに捨ておく	枯草
風 呂 か ま ど	1	0	風呂かまど	火の粉が散る	紙屑
火 入 れ	0	1	—	—	—
火 遊 び	0	1	—	—	—
か ま ど	0	1	—	—	—
そ の 他	10	11	金属と金属との衝撃火花	引火する	LPG(カセット用)
不 明	8	10	不明	不明	不明
計	78	83	—	—	—

3 月別火災発生状況

区分		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
出火件数	計	8	11	5	7	5	6	10	4	7	5	7	3	78
	建物	4	4	4	5	2	2	4	3	4	3	4	2	41
	林野	1	1									1		3
	車両	1	1		1		1	2			1	1		8
	船舶													0
	航空機													0
	その他	2	5	1	1	3	3	4	1	3	1	1	1	26
	計	4	4	4	14	4	2	4	5	4	3	4	2	54
焼損棟数	全			1	6	1	1		2	1				12
	半													0
	部分	1	1	1	3	1		2	2	1	1	1		14
	ぼ	3	3	2	5	2	1	2	1	2	2	3	2	28
り災世帯	計	4	5	2	5	2	1	5	3	1	3	4	1	36
	全		1	1	2	1	1		1					7
	半													0
	小	4	4	1	3	1		5	2	1	3	4	1	29
り死者数	計	7	7	3	10	8	2	9	3	1	8	6	1	65
	死		2											2
	負		3	1	1	1	1				2	1		12
	傷													
焼損面積	建物	1	24	120	498	273	201	59	100	29		40		1,344
	床面積(m ²)		1		10	1		15	1		3	1		33
	表面積(m ²)		4											5
	林野(a)				1									
損害額 (千円)	計	228	4,463	18,199	8,706	29,236	22,869	2,106	931	205	344	2,161	12	89,460
	建小計	77	4,463	16,942	8,579	29,036	22,775	1,940	914	201	344	2,131	3	87,405
	建物	47	4,177	12,193	7,129	26,628	16,863	1,848	881	130	102	117		70,115
	収容物	30	286	4,749	1,450	2,408	5,912	92	33	71	242	2,014	3	17,290
	林野													0
	車両	150			100		14	150				30		444
	船舶						80							80
	航空機													0
(千円)	その他	1		1,257	27	200		16	17	4			9	1,531
	爆発													0

4 時間別火災発生状況

区分 時間	火 災 件 数 (件)							焼 損 面 積			焼 損 棟 数				り災 世帯 数	り災 人員	損害額 (千円)	死傷者(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	焼 損 面 積		全焼	半焼	部分焼	ぼや						
								建物積	床面積					林野 (a)					
0～1	1		1																
1～2																			
2～3	2						2										16		
3～4	1	1							1					1	1	1	44	1	2
4～5	3	2		1				45	14				1	1	3	5	590		
5～6	1	1						100		2		1			1	1	621		
6～7	2	2						448	10	7		1	2	2	5		7,718		
7～8	3	3							1			1	2	1	1		51		
8～9	2	2						24					1	1	3	5			1
9～10	3	1		1			1	16				1		1	1		95		
10～11	7	3		2			2	11					1	2	3	4	344	1	2
11～12	4			1			3										1,259		
12～13	5	3	1				1	63				2	2	4	6		1,093		2
13～14	6	5					1	14	4			2	3	4	11		1,807		2
14～15	8	4					4	109	1	1			3	3	4		16,621		1
15～16	4	1		1			2						1				151		
16～17	5	2		1			2	201			1			1	2		23,018		1
17～18	2	1					1		1			1		1	2		290		
18～19	7	4					3	273	1	6	1	1	4	5	14		29,269		1
19～20	6	1	1				4	40		1		1		1	2		2,110		
20～21																			
21～22	4	3		1									3	1			27		
22～23	1	1											1				1		
23～24																			
不 明	1	1								1			1	1	1				
合 計	78	41	3	8	0	0	26	1,344	33	54	12	0	28	36	65		89,460	2	12

※ 火災件数中()内数字は、爆発件数を内数で示したものの。

5 建築物用途別火災状況

用途 区分	住宅			複合用 途(特 定)	工場・ 作業場	飲食店	事業場	倉庫等	複合用 途(非特 定)	物品販 売店舗	病院	その他	計
	専用住 宅	共同住 宅	併用住 宅										
件数	15	10	1	3	3	1		1	5	1		1	41
焼損床面積(㎡)	872	52	273	45	25				64			13	1,344
焼損表面積(㎡)	15	1	1	14					2				33
損害額(千円)	48,553	2,319	29,034	467	279	1		1	6,581	6		165	87,405

※ 複合用途(非特定)3件は住宅火災である。

6 住宅火災出火箇所別状況

用途 区分	台所	居室	寝室	外周部	物置	空室	洗面所	湯沸室	敷地内	ベランダ	その他	不明	計
件数	7	7	5	3						3	4		29
焼損床面積(㎡)	52	133	111	435						16	474		1,221
焼損表面積(㎡)	3	2		10						2	2		19
損害額(千円)	2,343	21,213	944	7,491						273	52,119		84,383

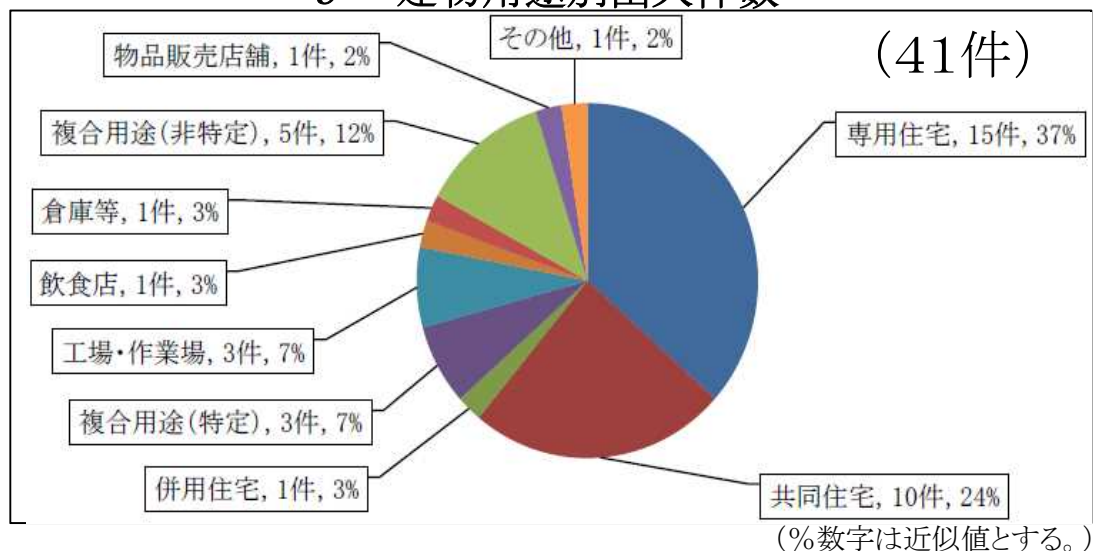
7 火災種別1件あたりの損害額

火災種別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他の火災	総火災1件当たり
損害額 (千円)	2,132	-	56	-	-	59	1,147

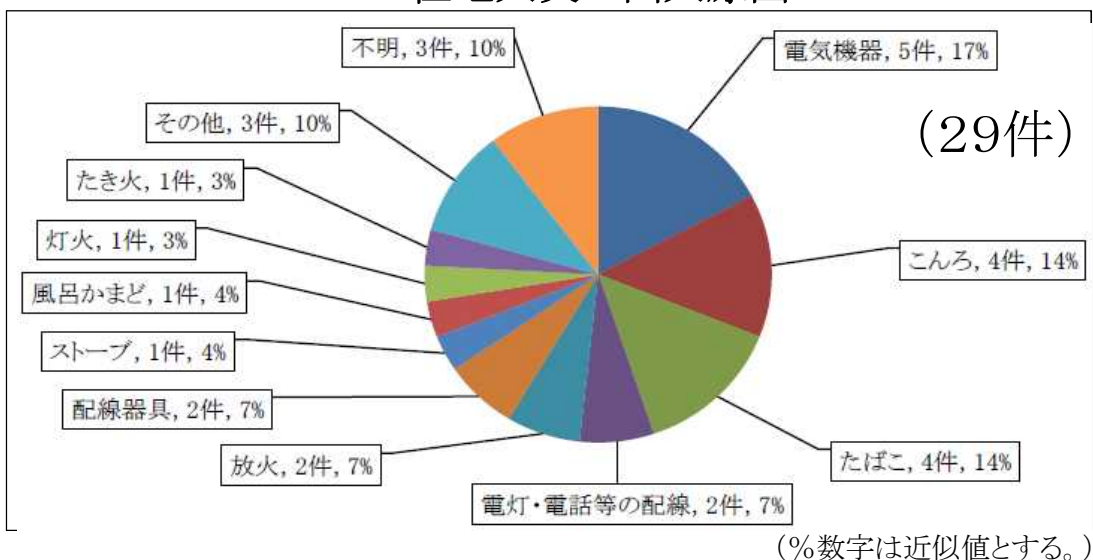
8 建物構造別焼損状況

建物構造	木 造				防火構造建築物				準耐火(木造)				準耐火(非木造)				耐 火				そ の 他				合 計			
	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	
焼損程度																												
火元棟数	3		1	3					1				5		3	12	2		7	4	6		11				24	
類焼棟数	2		3	3	1				1					1							6		3				4	

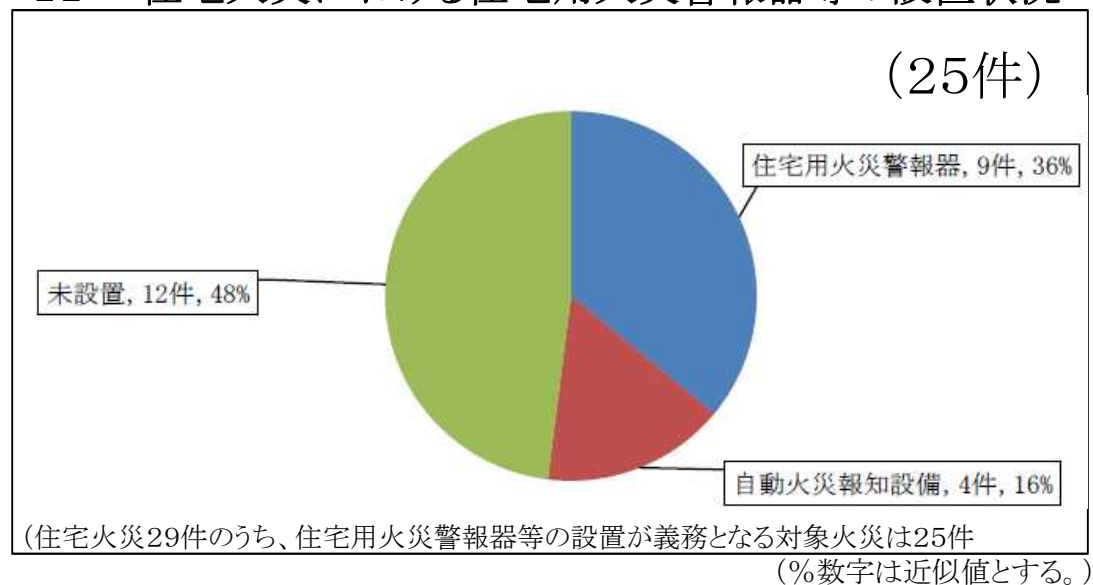
9 建物用途別出火件数



10 住宅火災の出火原因



11 住宅火災における住宅用火災警報器等の設置状況



12 地域別出火件数と損害額

区分 地域別	出 火 件 数						損 害 額（千円）							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機その他	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
佐 古	3	2				1	20	20						
新 町	3	2		1			617	467		150				
西富田														
東富田	4	2		1		1	1	1						
昭 和	3	2		1			326	322		4				
津 田	3	2				1	623	606					17	
内 町	4	1		1		2	2,102	2,101					1	
渭 東	2	1		1			81	51		30				
沖 洲	4	2				2	22	20					2	
渭 北	3	2		1			1,195	1,133		50			12	
八 万	7	6				1	17,023	17,009					14	
加 茂	7	6				1	1,739	1,739						
加茂名	6	4	1			1	4,359	4,355					4	
多家良	4	2	1			1	30,418	30,263		60	80		15	
勝 占	3			1		2								
不 動	2					2								
上八万	2			1		1	150			150				
入 田	2		1			1								
川 内	5	2				3	1,289	7					1,282	
応 神	3	2				1	29,219	29,035					184	
国 府	2	1				1	101	101						
南井上	1					1								
北井上	5	2				3	175	175						
計	78	41	3	8	0	26	89,460	87,405	0	444	80	0	1,531	0

※ 出火件数中()内数字は、爆発件数を内数で示したものの。

13 10年間の出火件数・焼損面積・損害額・死傷者の推移

区分 年次別	出火 件数	焼損面積 (㎡)		損害額 (千円)	死傷者(人)	
					死者	負傷者
平成25年	82	床面積	1,372	90,423	3	13
		表面積	167			
平成26年	60	床面積	1,780	148,614	3	16
		表面積	200			
平成27年	50	床面積	732	44,429	1	11
		表面積	274			
平成28年	58	床面積	1,809	90,478	2	18
		表面積	173			
平成29年	67	床面積	1,291	69,372	4	6
		表面積	530			
平成30年	84	床面積	1,383	107,119	3	13
		表面積	172			
平成31年／ 令和元年	76	床面積	1,133	116,312	2	10
		表面積	186			
令和2年	87	床面積	1,544	112,031	1	13
		表面積	117			
令和3年	83	床面積	1,580	88,860	2	13
		表面積	77			
令和4年	78	床面積	1,344	89,460	2	12
		表面積	33			
平均	73	床面積	1,397	95,710	2	13
		表面積	193			

救急救助統計

〈 救 急 統 計 〉

(概 要)

令和4年の救急業務の概要は、出動件数13,766件、搬送人員11,896人で、1日あたり約38件出動したことになります。

人口1万人あたりの出動件数は552件となり、全国平均は491件(令和3年データ)となっています。

令和3年と比較すると、出動件数が2,017件(17.17%)、搬送人員が1,385人(13.18%)それぞれ増加しています。

事故種別の内訳をみると、多い順に急病8,721件、一般負傷1,969件、転院搬送1,455件となっています。

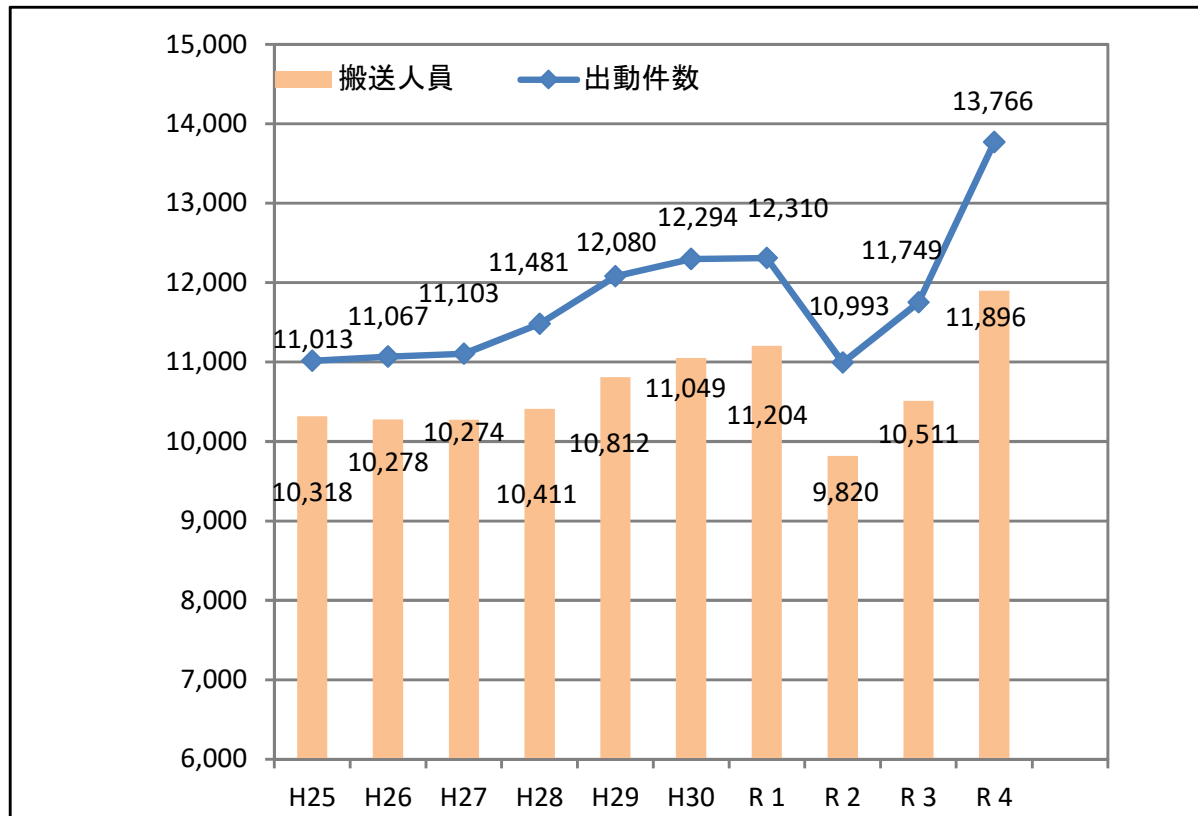
1 事故種別救急出動件数及び搬送人員

事故種別	令和4年		令和3年		対前年比	
	出動件数	構成比	出動件数	構成比	増減数	増減率
	搬送人員	(%)	搬送人員	(%)		(%)
急病	8,721	63.35	7,124	60.63	1,597	22.42
	7,360	61.87	6,334	60.26	1,026	16.20
交通事故	1,063	7.72	1,068	9.09	-5	-0.47
	990	8.32	995	9.47	-5	-0.50
一般負傷	1,969	14.30	1,710	14.55	259	15.15
	1,813	15.24	1,579	15.02	234	14.82
加害	35	0.25	26	0.22	9	34.62
	31	0.26	23	0.22	8	34.78
労働災害	110	0.80	116	0.99	-6	-5.17
	106	0.89	114	1.08	-8	-7.02
自損行為	109	0.79	116	0.99	-7	-6.03
	79	0.66	86	0.82	-7	-8.14
運動競技	66	0.48	50	0.43	16	32.00
	66	0.55	47	0.45	19	40.43
火災	21	0.15	24	0.20	-3	-12.50
	12	0.10	11	0.10	1	9.09
水難	6	0.04	11	0.09	-5	-45.45
	3	0.03	6	0.06	-3	-50.00
自然災害	2	0.01	0	0.00	2	200.00
	2	0.02	0	0.00	2	200.00
その他	1,664	12.09	1,504	12.80	160	10.64
	1,434	12.05	1,316	12.52	118	8.97
うち	1,455	10.57	1,335	11.36	120	8.99
転院	1,433	12.05	1,316	12.52	117	8.89
計	13,766	100.00	11,749	100.00	2,017	17.17
	11,896	100.00	10,511	100.00	1,385	13.18

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

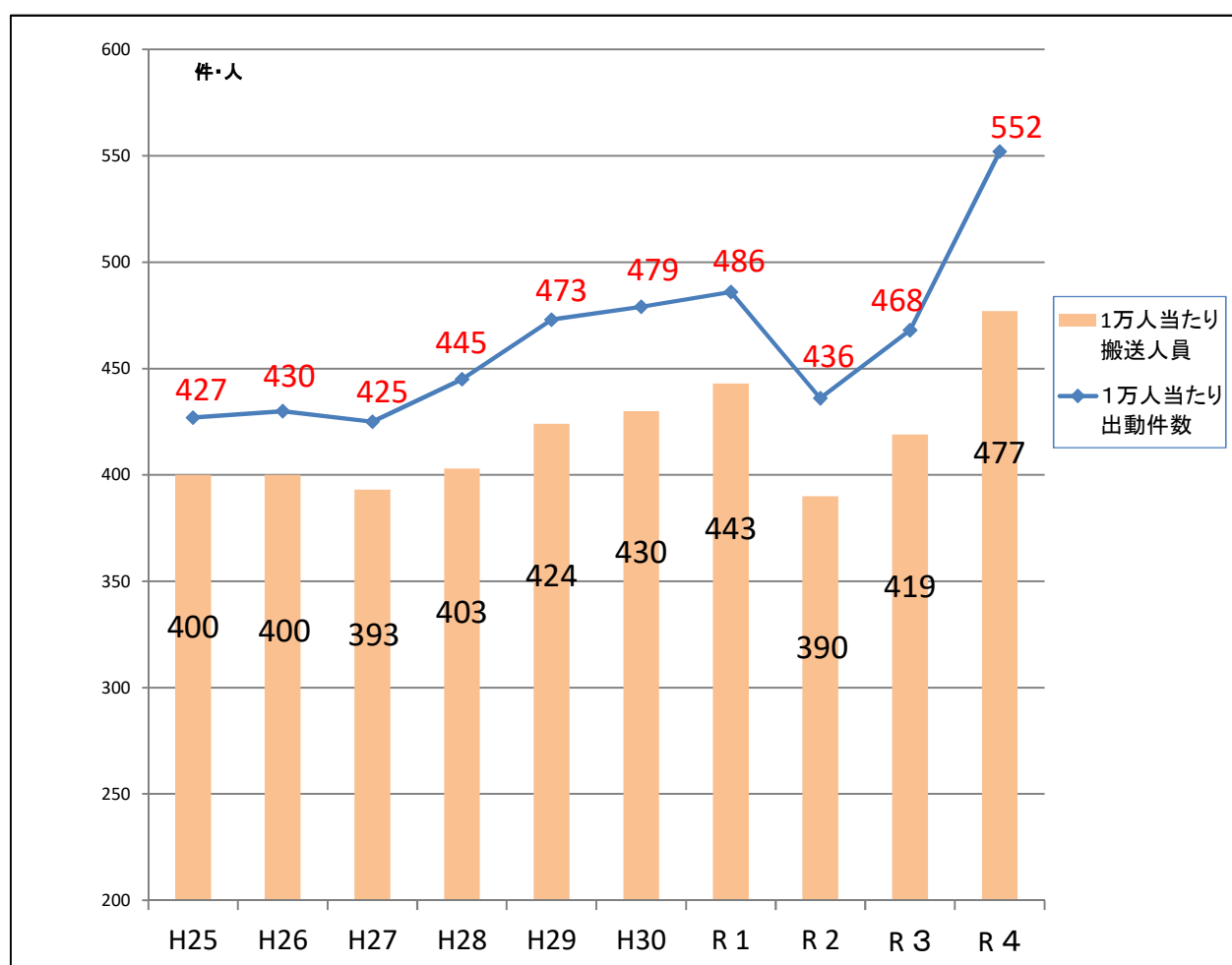
2 出動件数及び搬送人員の推移

区分	出動件数	前年比 増減	前年比 増減 (%)	搬送人員	前年比 増減	前年比 増減 (%)
平成25年	11,013	161	1.48	10,318	118	1.16
平成26年	11,067	54	0.49	10,278	-40	-0.39
平成27年	11,103	36	0.33	10,274	-4	-0.04
平成28年	11,481	378	3.40	10,411	137	1.33
平成29年	12,080	599	5.22	10,812	401	3.85
平成30年	12,294	214	1.77	11,049	237	2.19
令和元年	12,310	16	0.13	11,204	155	1.40
令和2年	10,993	-1,317	-10.70	9,820	-1,384	-12.35
令和3年	11,749	756	6.88	10,511	691	7.04
令和4年	13,766	2,017	17.17	11,896	1,385	13.18

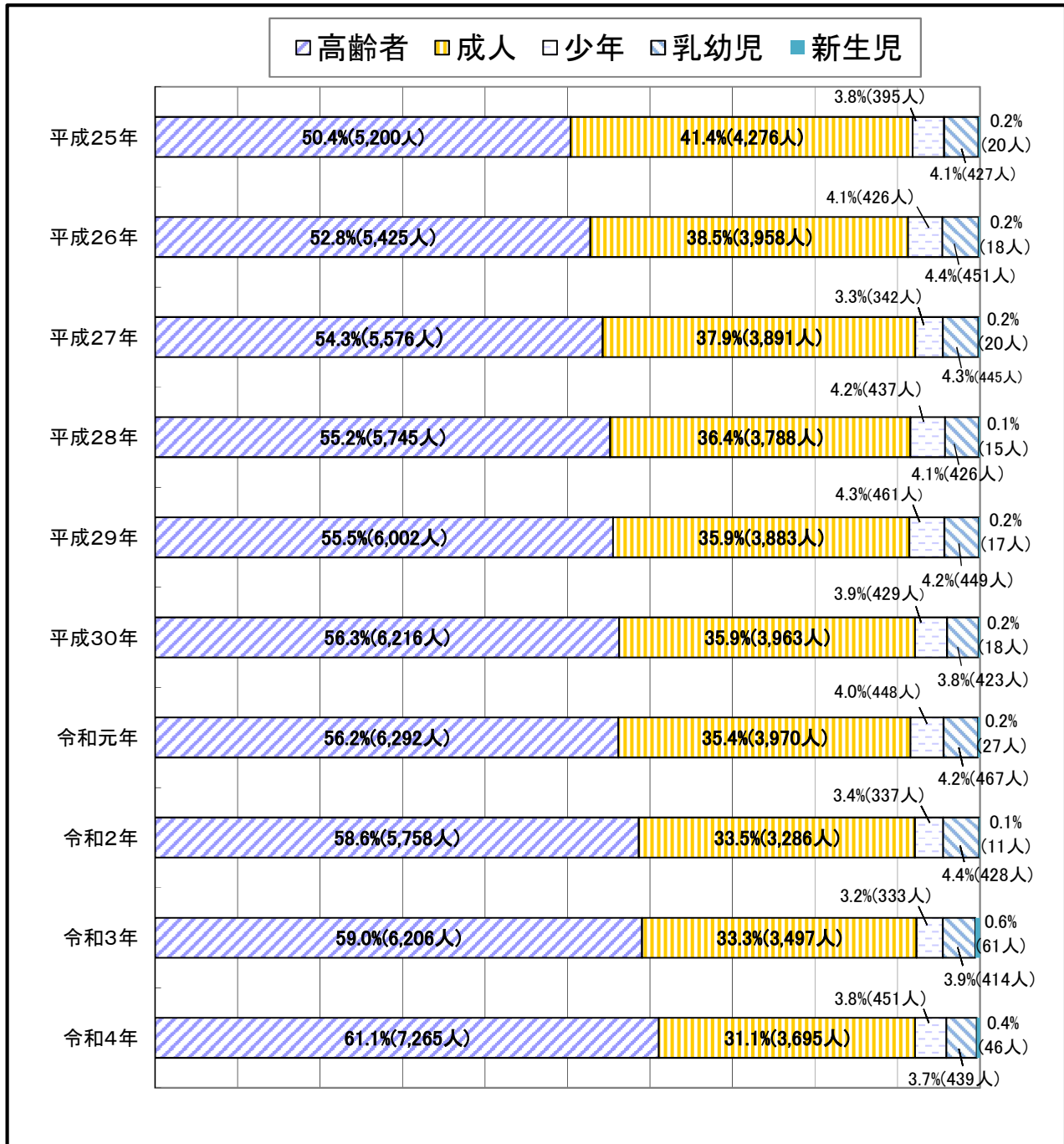


3 人口1万人当たりの出動件数及び搬送人員の推移

年 区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R 1年	R 2年	R 3年	R 4年
1万人当たり 出動件数	427	430	425	445	473	479	486	436	468	552
1万人当たり 搬送人員	400	400	393	403	424	430	443	390	419	477



4 年齢区分別搬送人員の推移

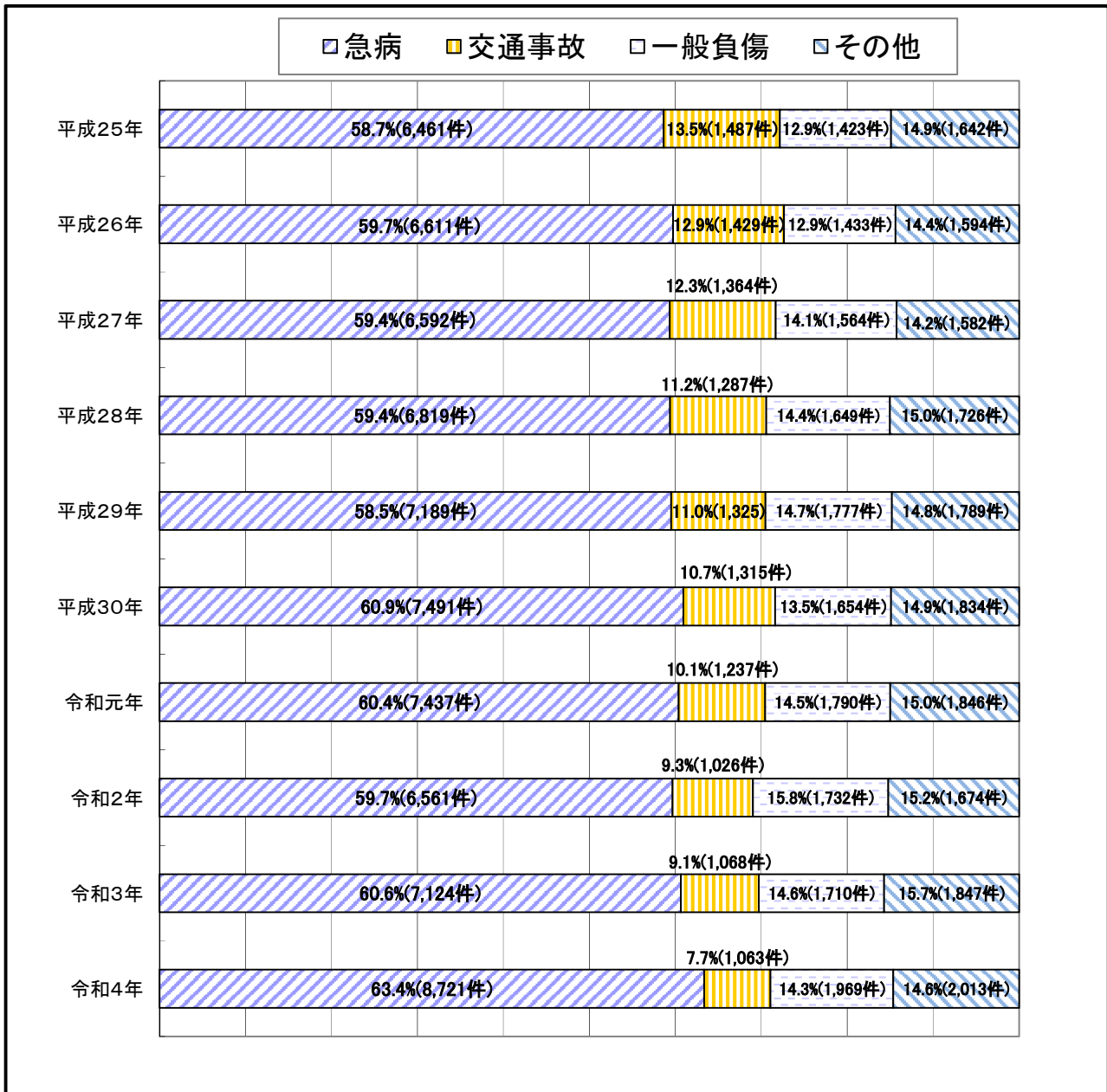


※年齢区分について

新生児：生後28日未満の者
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
 少年：満7歳以上満18歳未満の者
 成人：満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者：満65歳以上の者

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

5 事故種別出動件数構成比の推移



※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

6 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	計
新生児	5 (0.1)	0 (0.0)	2 (0.1)	39 (2.3)	39 (2.7)	46 (0.4)
乳幼児	315 (4.3)	13 (1.3)	103 (5.7)	8 (0.5)	8 (0.6)	439 (3.7)
少年	207 (2.8)	127 (12.8)	64 (3.5)	53 (3.1)	5 (0.3)	451 (3.8)
成人	2,324 (31.6)	543 (54.8)	326 (18.0)	502 (29.0)	298 (20.8)	3,695 (31.1)
高齢者	4,509 (61.3)	307 (31.0)	1,318 (72.7)	1,131 (65.3)	1,083 (75.6)	7,265 (61.1)
65歳以上 70歳未満	465 (6.3)	61 (6.2)	89 (4.9)	107 (6.2)	96 (6.7)	722 (6.1)
70歳以上 75歳未満	786 (10.7)	86 (8.7)	192 (10.6)	173 (10.0)	155 (10.8)	1,237 (10.4)
75歳以上 80歳未満	741 (10.1)	67 (6.8)	185 (10.2)	195 (11.3)	189 (13.2)	1,188 (10.0)
80歳以上	2,517 (34.2)	93 (9.4)	852 (47.1)	656 (37.9)	643 (44.9)	4,118 (34.6)
合計	7,360 (100.0)	990 (100.0)	1,813 (100.0)	1,733 (100.0)	1,433 (100.0)	11,896 (100.0)

※年齢区分について

新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

※（ ）内は、事故種別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

7 事故種別曜日別出動件数・搬送人員

事故種別 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
月曜日	1,305 (15.0)	1,099 (14.9)	152 (14.3)	157 (15.9)	274 (13.9)	256 (14.1)	332 (16.5)	294 (17.0)	257 (17.7)	253 (17.7)	2,063 (15.0)	1,806 (15.2)
火曜日	1,198 (13.7)	1,022 (13.9)	161 (15.1)	153 (15.5)	260 (13.2)	244 (13.5)	292 (14.5)	251 (14.5)	229 (15.7)	226 (15.8)	1,911 (13.9)	1,670 (14.0)
水曜日	1,160 (13.3)	988 (13.4)	163 (15.3)	146 (14.7)	261 (13.3)	232 (12.8)	295 (14.7)	263 (15.2)	220 (15.1)	219 (15.3)	1,879 (13.6)	1,629 (13.7)
木曜日	1,262 (14.5)	1,084 (14.7)	165 (15.5)	140 (14.1)	281 (14.3)	260 (14.3)	290 (14.4)	253 (14.6)	217 (14.9)	215 (15.0)	1,998 (14.5)	1,737 (14.6)
金曜日	1,230 (14.1)	1,031 (14.0)	162 (15.2)	146 (14.7)	287 (14.6)	259 (14.3)	322 (16.0)	283 (16.3)	244 (16.8)	241 (16.8)	2,001 (14.5)	1,719 (14.5)
土曜日	1,244 (14.3)	1,056 (14.3)	152 (14.3)	149 (15.1)	285 (14.5)	265 (14.6)	282 (14.0)	234 (13.5)	190 (13.1)	184 (12.8)	1,963 (14.3)	1,704 (14.3)
日曜日	1,322 (15.2)	1,080 (14.7)	108 (10.2)	99 (10.0)	321 (16.3)	297 (16.4)	200 (9.9)	155 (8.9)	98 (6.7)	95 (6.6)	1,951 (14.2)	1,631 (13.7)
合計	8,721 (100.0)	7,360 (100.0)	1,063 (100.0)	990 (100.0)	1,969 (100.0)	1,813 (100.0)	2,013 (100.0)	1,733 (100.0)	1,455 (100.0)	1,433 (100.0)	13,766 (100.0)	11,896 (100.0)

※()内は、事故種別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

8 事故種別月別出動件数・搬送人員

事故種別 月	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
1月	720 (8.3)	633 (8.6)	87 (8.2)	89 (9.0)	164 (8.3)	156 (8.6)	137 (6.8)	121 (7.0)	109 (7.5)	108 (7.5)	1,108 (8.0)	999 (8.4)
2月	639 (7.3)	539 (7.3)	92 (8.7)	85 (8.6)	149 (7.6)	136 (7.5)	152 (7.6)	139 (8.0)	119 (8.2)	117 (8.2)	1,032 (7.5)	899 (7.6)
3月	624 (7.2)	528 (7.2)	80 (7.5)	79 (8.0)	146 (7.4)	137 (7.6)	175 (8.7)	149 (8.6)	131 (9.0)	129 (9.0)	1,025 (7.4)	893 (7.5)
4月	644 (7.4)	571 (7.8)	83 (7.8)	80 (8.1)	136 (6.9)	126 (6.9)	133 (6.6)	112 (6.5)	98 (6.7)	98 (6.8)	996 (7.2)	889 (7.5)
5月	620 (7.1)	559 (7.6)	100 (9.4)	96 (9.7)	148 (7.5)	138 (7.6)	181 (9.0)	149 (8.6)	113 (7.8)	113 (7.9)	1,049 (7.6)	942 (7.9)
6月	657 (7.5)	591 (8.0)	92 (8.7)	84 (8.5)	151 (7.7)	146 (8.1)	170 (8.4)	146 (8.4)	121 (8.3)	121 (8.4)	1,070 (7.8)	967 (8.1)
7月	765 (8.8)	690 (9.4)	80 (7.5)	74 (7.5)	169 (8.6)	153 (8.4)	178 (8.8)	159 (9.2)	121 (8.3)	118 (8.2)	1,192 (8.7)	1,076 (9.0)
8月	1,053 (12.1)	761 (10.3)	87 (8.2)	76 (7.7)	186 (9.4)	160 (8.8)	172 (8.5)	141 (8.1)	119 (8.2)	116 (8.1)	1,498 (10.9)	1,138 (9.6)
9月	710 (8.1)	578 (7.9)	84 (7.9)	80 (8.1)	150 (7.6)	138 (7.6)	175 (8.7)	150 (8.7)	119 (8.2)	117 (8.2)	1,119 (8.1)	946 (8.0)
10月	663 (7.6)	581 (7.9)	83 (7.8)	76 (7.7)	199 (10.1)	191 (10.5)	166 (8.2)	143 (8.3)	118 (8.1)	117 (8.2)	1,111 (8.1)	991 (8.3)
11月	682 (7.8)	577 (7.8)	81 (7.6)	72 (7.3)	161 (8.2)	144 (7.9)	172 (8.5)	149 (8.6)	125 (8.6)	122 (8.5)	1,096 (8.0)	942 (7.9)
12月	944 (10.8)	752 (10.2)	114 (10.7)	99 (10.0)	210 (10.7)	188 (10.4)	202 (10.0)	175 (10.1)	162 (11.1)	157 (11.0)	1,470 (10.7)	1,214 (10.2)
合計	8,721 (100.0)	7,360 (100.0)	1,063 (100.0)	990 (100.0)	1,969 (100.0)	1,813 (100.0)	2,013 (100.0)	1,733 (100.0)	1,455 (100.0)	1,433 (100.0)	13,766 (100.0)	11,896 (100.0)

※()内は、事故種別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

9 覚知時刻別事故種別出動件数・搬送人員

事故種別 覚知時刻	急病		交通事故		一般負傷		その他 (左記以外)		うち転院搬送		合計	
	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員
0時～2時	508 (5.8)	395 (5.4)	18 (1.7)	16 (1.6)	69 (3.5)	59 (3.3)	49 (2.4)	34 (2.0)	22 (1.5)	22 (1.5)	644 (4.7)	504 (4.2)
2時～4時	398 (4.6)	319 (4.3)	13 (1.2)	11 (1.1)	47 (2.4)	41 (2.3)	37 (1.8)	25 (1.4)	11 (0.8)	11 (0.8)	495 (3.6)	396 (3.3)
4時～6時	385 (4.4)	317 (4.3)	13 (1.2)	12 (1.2)	59 (3.0)	55 (3.0)	40 (2.0)	22 (1.3)	14 (1.0)	14 (1.0)	497 (3.6)	406 (3.4)
6時～8時	622 (7.1)	556 (7.6)	83 (7.8)	72 (7.3)	133 (6.8)	124 (6.8)	49 (2.4)	30 (1.7)	18 (1.2)	17 (1.2)	887 (6.4)	782 (6.6)
8時～10時	951 (10.9)	840 (11.4)	147 (13.8)	136 (13.7)	240 (12.2)	227 (12.5)	196 (9.7)	175 (10.1)	127 (8.7)	127 (8.9)	1,534 (11.1)	1,378 (11.6)
10時～12時	913 (10.5)	793 (10.8)	122 (11.5)	107 (10.8)	250 (12.7)	237 (13.1)	385 (19.1)	355 (20.5)	313 (21.5)	308 (21.5)	1,670 (12.1)	1,492 (12.5)
12時～14時	852 (9.8)	727 (9.9)	114 (10.7)	109 (11.0)	223 (11.3)	207 (11.4)	362 (18.0)	334 (19.3)	296 (20.3)	293 (20.4)	1,551 (11.3)	1,377 (11.6)
14時～16時	823 (9.4)	728 (9.9)	125 (11.8)	111 (11.2)	200 (10.2)	181 (10.0)	288 (14.3)	256 (14.8)	220 (15.1)	214 (14.9)	1,436 (10.4)	1,276 (10.7)
16時～18時	830 (9.5)	698 (9.5)	147 (13.8)	149 (15.1)	260 (13.2)	243 (13.4)	278 (13.8)	247 (14.3)	229 (15.7)	226 (15.8)	1,515 (11.0)	1,337 (11.2)
18時～20時	955 (11.0)	790 (10.7)	164 (15.4)	148 (14.9)	214 (10.9)	188 (10.4)	160 (7.9)	132 (7.6)	109 (7.5)	107 (7.5)	1,493 (10.8)	1,258 (10.6)
20時～22時	860 (9.9)	705 (9.6)	82 (7.7)	85 (8.6)	177 (9.0)	165 (9.1)	88 (4.4)	67 (3.9)	52 (3.6)	52 (3.6)	1,207 (8.8)	1,022 (8.6)
22時～24時	624 (7.2)	492 (6.7)	35 (3.3)	34 (3.4)	97 (4.9)	86 (4.7)	81 (4.0)	56 (3.2)	44 (3.0)	42 (2.9)	837 (6.1)	668 (5.6)
合計	8,721 (100)	7,360 (100)	1,063 (100)	990 (100)	1,969 (100)	1,813 (100)	2,013 (100)	1,733 (100)	1,455 (100)	1,433 (100)	13,766 (100)	11,896 (100)

※()内は、事故種別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

10 現場到着所要時間及び医療機関への収容所要時間

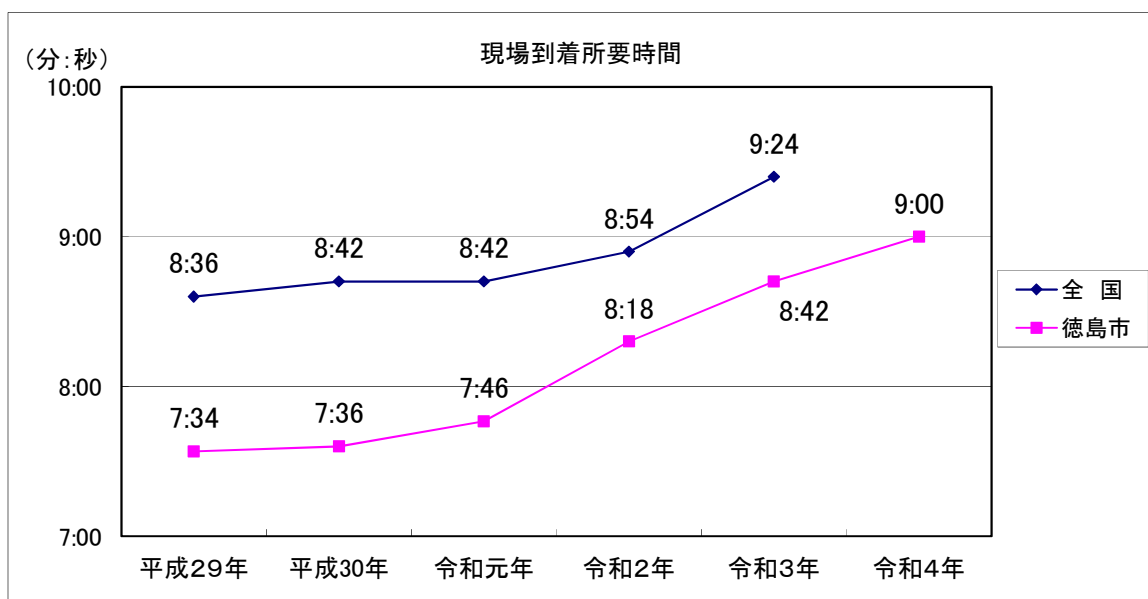
① 119番通報から救急自動車が現場に到着するまでの所要時間

年別	現場到着 平均所要時間	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計
平成29年	7分34秒	161 (1.3)	1,242 (10.3)	8,115 (67.2)	2,492 (20.6)	70 (0.6)	12,080 (100.0)
平成30年	7分36秒	140 (1.1)	1,206 (9.8)	8,307 (67.6)	2,579 (21.0)	62 (0.5)	12,294 (100.0)
令和元年	7分46秒	146 (1.2)	1,170 (9.5)	8,178 (66.4)	2,752 (22.4)	64 (0.5)	12,310 (100.0)
令和2年	8分18秒	90 (0.8)	660 (6.0)	7,119 (64.8)	3,044 (27.7)	80 (0.7)	10,993 (100.0)
令和3年	8分42秒	71 (0.6)	508 (4.3)	7,285 (62.0)	3,758 (32.0)	127 (1.1)	11,749 (100.0)
令和4年	9分00秒	118 (0.9)	491 (3.6)	8,218 (59.7)	4,747 (34.5)	192 (1.4)	13,766 (100.0)

※()内は、年別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

全国:令和3年	9分24秒
---------	-------



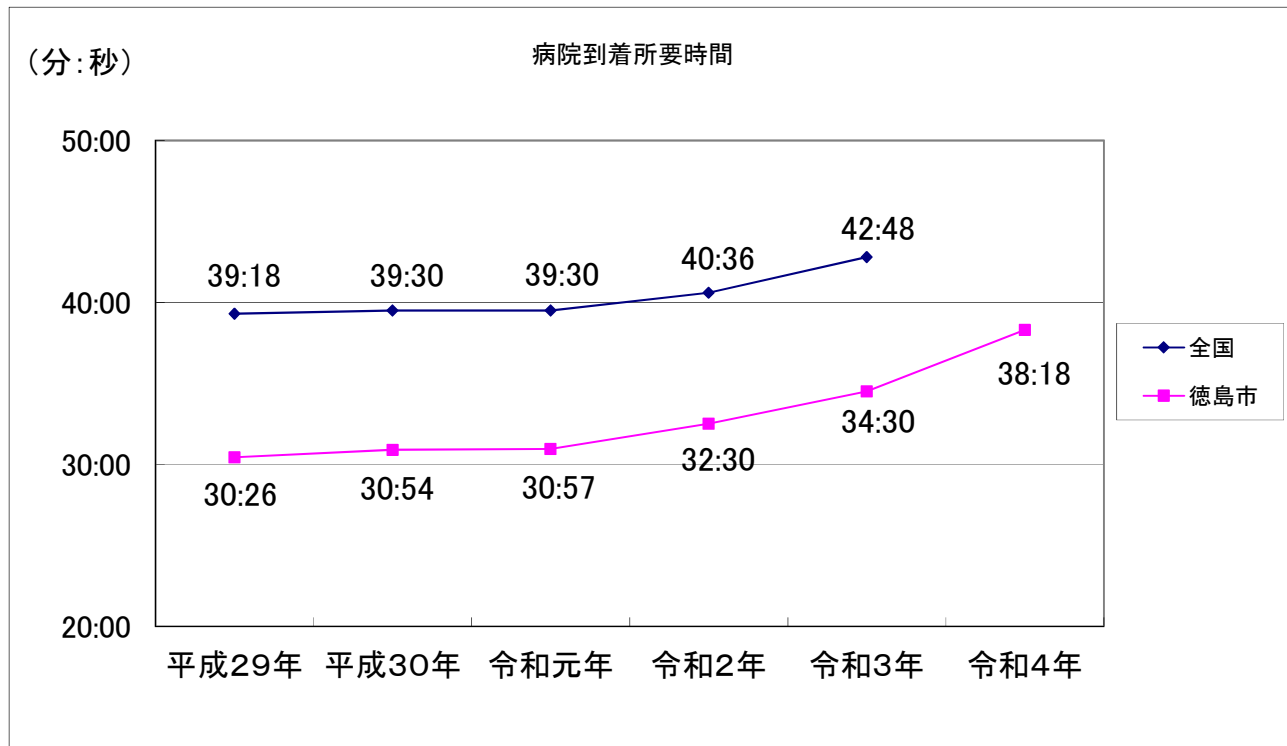
② 119番通報から医療機関へ収容するまでの所要時間

年別	収容所要時間 収容平均 所要時間	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	合 計
平成29年	30分26秒	8 (0.1)	1,132 (10.5)	4,661 (43.1)	4,841 (44.8)	168 (1.6)	2 (0.0)	10,812 (100.0)
平成30年	30分54秒	8 (0.1)	1,032 (9.3)	4,616 (41.8)	5,197 (47.0)	193 (1.7)	3 (0.0)	11,049 (100.0)
令和元年	30分57秒	14 (0.1)	1,011 (9.0)	4,702 (42.0)	5,302 (47.3)	171 (1.5)	4 (0.0)	11,204 (100.0)
令和2年	32分30秒	2 (0.0)	653 (6.6)	3,634 (37.0)	5,338 (54.4)	186 (1.9)	7 (0.1)	9,820 (100.0)
令和3年	34分30秒	3 (0.0)	472 (4.5)	3,498 (33.3)	6,161 (58.6)	367 (3.5)	10 (0.1)	10,511 (100.0)
令和4年	38分18秒	2 (0.0)	370 (3.1)	3,308 (27.8)	7,238 (60.8)	924 (7.8)	54 (0.5)	11,896 (100.0)

※()内は、年別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

全国:令和3年	42分48秒
---------	--------



※ 全国の数値は「令和4年版 救急・救助の現況」を参照とする。

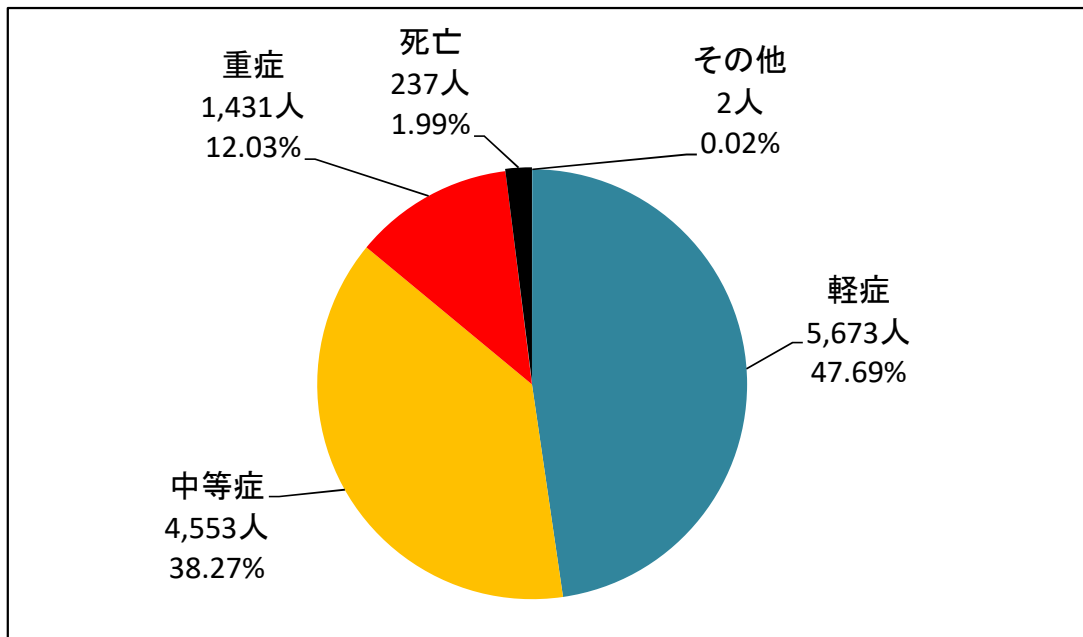
11 地区別出動件数・搬送人員

地区 \ 区分	出動件数	比率	搬送人員	比率
佐 古	706	5.1%	610	5.1%
新 町	221	1.6%	179	1.5%
西富田	248	1.8%	188	1.6%
東富田	493	3.6%	399	3.4%
昭 和	720	5.2%	625	5.3%
津 田	785	5.7%	685	5.8%
内 町	766	5.6%	653	5.5%
渭 東	799	5.8%	707	5.9%
沖 洲	773	5.6%	659	5.5%
渭 北	953	6.9%	841	7.1%
八 万	1,396	10.1%	1,187	10.0%
加 茂	915	6.6%	781	6.6%
加茂名	1,304	9.5%	1,127	9.5%
不 動	140	1.0%	122	1.0%
多家良	320	2.3%	282	2.4%
勝 占	774	5.6%	695	5.8%
上八万	360	2.6%	315	2.6%
入 田	84	0.6%	74	0.6%
川 内	692	5.0%	609	5.1%
応 神	326	2.4%	290	2.4%
国 府	682	5.0%	599	5.0%
南井上	168	1.2%	141	1.2%
北井上	137	1.0%	124	1.0%
市 外	4	0.0%	4	0.0%
計	13,766	100.0%	11,896	100.0%

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

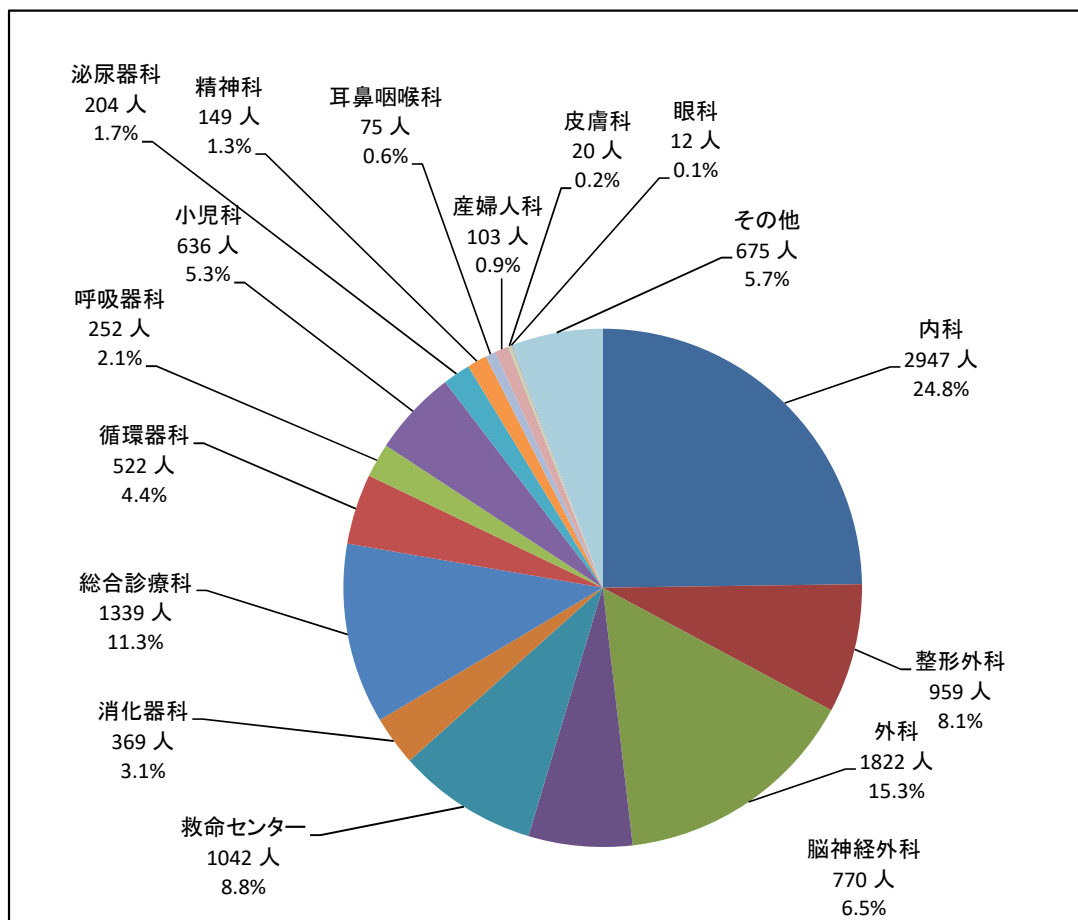
※市外とは現場到着後に市外と判明したもの、若しくは高速自動車道における事故等による市外への出動によるもの。

12 傷病程度別搬送人員



※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

13 診療科目別搬送人員



※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

14 医療機関別・管内管外搬送人員の状況

	国立	公立	公的	私的	合計
救急告示 医療機関	519	4,120	1,855	4,883	11,377
	22	97	1,855	386	2,360
その他の 医療機関	1	0	0	516	517
	1	0	0	59	60
計	520	4,120	1,855	5,399	11,894
	23	97	1,855	445	2,420
その他の場所					2
					2
合計	520	4,120	1,855	5,399	11,896
	23	97	1,855	445	2,422

※各下段は、うち管外(市外)搬送人員を示す。

15 事故種別軽症者割合の推移

(単位: %)

事故種別 \ 年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
軽症者の割合	52.7	51.0	49.4	49.3	47.3	46.9	47.7
急病	54.3	51.6	49.9	51.6	49.2	49.1	49.6
交通事故	75.3	76.3	75.3	71.9	69.1	74.1	74.7
一般負傷	53.5	54.5	51.9	50.8	51.0	52.2	52.0
その他 (上記以外)	25.2	23.1	23.4	21.7	20.2	16.2	19.6
うち転院	16.5	14.6	14.6	13.6	13.0	10.9	12.4

16 事故種別傷病程度別搬送人員の状況

事故種別 \ 程度	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	計
死亡	190	4	21	22	6	237
	2.6%	0.4%	1.2%	1.3%	0.4%	2.0%
重症	847	43	172	369	337	1,431
	11.5%	4.3%	9.5%	21.3%	23.5%	12.0%
中等症	2,672	203	677	1,001	912	4,553
	36.3%	20.5%	37.3%	57.8%	63.6%	38.3%
軽症	3,650	740	943	340	177	5,673
	49.6%	74.7%	52.0%	19.6%	12.4%	47.7%
その他	1	0	0	1	1	2
	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
計	7,360	990	1,813	1,733	1,433	11,896
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※各下段は事故種別ごとの構成比を示しています。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

17 年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況

程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
新生児	0	3	22	21	0	46
	0.0%	0.2%	0.5%	0.4%	0.0%	0.4%
乳幼児	0	16	84	339	0	439
	0.0%	1.1%	1.8%	6.0%	0.0%	3.7%
少年	2	7	82	360	0	451
	0.8%	0.5%	1.8%	6.3%	0.0%	3.8%
成人	56	284	1,031	2,323	1	3,695
	23.6%	19.8%	22.6%	40.9%	50.0%	31.1%
高齢者	179	1,121	3,334	2,630	1	7,265
	75.5%	78.3%	73.2%	46.4%	50.0%	61.1%
65歳以上 70歳未満	12	114	274	322	0	722
	5.1%	8.0%	6.0%	5.7%	0.0%	6.1%
70歳以上 75歳未満	19	174	540	504	0	1,237
	8.0%	12.2%	11.9%	8.9%	0.0%	10.4%
75歳以上 80歳未満	29	162	527	470	0	1,188
	12.2%	11.3%	11.6%	8.3%	0.0%	10.0%
80歳以上	119	671	1,993	1,334	1	4,118
	50.2%	46.9%	43.8%	23.5%	50.0%	34.6%
計	237	1,431	4,553	5,673	2	11,896
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※年齢区分について

新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

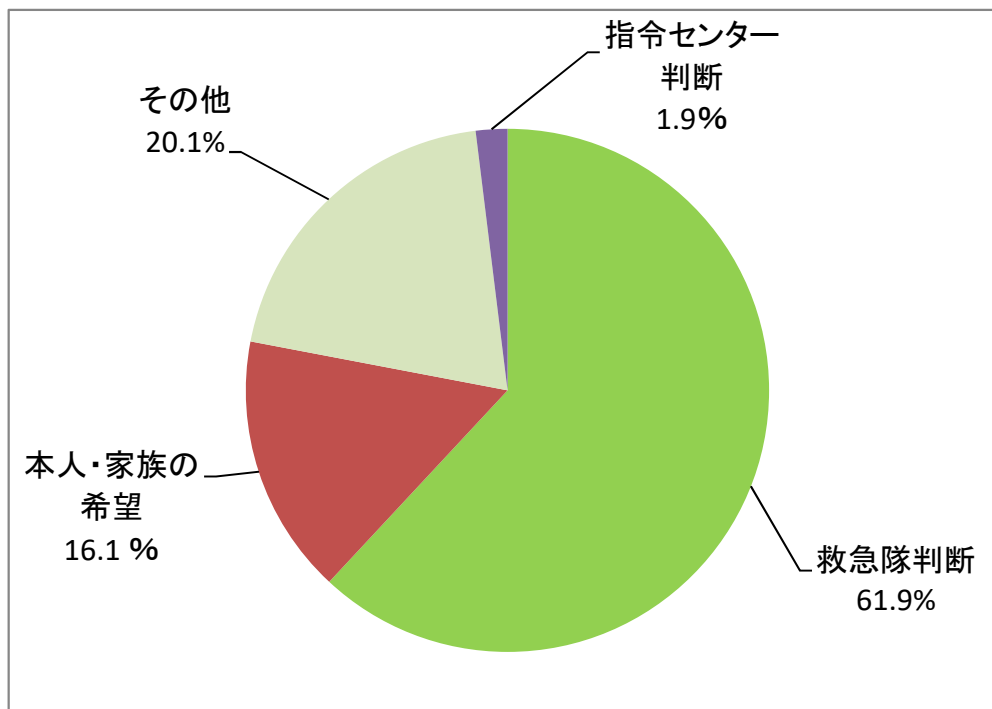
高齢者：満65歳以上の者

※各下段は、年齢区分別ごとの構成比を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

18 病院選定理由区分

選定区分	搬送人員	割合(%)
救急隊判断	7,367	61.9
本人・家族の希望	1,912	16.1
その他	2,386	20.1
指令センター判断	231	1.9
計	11,896	100.0



※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

19 高速自動車道における出動件数及び搬送人員

事故種別	出動件数	搬送人員
急 病	0 (0)	0 (0)
交通事故	1 (0)	1 (0)
一般負傷	0 (0)	0 (0)
そ の 他	0 (0)	0 (0)
計	1 (0)	1 (0)

※()内は、徳島県広域消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する
覚書に基づき出動した管外出動件数及び搬送人員を示す。

20 事故種別応急処置等実施状況

	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
応急処置等 対象搬送人員	7,360	990	1,813	1,733	11,896
応急処置等項目					
止血	36 (0.49)	61 (6.16)	185 (10.20)	28 (1.62)	310 (2.61)
被覆	16 (0.22)	94 (9.49)	236 (13.02)	40 (2.31)	386 (3.24)
固定	11 (0.15)	236 (23.84)	120 (6.62)	40 (2.31)	407 (3.42)
保温	829 (11.26)	25 (2.53)	136 (7.50)	216 (12.46)	1,206 (10.14)
酸素吸入	1,113 (15.12)	24 (2.42)	84 (4.63)	417 (24.06)	1,638 (13.77)
人工呼吸	6 (0.08)	0 (0.00)	0 (0.00)	3 (0.17)	9 (0.08)
胸骨圧迫	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
うち自動式心マッサージ器	0	0	0	0	0
心肺蘇生	199 (2.70)	3 (0.30)	26 (1.43)	26 (1.50)	254 (2.14)
うち自動式心マッサージ器	28	0	5	3	36
在宅療法継続	12 (0.16)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.06)	13 (0.11)
ショックパンツ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
血圧測定	6,863 (93.25)	951 (96.06)	1,689 (93.16)	1,595 (92.04)	11,098 (93.29)
心音・呼吸音聴取	293 (3.98)	63 (6.36)	69 (3.81)	25 (1.44)	450 (3.78)
血中酸素飽和度測定	6,955 (94.50)	955 (96.46)	1,709 (94.26)	1,614 (93.13)	11,233 (94.43)
心電図測定	2,514 (34.16)	60 (6.06)	140 (7.72)	500 (28.85)	3,214 (27.02)
気道確保	220 (2.99)	3 (0.30)	29 (1.60)	29 (1.67)	281 (2.36)
うち経鼻エアウェイ	5	0	1	1	7
うち喉頭鏡、鉗子等による異物除去	1	0	3	0	4
※うちラリngeアルマスク等	1	0	1	0	2
※うち気管挿管	14	0	4	2	20
喉頭鏡使用	6	0	2	1	9
ビデオ喉頭鏡使用	8	0	2	1	11
除細動	20 (0.27)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.06)	21 (0.18)
血糖測定	134 (1.82)	0 (0.00)	5 (0.28)	2 (0.12)	141 (1.19)
※静脈路確保	123 (1.67)	0 (0.00)	10 (0.55)	9 (0.52)	142 (1.19)
心肺停止前	83	0	6	6	95
心肺停止後	40	0	4	3	47
※薬剤投与	50 (0.68)	0 (0.00)	3 (0.17)	0 (0.00)	53 (0.45)
※うちアドレナリン投与	27	0	3	0	30
※うちブドウ糖投与	23	0	0	0	23
うちエビベン投与	0	0	0	0	0
その他の処置	7,224 (98.15)	982 (99.19)	1,792 (98.84)	1,658 (95.67)	11,656 (97.98)
合計	26,618	3,457	6,233	6,204	42,512
※特定行為	188	0	18	11	217

※()内は事故種別ごとの実施率(%)を示す。

21 傷病程度別応急処置等実施状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
応急処置等 対象搬送人員	237	1,431	4,553	5,673	2	11,896
応急処置等項目						
止血	0 (0.00)	28 (1.96)	74 (1.63)	208 (3.67)	0 (0.00)	310 (2.61)
被覆	0 (0.00)	33 (2.31)	94 (2.06)	259 (4.57)	0 (0.00)	386 (3.24)
固定	6 (2.53)	43 (3.00)	128 (2.81)	230 (4.05)	0 (0.00)	407 (3.42)
保温	8 (3.38)	209 (14.61)	572 (12.56)	417 (7.35)	0 (0.00)	1,206 (10.14)
酸素吸入	210 (88.61)	461 (32.22)	781 (17.15)	186 (3.28)	0 (0.00)	1,638 (13.77)
人工呼吸	0 (0.00)	7 (0.49)	2 (0.04)	0 (0.00)	0 (0.00)	9 (0.08)
胸骨圧迫	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
うち自動式心マッサージ器	0	0	0	0	0	0
心肺蘇生	215 (90.72)	38 (2.66)	1 (0.02)	0 (0.00)	0 (0.00)	254 (2.14)
うち自動式心マッサージ器	34	2	0	0	0	36
在宅療法継続	1 (0.42)	3 (0.21)	6 (0.13)	3 (0.05)	0 (0.00)	13 (0.11)
ショックパンツ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
血圧測定	40 (16.88)	1,362 (95.18)	4,368 (95.94)	5,326 (93.88)	2 (0.04)	11,098 (93.29)
心音・呼吸音聴取	21 (8.86)	97 (6.78)	192 (4.22)	140 (2.47)	0 (0.00)	450 (3.78)
血中酸素飽和度測定	39 (16.46)	1,357 (94.83)	4,373 (96.05)	5,462 (96.28)	2 (0.04)	11,233 (94.43)
心電図測定	201 (84.81)	740 (51.71)	1,188 (26.09)	1,085 (19.13)	0 (0.00)	3,214 (27.02)
気道確保	204 (86.08)	63 (4.40)	9 (0.20)	5 (0.09)	0 (0.00)	281 (2.36)
うち経鼻エアウェイ	5	2	0	0	0	7
うち喉頭鏡、鉗子等による異物除去	4	0	0	0	0	4
※うちラリゲアルマスク等	2	0	0	0	0	2
※うち気管挿管	16	4	0	0	0	20
喉頭鏡使用	8	1	0	0	0	9
ビデオ喉頭鏡使用	8	3	0	0	0	11
除細動	11 (4.64)	10 (0.70)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	21 (0.18)
血糖測定	2 (0.84)	35 (2.45)	59 (1.30)	45 (0.79)	0 (0.00)	141 (1.19)
※静脈路確保	38 (16.03)	37 (2.59)	39 (0.86)	28 (0.49)	0 (0.00)	142 (1.19)
うち心肺停止前	1	27	39	28	0	95
うち心肺停止後	37	10	0	0	0	47
※薬剤投与	22 (9.28)	9 (0.63)	9 (0.20)	13 (0.23)	0 (0.00)	53 (0.45)
※うちアドレナリン投与	22	8	0	0	0	30
※うちブドウ糖投与	0	1	9	13	0	23
うちエピペン投与	0	0	0	0	0	0
その他の処置	107 (45.15)	1,398 (97.69)	4,511 (99.08)	5,638 (99.38)	2 (0.04)	11,656 (97.98)
合計	1,125	5,930	16,406	19,045	6	42,512
※特定行為	78	50	48	41	0	217

※()内は傷病程度別ごとの実施率(%)を示す。

22 心肺機能停止傷病者の救命効果の推移

平成18年から令和4年における救急隊が搬送した心肺機能停止傷病者のうち、救急隊の目前で心肺停止状態となった傷病者の1ヵ月後生存率は18.6%となっています。一方、発見時に既に心肺停止状態となっていた傷病者、もしくは救急隊が到着時において既に心肺停止状態となっていた傷病者の1ヵ月後生存率は5.9%となっています。

なお、現場に居合わせた人（バイスタンダー）により応急手当が実施されていた場合の1ヵ月後生存率は6.6%で、バイスタンダーによる応急手当が実施されていない場合の1ヵ月後生存率5.2%と比較して約1.3倍救命効果が高い数値となっています。

救急自動車の現場到着に要する平均所要時間は年々遅延傾向にあることから、救急隊が到着するまでの間における、バイスタンダーによる応急手当の重要性がさらに高まり、迅速かつ適切に実施されることにより、より高い救命効果が期待できます。

区分 年	救急隊が搬送した心肺機能停止傷病者数													
	救急隊の目前で心肺機能が停止した傷病者数						発見時・救急隊が現場到着前に心肺機能が停止していた傷病者数							
							バイスタンダーによる応急手当が実施されていた傷病者数				バイスタンダーによる応急手当が実施されていなかった傷病者数			
							うち1か月後生存者数		うち1か月後生存者数		うち1か月後生存者数		うち1か月後生存者数	
人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	
平成18年	161	100.0%	14	8.7%	1	7.1%	60	37.3%	4	6.7%	87	54.0%	2	2.3%
平成19年	173	100.0%	11	6.4%	3	27.3%	81	46.8%	4	4.9%	81	46.8%	6	7.4%
平成20年	163	100.0%	16	9.8%	1	6.3%	59	36.2%	3	5.1%	88	54.0%	2	2.3%
平成21年	158	100.0%	17	10.8%	2	11.8%	65	41.1%	4	6.2%	76	48.1%	6	7.9%
平成22年	193	100.0%	13	6.7%	3	23.1%	91	47.2%	4	4.4%	89	46.1%	4	4.5%
平成23年	218	100.0%	22	10.1%	4	18.2%	93	42.7%	6	6.5%	103	47.2%	7	6.8%
平成24年	223	100.0%	19	8.5%	2	10.5%	98	43.9%	7	7.1%	106	47.5%	7	6.6%
平成25年	240	100.0%	13	5.4%	2	15.4%	109	45.4%	11	10.1%	118	49.2%	7	5.9%
平成26年	187	100.0%	12	6.4%	3	25.0%	87	46.5%	7	8.0%	88	47.1%	1	1.1%
平成27年	206	100.0%	20	9.7%	3	15.0%	106	51.5%	4	3.8%	80	38.8%	8	10.0%
平成28年	198	100.0%	18	9.1%	2	11.1%	97	49.0%	9	9.3%	83	41.9%	8	9.6%
平成29年	196	100.0%	21	10.7%	5	23.8%	84	42.9%	4	4.8%	91	46.4%	3	3.3%
平成30年	195	100.0%	24	12.3%	7	29.2%	97	49.7%	8	8.2%	74	37.9%	4	5.4%
令和元年	204	100.0%	13	6.4%	7	53.8%	94	46.1%	8	8.5%	97	47.5%	4	4.1%
令和2年	227	100.0%	17	7.5%	3	17.6%	114	50.2%	6	5.3%	96	42.3%	3	3.1%
令和3年	210	100.0%	15	7.1%	2	13.3%	121	57.6%	5	4.1%	74	35.2%	2	2.7%
令和4年	251	100.0%	20	8.0%	3	15.0%	132	52.6%	11	8.3%	99	39.4%	6	6.1%
計	3,403	100.0%	285	8.4%	53	18.6%	1,588	46.7%	105	6.6%	1,530	45.0%	80	5.2%

※平成18年からウツタインデータで統計処理を開始した以降のデータを示す。

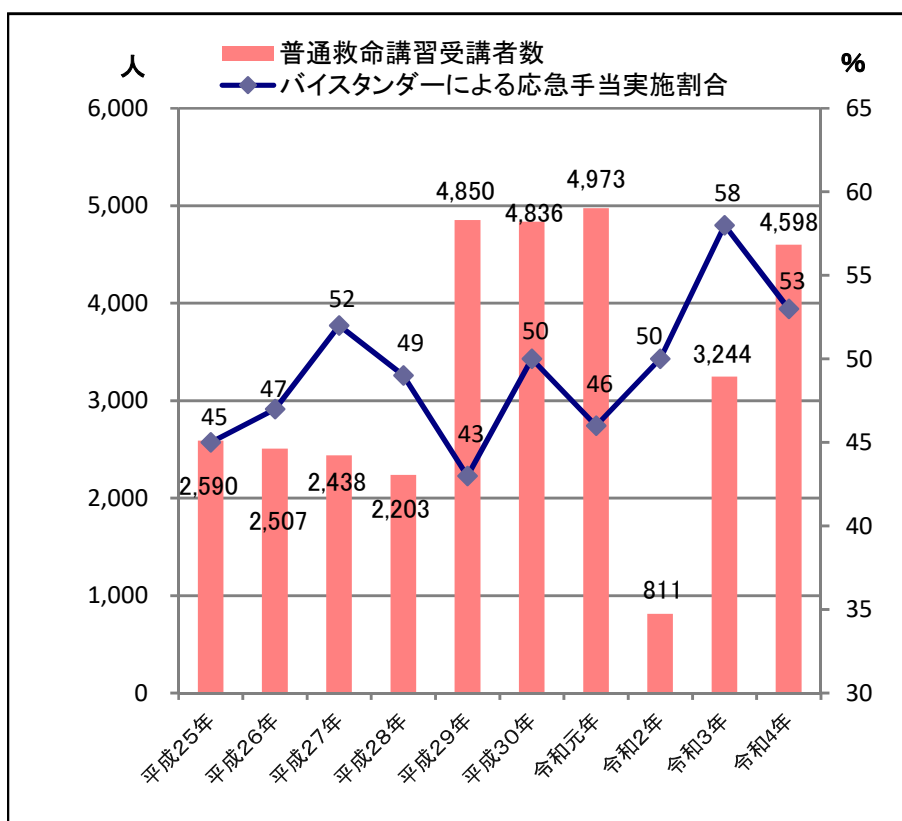
※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

23 応急手当普及啓発実施状況

年	普通救命講習				上級救命講習				その他の講習			
	回数		人数		回数		人数		回数		人数	
	年計	累計	年計	累計	年計	累計	年計	累計	年計	累計	年計	累計
平成7年	79	79	1,990	1,990	0	0	0	0	0	0	0	0
平成8年	105	184	2,143	4,133	0	0	0	0	43	43	4,734	4,734
平成9年	55	239	1,806	5,939	0	0	0	0	41	84	3,867	8,601
平成10年	61	300	1,605	7,544	6	6	149	149	49	133	5,875	14,476
平成11年	73	373	2,199	9,743	3	9	69	218	67	200	5,533	20,009
平成12年	70	443	1,976	11,719	2	11	21	239	65	265	5,543	25,552
平成13年	66	509	1,465	13,184	2	13	46	285	60	325	4,172	29,724
平成14年	71	580	1,622	14,806	4	17	164	449	69	394	4,268	33,992
平成15年	87	667	1,882	16,688	0	17	0	449	127	521	4,936	38,928
平成16年	97	764	2,445	19,133	5	22	230	679	125	646	4,794	43,722
平成17年	92	856	2,234	21,367	2	24	51	730	135	781	4,570	48,292
平成18年	131	987	3,156	24,523	2	26	23	753	125	906	5,538	53,830
平成19年	130	1,117	2,804	27,327	3	29	38	791	143	1,049	5,178	59,008
平成20年	118	1,235	2,549	29,876	0	29	0	791	119	1,168	4,433	63,441
平成21年	110	1,345	2,326	32,202	3	32	65	856	127	1,295	5,630	69,071
平成22年	124	1,469	2,149	34,351	1	33	25	881	126	1,421	5,009	74,080
平成23年	117	1,586	2,086	36,437	1	34	22	903	102	1,523	5,504	79,584
平成24年	124	1,710	2,343	38,780	1	35	26	929	160	1,683	5,760	85,344
平成25年	137	1,847	2,590	41,370	1	36	25	954	140	1,823	4,201	89,545
平成26年	139	1,986	2,507	43,877	1	37	37	991	121	1,944	4,795	94,340
平成27年	127	2,113	2,438	46,315	1	38	27	1,018	133	2,077	5,971	100,311
平成28年	125	2,238	2,203	48,518	2	40	54	1,072	103	2,180	4,381	104,692
平成29年	155 (18)	2,393 (18)	4,850 (2,082)	53,368 (2,082)	1	41	30	1,102	131 (33)	2,311 (33)	5,917 (1,997)	110,609 (1,997)
平成30年	158 (17)	2,551 (35)	4,836 (2,021)	58,204 (4,103)	4	45	85	1,187	116 (33)	2,427 (66)	5,481 (2,163)	116,090 (4,160)
令和元年	154 (19)	2,705 (54)	4,973 (2,152)	63,177 (6,255)	2	47	52	1,239	129 (33)	2,556 (99)	5,706 (2,111)	121,796 (6,271)
令和2年	46 (2)	2,751 (56)	811 (264)	63,988 (6,519)	0	47	0	1,239	32 (0)	2,588 (99)	985 (0)	122,781 (6,271)
令和3年	83 (22)	2,834 (78)	3,244 (2,461)	67,232 (8,980)	1	48	22	1,261	62 (25)	2,650 (124)	2,249 (1,531)	125,030 (7,802)
令和4年	112 (29)	2,946 (107)	4,598 (3,395)	71,830 (12,375)	2	50	28	1,289	86 (25)	2,736 (149)	3,592 (2,055)	128,622 (9,857)

※()内は、次世代の救急救命講習実績を、うち数として示しています。
 ※平成7年 応急手当普及啓発活動実施要綱策定以降の統計を掲載しています。
 ※令和2年は新型コロナウイルス感染症対策として、一時講習を停止していました。

24 普通救命講習受講者数と心肺停止傷病者への応急手当実施率の推移



※令和2年は新型コロナウイルス感染症対策として、一時講習を停止していました。

25 四国県庁所在都市の救急活動状況

(令和4年)

都市	出動件数	搬送人員	人口	人口1万人当たりの 出動件数
高松市 (受託2町含む)	25,263	21,828	462,570	546
松山市	28,390	26,026	505,562	562
高知市	20,432	18,183	320,887	637
徳島市	13,766	11,896	249,322	552

※人口は令和4年12月1日現在の推計人口による。

26 徳島市内の救急告示医療機関

令和4年12月23日現在

	医療機関名	所在地	診療科目	病床数	電話	救急医療体制
1	徳島県立中央病院	蔵本町1丁目10番地の3	内、消、循、呼、精神、小、外、心血、脳外、整形、形成、眼、耳咽、皮、泌尿、産、放、麻、歯、救急	460	631-7151	3次病院
2	徳島大学病院	蔵本町2丁目50番地の1	内、循、神経、精神、小、外、心血、脳外、整形、形成、小外、眼、耳咽、皮、泌尿、産、放、麻、歯、矯歯、小歯、口外	692	631-3111	〃
3	徳島市民病院	北常三島町2丁目34番地	内、小、外、脳外、整形、眼、耳咽、皮、泌尿、産、放、麻、リハ	335	622-5121	2次病院
4	田岡病院	万代町4丁目2番地の2	内、胃、循、外、脳外、整形、眼、泌尿、婦、小、神内、皮膚、放、リハ、救急	199	622-7788	〃
5	松永病院	南庄町4丁目63番地の1	内、循、消、整形、外、皮、小、リハ	27	632-3328	〃
6	協立病院	八万町寺山13番地の2	内、小、外、脳外、整形、眼、耳咽、皮、泌尿、産、放、麻、リハ	326	668-1070	〃
7	中洲八木病院	中洲町1丁目31番地	内、循、外、整形、リハ、リウ	105	625-3535	〃
8	水の都記念病院	北島田町1丁目46番11	内、胃、循、外、脳外、リハ、小、歯、放	80	632-9299	〃
9	川島病院	北佐古一番町6番1号	内、循、泌、皮、整形、脳外放、歯、リハ	123	631-0110	〃
10	徳島健生病院	下助任町4丁目9番地	内、外科、整形、眼、小循、麻、放、肛、リハ	186	622-7771	〃
11	天満病院	蔵本町1丁目5番地の1	内、消、整外、眼、リハ	55	632-1520	〃
12	博愛記念病院	勝占町惣田9番地	内、消、呼、循、皮、リハ、放	210	669-2166	〃
13	沖の洲病院	城東町一丁目8番8号	内、外、脳外、整形、泌尿、婦、放、麻	52	622-7111	〃
14	たまき青空病院	国府町早淵字北カシヤ56番地1	内、外、脳外、整形、泌尿、放、麻、耳鼻	100	642-5050	〃

〈 救 助 統 計 〉

(概 要)

令和4年における救助隊の出動件数は151件、救助活動件数は74件、救助人員は69人で、昨年と比べ、出動件数は20件減少、救助活動件数は変わらず、救助人員は4人増加しました。

事故種別では、建物等による事故が最も多く30件、続いて交通事故の28件、水難事故の6件の順となっています。

また、救助人員では、建物等による事故が最も多く22人、続いて交通事故が19人の順となっています。

1 事故種別救助活動状況

区分 種別	令和4年中			令和3年中			対前年比
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数 増 減 数
火 災	5 (3.3)	5 (6.8)	1 (1.4)	10 (5.8)	10 (13.5)	3 (4.6)	-5
交通事故	28 (18.5)	15 (20.3)	19 (27.5)	31 (18.1)	15 (20.3)	17 (26.2)	-3
水難事故	6 (4.0)	5 (6.8)	3 (4.3)	13 (7.6)	11 (14.9)	11 (16.9)	-7
自然災害	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
機械による 事故	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (2.3)	2 (2.7)	2 (3.1)	-2
建物等による事故	30 (19.9)	22 (29.7)	22 (31.9)	32 (18.7)	22 (29.7)	20 (30.8)	-2
ガス及び 酸欠事故	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
破裂事故	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
そ の 他	80 (53.0)	27 (36.5)	24 (34.8)	81 (47.4)	14 (18.9)	12 (18.5)	-1
合 計	151 (100)	74 (100)	69 (100)	171 (100)	74 (100)	65 (100)	-20

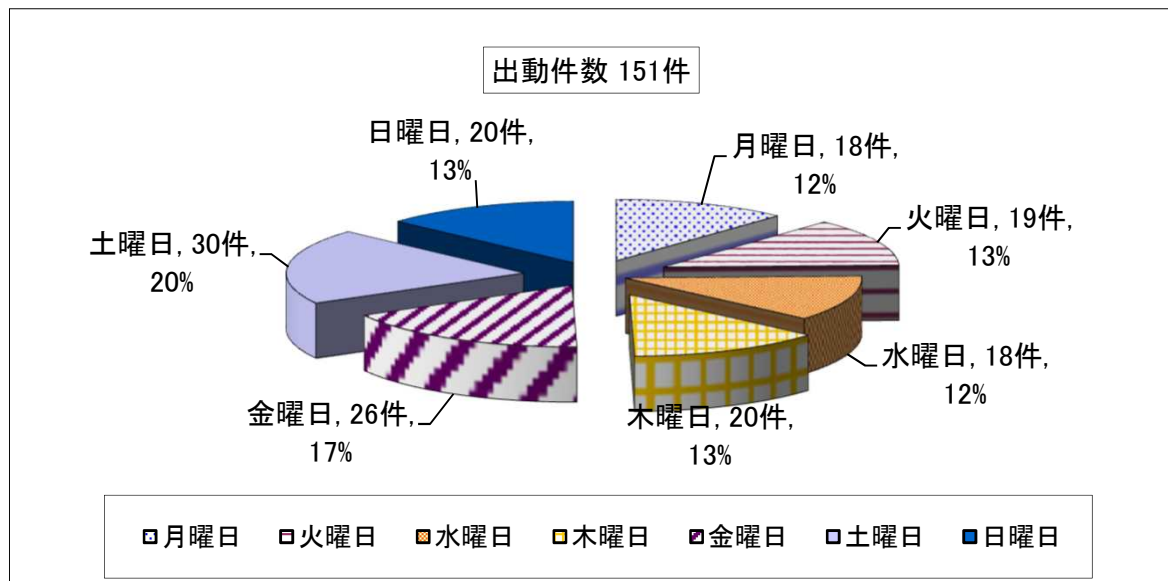
※()内は、事故種別ごとの構成比(%)を示す。

※構成比は合計しても100%にならない場合があります。

2 地区別出動状況

	火 災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合 計
佐 古	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
新 町	0	1	0	0	0	2	0	0	5	8
西富田	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
東富田	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
昭 和	0	0	0	0	0	2	0	0	5	7
津 田	1	0	2	0	0	4	0	0	5	12
内 町	0	1	0	0	0	1	0	0	2	4
渭 東	0	1	0	0	0	1	0	0	5	7
沖 州	0	2	1	0	2	3	0	0	2	10
渭 北	1	2	1	0	0	3	0	0	4	11
八 万	1	2	0	0	0	1	0	0	8	12
加 茂	0	0	0	0	0	3	0	0	4	7
加茂名	1	3	0	0	0	4	0	0	7	15
不 動	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
多家良	0	0	0	0	0	1	0	0	8	9
勝 占	0	0	0	0	0	1	0	0	5	6
上八万	0	2	0	0	0	1	0	0	2	5
入 田	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
川 内	0	8	1	0	0	2	0	0	3	14
応 神	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
国 府	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
南井上	0	2	0	0	0	0	0	0	2	4
北井上	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
市 外	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計	5	28	6	0	2	30	0	0	80	151

3 曜日別出動件数



4 過去5年間の救助活動状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数	201	183	199	171	151
活動件数	93	79	96	74	74
救助人員	87	74	94	65	69

5 救助隊員訓練実施状況

種 別 \ 区 分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体 力 錬 成	532	2,259	566.0
ロープ基本応用訓練	92	381	182.5
検 索 ・ 救 助 訓 練	111	478	374.5
各種救助器具取扱訓練	202	845	387.5
各種救助事象想定訓練	262	1,146	551.0
合 計	1,199	5,109	2,061.5

消 防 団

1 消 防 団 の 沿 革

自治体消防発足後

昭和23年	6月	本部及び13分団、配置定員948人の団員を以て組織され、手曳ガソリンポンプ25台と腕用ポンプ10台を配置した。
昭和26年	4月	多家良、勝占両村の合併により、2消防団を本市消防団13分団に編入し15分団、903人の団員をもって編成した。また、同年多家良分団に三輪ポンプ車1台を配置し、渭東分団の手曳きガソリンポンプを三輪ポンプ車に改装した。
昭和27年	4月	加茂名分団（鮎喰）、加茂分団（矢三）に手曳きガソリンポンプをそれぞれ1台配置した。また、富田分団及び佐古分団の手曳きガソリンポンプを三輪消防車に改装した。
昭和28年	2月	全国優良消防団として日本消防協会長から表彰状と表彰旗を授与された。
〃	3月	勝占分団に小型消防車（ダットサン）を消防署より移管した。
昭和30年	1月	新居町（改め不動町）、入田村、同2月上八万村、同年3月川内村の合併編入により4分団増加19分団制となり、団員数1,473人をもって編成する。
〃	6月	津田分遣所を設置し、消防ポンプ自動車（キャリア）1台を配置した。
〃	10月	八万分遣所を設置し、三輪消防ポンプ自動車を新調配車した。
昭和31年	2月	渭東分団にジープ級消防ポンプ自動車を新調した。
昭和32年	2月	沖洲分団にジープ級消防ポンプ自動車を新調した。
〃	5月	渭東、渭北、佐古、東富田の各分団に分遣所を設置した。
昭和33年	3月	陸上移動無線局5局（佐古、渭北、東富田、津田、八万分遣所）を増設した。
〃	9月	第2回 徳島県消防操法競技大会 準優勝（沖洲分団）
昭和34年	3月	渭東分遣所に無線局を増設した。
〃	4月	沖洲分団に分遣所を設置した。
〃	9月	第3回 徳島県消防操法競技大会 優勝（沖洲分団）
昭和37年	4月	昭和分団に消防ポンプ自動車（トヨタ・A2級）1台を新調した。
〃	12月	佐古分団に消防ポンプ自動車（トヨタ・A2級）1台を新調した。
昭和38年	12月	渭北分団に消防ポンプ自動車1台を新調した。
昭和41年	10月	応神村の合併により消防団を本市消防団に編入し、21分団1,635人の団員をもって編成する。
昭和42年	1月	名東郡国府町の合併により消防団を本市消防団に編入し、22分団2,084人の団員をもって編成する。
〃	2月	渭東分団に消防ポンプ自動車1台を新調した。
〃	6月	八万分遣所を廃止した。
昭和43年	1月	消防団整備統合を実施し、従来22分団、2,084人を19分団（内町、新町、水上各分団を廃止）1,189人とする。
昭和44年	10月	消防ポンプ自動車1台を購入し、沖洲分遣所に配置した。
昭和45年	3月	消防ポンプ自動車1台を購入し、八万分団二軒屋班に配置した。
昭和48年	3月	消防ポンプ自動車1台を購入し、加茂分遣所に配置した。
〃	4月	加茂分遣所を開設発足する。消防団整備計画に基づき団員定数1,189人を1,163人とする。

昭和49年	3月	消防ポンプ自動車1台を購入し、上八万分遣所に配置した。
〃	6月	消防ポンプ自動車1台を購入し、津田分遣所に配置した。
〃	7月	日本消防協会から小型動力ポンプ及び積載車各1台の寄贈を受け、入田分団に配置した。
〃	8月	小型動力ポンプ1台を購入し、国府分団延命班に配置した。
〃	10月	津田分遣所を改築した。
〃	11月	応神分遣所を開設発足した。
昭和50年	4月	消防団整備計画に基づき団員定数1,163人を988人とする。
昭和51年	3月	八万分遣所を開設発足した。
〃	4月	消防団整備計画に基づき団員定数988人を850人とする。
〃	5月	佐古分遣所を改築した。
〃	6月	北井上分遣所を開設発足した。
昭和51年	7月	消防団整備計画に基づき団員定数850人を750人とする。
昭和52年	3月	多家良分遣所を開設発足した。
〃	〃	消防ポンプ自動車1台を購入し、多家良分遣所に配置した。
〃	5月	沖洲分遣所を改築した。
〃	7月	消防団整備計画に基づき団員定数750人を711人とする。
昭和53年	2月	消防ポンプ自動車2台を購入し、佐古分遣所及び東富田分遣所に配置した。
〃	9月	渭北、内町西部防火防災協力会から超短波無線電話機（車載1台）の寄贈を受け、渭北分遣所に配置した。
〃	12月	渭北分遣所を改築した。
〃	〃	消防ポンプ自動車1台を購入し、渭北分遣所に配置した。
昭和54年	2月	消防ポンプ自動車1台を購入し、川内分遣所に配置した。
〃	7月	川内分遣所を開設発足した。
〃	10月	団員定数711人を649人とする。
〃	11月	消防ポンプ自動車2台を購入し、北井上分遣所及び加茂名分団に配置した。
昭和55年	6月	加茂名分遣所を開設発足した。
〃	11月	消防ポンプ自動車2台を購入し、応神分遣所及び昭和分団に配置した。
昭和56年	4月	団員定数649人を640人とする。
〃	11月	多家良分団洪野班詰所を改築した。
〃	12月	消防ポンプ自動車3台を購入し、渭東分遣所、入田及び不動分団に配置した。
昭和57年	4月	入田及び不動分遣所を開設発足した。
〃	5月	東富田分遣所を改築した。
〃	9月	上八万分遣所を増築した。
昭和58年	8月	小型動力ポンプ1台を購入し、八万分団に配置した。
昭和58年	8月	小型動力ポンプ1台を購入し、多家良分団に配置した。
昭和59年	11月	消防ポンプ自動車1台を購入し、沖洲分団に配置した。
昭和60年	8月	小型動力ポンプ1台を購入し、勝占分団東部班に配置した。
〃	12月	消防ポンプ自動車2台を購入し、八万分遣所、西富田分団に配置した。
昭和61年	3月	八万分団長谷班詰所を改築移転した。
〃	10月	小型動力ポンプ積載車1台を、勝占分団東部班に配置した。
昭和62年	8月	消防ポンプ自動車1台を購入し、加茂分遣所に配置した。
〃	12月	国府分団延命班詰所を移転新築した。
昭和63年	7月	小型動力ポンプ積載車1台を購入し、八万分団長谷班に配置した。

昭和 63 年	8 月	(財) 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台の寄贈を受け国府分団延命班に配置した。
〃	〃	消防ポンプ自動車 2 台を購入し、上八万分団(CD- I、4WD)、津田分団(CD- I)に配置した。
〃	9 月	分団招集サイレン吹鳴遠隔装置を勝占分団中部班に設置した。
〃	〃	第 16 回 徳島県消防操法競技大会 優勝(上八万分団)
〃	12 月	超短波無線機(車載6台)を購入し、消防団に配置した。
〃	〃	各分団にファクシミリを配置した。
平成 元年	3 月	分団招集サイレン吹鳴遠隔装置を八万分団長谷班、勝占分団東部班、多家良分団渋野・飯谷班、国府分団延命班に設置した。
〃	〃	消防ポンプ自動車(CD- I、4WD) 1 台を購入し、多家良分団に配置した。
〃	〃	小型動力ポンプ積載車1台を購入し、多家良分団渋野班に配置した。
平成 元年	4 月	団員定数640人を560人とする。
〃	〃	消防団員の定年制を導入し、役員の任期も規定した。
〃	〃	分遣所制度の改革により、分遣所職員を消防局に引き揚げ、分団招集サイレン吹鳴遠隔装置、ファクシミリ、無線受令機、ポケットベルを整備した。
平成 元年	9 月	消防ポンプ自動車(CD- I、4WD) 1 台を購入し、勝占分団中部班に配置した。
平成 元年	11 月	超短波無線機(車載4台)を購入し、入田、川内、応神及び国府分団に配置した。
平成 2 年	3 月	勝占分団東部班詰所を改築した。
〃	〃	勝占分団詰所を改築した。
〃	9 月	消防ポンプ自動車(CD- I) 2 台を購入し、佐古及び東富田分団に配置した。
〃	11 月	超短波無線機(車載2台)を購入し、多家良及び不動分団に配置した。
平成 3 年	3 月	渭東分団詰所を改築した。
〃	〃	昭和分団詰所を改築した。
〃	11 月	超短波無線機(車載2台)を購入し、八万及び加茂分団に配置した。
〃	12 月	消防ポンプ自動車(CD- I) 1 台を購入し、川内分団に配置した。
平成 4 年	2 月	西富田分団詰所を改築した。
〃	7 月	小型動力ポンプ積載車1台を購入し、多家良分団飯谷班に配置した。
〃	9 月	消防ポンプ自動車(CD- II) 1 台を購入し、渭北分団に配置した。
〃	〃	超短波無線機(車載2台)を購入し、津田及び上八万分団に配置した。
平成 5 年	9 月	活性化問題検討委員会を設置し、平成6年3月、消防団長に検討結果を報告した。
平成 6 年	7 月	第 19 回 徳島県消防操法競技大会 準優勝(川内分団)
平成 7 年	7 月	ふるさと消防団活性化助成事業により、消防団員手帳を作成し団員に対し交付した。
〃	10 月	消防団活性化対策として消防無線受令機 22 台を購入し、各分団(八万分団を除く。)に各1台配置した。
〃	11 月	超短波無線機(車載)を購入し、加茂名分団に配置した。
〃	〃	ふるさと消防団活性化助成事業により、冊子「がんばれ消防団」を作成し、市民に対し配付した。
平成 8 年	4 月	定年制度を変更し、団員の定年を 60 歳、班長以上の定年を 65 歳とした。
〃	10 月	消防団活性化対策として消防無線受令機 19 台を購入し、各分団に配置した。
〃	11 月	消防ポンプ自動車(CD- I) 2 台を購入し、国府分団及び加茂名分団に配置した。
平成 9 年	4 月	作業帽の周章の統一を図った。
〃	8 月	資機材及び装備品の点数制度を導入した。

平成 9 年	9 月	盛夏服の半袖を導入した。
平成 10 年	1 月	消防団活性化対策として消防無線受令機 19 台を購入し、各分団に配置した。
〃	〃	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、応神分団に配置した。
〃	3 月	沖洲分団詰所を移転新築した。
〃	9 月	ポケットベルを団本部及び各分団に合計282台配置し、消防団員招集システムの整備を図った。
平成 11 年	3 月	多家良分団詰所を移転新築した。
〃	10 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（CD-I）の寄贈を受け、昭和分団に配置した。
平成 12 年	4 月	渭東分団詰所を福島一丁目 9 番 5 号へ移転新築した。
〃	7 月	第 22 回 徳島県消防操法競技大会 第 6 位（国府分団）
〃	9 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、渭東分団、不動分団、入田分団に配置した。入田分団については、山間部用に 4WD 車を配置した。
平成 13 年	3 月	加茂分団詰所を移転新築、多家良分団飯谷班詰所を改築した。
平成 14 年	3 月	入田分団詰所を改築した。
平成 15 年	3 月	多家良分団渋野班詰所を移転新築した。
〃	5 月	本市で初めて加茂名分団に女性消防団員 1 人を任用した。
平成 15 年	9 月	活動帽をアポロキャップに変更し、全分団員に配備した。
〃	11 月	消防ポンプ自動車（CD-I）1 台を購入し、沖洲分団に配置した。
平成 16 年	1 月	優良消防団として機関表彰を受け、表彰状と表彰旗を授与された。
〃	6 月	団員 114 人を増員し、団員定数 674 人（うち副団長 2 人及び班長 17 人を増員）とする
〃	10 月	新規格の活動服に変更し、全分団員に配付した。
平成 17 年	2 月	災害対応に係る感謝状を県知事から贈呈された。
〃	〃	消防団地域活動表彰（特別推薦）を受け消防庁長官から表彰状を授与された。
〃	6 月	消防分団装備の充実強化を図るため地域特性を配慮し、人命救助用資機材及び水難救助用資機材を配置した。
〃	12 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、八万分団に配置した。
平成 18 年	2 月	全国優良消防団として日本消防協会長から表彰状と表彰旗を授与された。
〃	6 月	消防団招集メールシステムを導入した。
〃	11 月	川内分団詰所を移転新築した。
〃	12 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、西富田分団に配置した。
平成 19 年	9 月	渭北分団詰所の耐震補強工事が完了した。
平成 20 年	3 月	津田分団詰所を移転新築した。
〃	4 月	定年制度を変更し、団員の定年を 65 歳とした。
〃	〃	徳島市消防団協力事業所表示制度の運用を開始した。
平成 21 年	3 月	健康促進ビデオ制作の協力者として日本消防協会長から表彰状を授与された。
〃	12 月	勝占分団東部班に小型動力ポンプ付積載車を更新配置した。
平成 22 年	3 月	上八万分団詰所を移転新築した。
〃	12 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、加茂分団に配置した。
平成 23 年	3 月	応神分団詰所を新築した。
〃	12 月	八万分団長谷班、国府分団延命班に小型動力ポンプ付積載車を更新配置した。
平成 24 年	3 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、上八万分団に配置した。
〃	〃	国府分団詰所を新築した。
〃	6 月	地震・津波発生時の行動基準を策定した。

平成 24 年 1 1 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、津田分団に配置した。
平成 25 年 3 月	昭和分団詰所を新築した。
平成 25 年 1 2 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、多家良分団に配置した。
平成 26 年 4 月	団員、班長、部長、副分団長の年報酬を引き上げた。
〃 〃	退職報償金額を引き上げた。
平成 27 年 2 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、勝占分団に配置した。
平成 27 年 3 月	八万分団詰所を移転新築した。
平成 27 年 4 月	団本部に広報啓発班（さくら連）を設置し運用を開始した。
〃 〃	年報酬及び出動費用弁償を個人払いに変更した。
〃 1 1 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、佐古分団及び東富田分団に配置した。
平成 28 年 4 月	出動費用弁償額を 5 0 0 円増額するとともに、支出項目を拡大した。
〃 〃	新規格の活動服に変更し、全分団員に配布した。
〃 6 月	地震・津波発生時の行動基準を改正し更新した。
〃 7 月	第 3 0 回 徳島県消防操法大会第 4 位（応神分団）
〃 1 0 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、川内分団に配置した。
平成 29 年 2 月	不動分団詰所の改修工事が完了した。
〃 9 月	加茂名分団詰所を移転新築した。
〃 1 1 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、渭北分団に配置した。
〃 1 1 月	小型動力ポンプ付積載車を購入し、多家良分団飯谷班に配置した。
〃 1 2 月	アポロキャップのデザインを一新し、全分団員に配布した。
平成 30 年 4 月	機能別団員制度の運用を開始し、条例定数を 6 7 4 人から 7 7 4 人に増員、基本団員を 6 7 4 人、機能別団員を 1 0 0 人とした。
〃 〃	徳島市学生消防団活動認証制度の運用を開始した。
〃 7 月	機能別団員用アポロキャップを 1 0 0 個整備した。
〃 8 月	機能別団員活動用ベストを 1 0 0 着整備した。
〃 9 月	先芯及び踏み抜き防止板入りの防火長靴を整備（全分団員への整備 2 カ年計画の 1 年目）
〃 1 2 月	佐古分団詰所の改修工事が完了した。
〃 〃	上下型防火衣を各分団及び各班に整備（5 カ年で【230 着】整備計画の 1 年目）
平成 31 年 2 月	消防ポンプ自動車（CD-I）を購入し、加茂名分団及び国府分団に配置した。
〃 3 月	団本部に総務省消防庁無償貸付車両（救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 CD-I）を配置した。
令和 元年 6 月	機能別団員発足式を実施した。
〃 〃	徳島市学生消防団活動認証制度、認証第 1 号を交付した。
〃 9 月	先芯及び踏み抜き防止板入りの防火長靴を整備（全分団員への整備 2 カ年計画の 2 年目）
〃 〃	上下型防火衣を各分団及び各班に整備（5 カ年で【230 着】整備計画の 2 年目）
令和 2 年 3 月	機能別団員の確保を通じた地域防災体制の充実に寄与したとして、総務大臣から感謝状を授与された。
令和 3 年 4 月	機能別団員の確保を通じた地域防災体制の充実に寄与したとして、総務大臣から感謝状を授与された。
令和 3 年 7 月	勝占分団東部班詰所の便所改修工事が完了した。
令和 4 年 3 月	機能別団員の確保を通じた地域防災体制の充実に寄与したとして、総務大臣から感謝状を授与された。

令和	4年	4月	出動に応じて支給する費用弁償に代えて出動報酬を支給することとした。
令和	4年	11月	消防団の力向上モデル事業費国庫補助金を活用し、消防団入団促進イベント「団フェス」を開催した。
令和	5年	2月	公益財団法人日本消防協会より交付された消防団活動車（局広報1号車）を配置した。
令和	5年	3月	総務省消防庁が開催した消防団PRムービーコンテストで、最優秀賞を受賞した。

2 主たる消防団行事

令和 4 年

4 月 1 日	正副団長会
5 月 1 0 日	定例代議員会（書面会議）
5 月・6 月	機能別団員基本研修（リモート：3 回）
5 月 2 8 日	新任団員訓練（西消防署）
6 月・7 月	普通救命講習（機能別団員：4 回）
6 月 5 日	女性消防団員スキルアップ研修
6 月 1 2 日	新任団員訓練（東消防署）
6 月 2 2 日	避難拠点初動要員研修
7 月	普通救命講習（基本団員：5 回）
7 月～1 0 月	実務訓練：1 9 回
7 月～2 月	機能別団員ミーティング：8 回
7 月 5 日	定例代議員会（書面会議）
7 月 1 7 日	第 2 7 回全国女性消防団員活性化徳島大会に伴う活性化委員会
7 月 1 8 日	第 3 3 回徳島県消防操法大会
8 月 2 6 日	消防団事務研修
8 月 2 9 日	正副団長会（書面会議）
9 月 1 日	徳島市消防団活性化推進委員会（書面会議）
9 月 2 日	定例代議員会（書面会議）
9 月 1 6 日	臨時正副団長会
9 月 2 1 日	臨時代議員会
1 0 月・1 1 月	消防学校教育（基礎教育・専科教育・幹部教育）
1 0 月 3 0 日	市民総合防災訓練（千松小学校）
1 1 月 2 日	定例代議員会（書面会議）
1 1 月 9 日～1 5 日	秋季火災予防運動
1 1 月 1 2 日	第 1 回女性消防団員とママさん防災士とのワークショップ
1 1 月 2 2 日	第 2 7 回全国女性消防団員活性化徳島大会
1 1 月 2 3 日	消防団入団促進イベント「団フェス」
1 1 月 2 6 日	消防団員研修（交通安全研修）
1 2 月 4 日	市民総合防災訓練（内町小学校）
1 2 月 8 日	訓練礼式
1 2 月 1 8 日	第 2 回女性消防団員とママさん防災士とのワークショップ
1 2 月 2 3 日	正副団長会

令和 5 年

1 月 6 日	定例代議員会（書面会議）
1 月 8 日	令和 5 年徳島市消防出初式
1 月 2 6 日	徳島市消防団活性化推進委員会（書面会議）
1 月 2 7 日	文化財消防訓練（徳島市立考古資料館）
1 月 2 8 日	女性の視点を活かす防災研修会
1 月 2 9 日	女性消防団員やママさん防災士等によるトークセッション
2 月 2 1 日	定例代議員会
3 月 1 日～7 日	春季火災予防運動
3 月 1 日	林野火災消防訓練（徳島市球技場）
3 月 4 日	とくしま消防・防災フェスティバル

3 消防団員の階級別定員及び実員

(令和5年4月1日現在)

種別 分団名	団長		副団長		分団長		副分団長		部長		班長		団員		計		
	定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	定員	実員	
																うち 女性	
団本部	1	1	5	5									100	81	106	60	87
佐 古					1	1	2	2	2	2	3	3	20	17	28	3	25
東富田					1	1	2	2	2	2	3	3	20	8	28	2	16
西富田					1	1	2	2	2	2	3	3	20	17	28	3	25
昭 和					1	1	2	2	2	2	3	3	20	13	28	2	21
渭 東					1	1	2	2	2	2	3	3	20	13	28	4	21
沖 洲					1	1	2	2	2	2	3	3	20	18	28	-	26
渭 北					1	1	2	2	2	2	3	3	20	15	28	3	23
津 田					1	1	2	2	2	2	3	3	20	14	28	2	22
加茂名					1	1	2	2	3	3	4	4	30	30	40	-	40
加 茂					1	1	2	2	2	2	3	3	20	19	28	3	27
八 万					1	1	2	2	3	3	4	4	30	27	40	-	37
勝 占					1	1	2	2	3	3	4	4	30	26	40	1	36
多家良					1	1	2	2	4	4	5	5	36	32	48	2	44
不 動					1	1	2	2	2	2	3	3	24	17	32	4	25
入 田					1	1	2	2	2	2	3	3	24	22	32	-	30
上八万					1	1	2	2	4	4	5	5	36	26	48	2	38
川 内					1	1	2	2	4	4	5	5	36	35	48	-	47
応 神					1	1	2	2	3	3	4	4	30	22	40	-	32
国 府					1	1	2	2	4	4	5	5	36	27	48	-	39
計	1	1	5	5	19	19	38	38	50	50	69	69	592	479	774	91	661

4 消防団員の報酬・費用弁償・交付金

区分			単位	金額（円）	摘要	
報酬	年額報酬	団長	年額	100,000	年2回に分割し支給する。	
		副団長		86,000		
		分団長		66,000		
		副分団長		45,500		
		部長		37,000		
		班長		37,000		
		団員		36,500		
		(機能別団員)		6,000		
	出動報酬	(基本団員)	災害 (火災、水災、地震その他の災害)	1回	4,000	災害の鎮圧、防御その他災害による被害の軽減又は水害の防除警戒のための出動（1回につき、4,000円に出動の時間が4時間を超える1時間までごとに1,000円を加算）
			広報啓発・会議		4,000	市長が必要と認める広報啓発活動に従事し、または市長が必要と認める会議に出席した場合（加算額は上記に同じ）
		(機能別団員)	大規模災害	1回	2,000	大規模災害時の避難所運営「これにかかる訓練及び研修を含む。」（1回につき、2,000円に出動の時間が4時間を超える1時間までごとに500円を加算）
			広報啓発・会議		2,000	市長が必要と認める広報啓発活動に従事し、または市長が必要と認める会議に出席した場合（加算額は上記に同じ）
費用弁償				団員が公務のため旅行した場合は、職員旅費支給条例（昭和37年徳島市条例第27号）の規定に基づいて受ける旅費の額に相当する額を支給する。		

交 付 金

区分	金額（円）	摘要
消防団運営交付金	年額 1,277,000円	消防分団運営交付金 366,000円
		消防団運営協議会運営交付金 911,000円
消防分団活動交付金	年額 8,160,000円	19分団に年2回分割し交付する。

5 消防団員年齢・階級状況

(令和5年4月1日現在)

年齢別	階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18	歳								-
19	歳							15	15
20	歳							10	10
21	歳						1	23	24
22	歳							10	10
23	歳							5	5
24	歳							4	4
25	歳							5	5
26	歳							4	4
27	歳							3	3
28	歳							7	7
29	歳					1		2	3
30	歳							4	4
31	歳							6	6
32	歳							2	2
33	歳						1	13	14
34	歳						1	9	10
35	歳							4	4
36	歳							12	12
37	歳				1			9	10
38	歳				1		1	4	6
39	歳					1	2	26	29
40	歳					1	5	13	19
41	歳				1		4	16	21
42	歳						1	15	16
43	歳				2		1	8	11
44	歳					3	2	16	21
45	歳						4	21	25
46	歳		1		1		4	16	22
47	歳			1		1	2	14	18
48	歳					2	4	16	22
49	歳						3	18	21
50	歳					3	2	19	24
51	歳			2	1	3	3	20	29
52	歳			1		3	2	12	18
53	歳			1	2	10	5	11	29
54	歳				2	2	1	11	16
55	歳			2	3	3	5	9	22
56	歳				3	1	3	5	12
57	歳				2	2	1	12	17
58	歳		1	2	3		4	9	19
59	歳		1		2	3	2	8	16
60	歳	1	1	1	2	2	1	7	15
61	歳			2	2	3		5	12
62	歳			2	2	2	1	6	13
63	歳			4	5	1	2	10	22
64	歳		1	1	3	3	1	5	14
65	歳								-
合計人員		1	5	19	38	50	69	479	661
平均年齢		60.0	57.4	58.0	55.9	53.5	48.9	42.1	45.1

6 消防団員勤続年数・階級状況

(令和5年4月1日現在)

年数別 \ 階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1 年未満							63	63
1 年							29	29
2 年						1	36	37
3 年							26	26
4 年						1	42	43
5 年					1	1	17	19
6 年						1	22	23
7 年						1	26	27
8 年						2	22	24
9 年					1	1	15	17
10 年				1	1	3	17	22
11 年					1	1	6	8
12 年						3	23	26
13 年				1	2	7	16	26
14 年					1	6	17	24
15 年			2		2	5	15	24
16 年			1		3	1	15	20
17 年				2	3	6	9	20
18 年				5	3	10	16	34
19 年				1	2	4	12	19
20 年			2		5	1	3	11
21 年			1	2	5	6	4	18
22 年			1		8	2	4	15
23 年			1	2	1	1	5	10
24 年				1	3	1	1	6
25 年			1	3	2		3	9
26 年		1	2	2	2		1	8
27 年				3			2	5
28 年		1			1	1	3	6
29 年			1	2			4	7
30 年以上	1	3	7	13	3	3	5	35
合計人員	1	5	19	38	50	69	479	661
平均勤続年数	30	29	25	25	20	16	8	12

7 消防団員出動状況

(令和4年度)

種別 分団名	計		火災等		風水害等 (捜査等含)		特別警戒 (年末警戒)		教養訓練		広報 (春・秋季)	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
団本部	69	150	36	50			5	10	28	90	0	0
佐 古	42	191	11	88			5	25	12	22	14	56
東富田	53	181	15	74			5	30	19	21	14	56
西富田	40	198	10	89			5	40	11	13	14	56
昭 和	37	161	10	54			5	41	8	10	14	56
渭 東	48	212	14	99			5	40	15	17	14	56
沖 洲	35	156	10	59			5	33	6	8	14	56
渭 北	45	200	17	117			5	14	9	13	14	56
津 田	59	213	15	80			5	40	25	37	14	56
加茂名	34	190	9	67			5	45	6	8	14	70
加 茂	40	180	12	87			5	25	9	12	14	56
八 万	41	273	13	134	1	10	5	41	8	18	14	70
勝 占	48	297	14	171			5	38	15	18	14	70
多家良	39	189	3	50			5	50	17	19	14	70
不 動	33	137	6	32			5	25	8	10	14	70
入 田	27	116	2	10			5	28	6	8	14	70
上八万	31	182	6	74			5	30	6	8	14	70
川 内	34	224	9	105			5	41	6	8	14	70
応 神	31	138	4	28			5	30	8	10	14	70
国 府	42	255	17	147			5	30	6	8	14	70
計	828	3,843	233	1,615	1	10	100	656	228	358	266	1,204

8 消防団員の訓練研修状況

(令和4年度)

種別 \ 区分	項 目	実施時間	延参加人員
学校教育	基礎教育	14 時間	3 人
	専科教育（機関科）	14 時間	7 人
	幹部教育（幹部科）	14 時間	4 人
	幹部教育（現場指揮課程）	14 時間	4 人
	計	56 時間	18 人
訓練等	新任団員訓練	2 時間	28 人
	実務訓練	2 時間	270 人
	市民総合防災訓練（千松小学校）	3 時間	29 人
	市民総合防災訓練（内町小学校）	3 時間	16 人
	訓練礼式（出初式）	2 時間	31 人
	普通救命講習（基本団員）	5 時間	51 人
	普通救命講習（機能別団員）	4 時間	37 人
	計	21 時間	462 人
研修等	避難拠点初動要員研修	2 時間	9 人
	機能別団員基本研修（1時間×3回）	3 時間	55 人
	女性の視点を活かす防災研修	2 時間	10 人
	消防団事務研修	1 時間	31 人
	消防団員研修（交通安全研修）	1 時間	50 人
	女性消防団員スキルアップ研修	9 時間	13 人
	計	18 時間	168 人

9 消防団員公務災害状況

区分 \ 年度別		平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
消防団員	火災現場	1				1
	救急現場					
	訓練中					
	作業中					
	その他	1				
	小 計	2	-	-	-	1
消防協力者	火災現場		1			
	救急現場					
	訓練中					
	作業中					
	その他					
	小 計	-	1	-	-	-
合 計		2	1	-	-	1

消 防 年 報

令和 5 年版

編 集 徳島市消防局総務課

〒 770-0855

徳島市新蔵町1丁目88番地

TEL 088-656-1191

FAX 088-656-1201

災害情報案内サービス 0570-066-655